

Title	文部科学省21世紀COEプログラム 知識科学に基づく 科学技術の創造と実践 分野横断イノベーション研究 教育拠点 最終成果報告書 平成15～19年度
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2008-03
Type	Research Paper
Text version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10119/4852">http://hdl.handle.net/10119/4852</a>
Rights	
Description	

#### IV. 研究業績一覽

## 井川 康夫

知識科学研究科 教授(知識社会システム学・研究開発プロセス論)

### ◆発表論文

- Designing a 'Knowledge Science' Based Graduate MOT Education Course and Its Review of Implementation and Practice, Kameoka, A., Kondou, S. and Ikawa, Y., Proc. of Portland International Center for Management of Engineering and Technology (PICMET) 07, CD-ROM, 2007
- 社会人学生向け遠隔ゼミ指導の情報の共有化に関する一考察, 杉原太郎、井川康夫, 電子情報通信学会 第二種研究会資料, W12-2007-30, 55-56, 2007
- 研究開発組織における知識提供と内発的モチベーション, 堀江常稔、犬塚篤、井川康夫, 経営行動科学, 20(1), 1-12, 2007
- 電力会社の技術戦略, 江幡和徳、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 292-293, 2006
- 化学の専門知識がグリーン購入に及ぼす影響, 川村俊浩、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 264-267, 2006
- 科学技術関連報道に伴う企業の反応とその連鎖性に関する分析, 鎌田尚也、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 252-255, 2006
- 要求開発における潜在的な要求の獲得方法に関する一考察, 中島努、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 177-180, 2006
- 中小企業におけるカイゼンのマネジメントの研究～カイゼンと組織的知識創造, 石川泰雄、近藤修司、亀岡秋男、井川康夫、遠山亮子, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 21-24, 2006
- 研究開発組織における能力開発と技術成果, 堀江常稔、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 463-466, 2006
- 研究開発組織における知識共有: R&D人材の知識提供に関する分析, 堀江常稔、杉原太郎、井川康夫, オフィス・オートメーション学会 経営情報学会合同・全国研究大会 2006年合同・全国研究大会予稿集, 424-427, 2006
- 技術人材アウトソーシングとその知識活用, 森脇久芳、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集II, 785-788, 2006
- 公開情報の組み合わせによる技術経営教育機関の暗黙知を含む知識特性分析, 奥津祥子、井川康夫、杉原公造, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集I, 391-394, 2005
- 中国東北部における校弁企業の成長・発展のためのビジネスモデルの分析～吉林大学を事例として～, 向春苗、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集I, 475-478, 2005
- MOT教育カリキュラムのシラバス情報に基づいた知識構造の分析, 神山資将、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集II, 976-979, 2005
- 環境知識の差が商品購買意欲に与える影響～大学生を対象としたアンケート調査より～, 横山匡宣、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集II, 871-874, 2005
- 破壊的イノベーション活性化による新規ビジネス創造のためのマネジメント研究, 鈴木康之、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集II, 847-850, 2005
- ISOの中小企業に与える影響の研究—ISO9000における組織的知識創造, 石川泰雄、亀岡秋男、近藤修司、井川康夫、遠山亮子, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集II, 827-830, 2005
- 2005年度におけるMOT教育プログラムのカリキュラムレビューと育成人材像の考察, 神山資将、根立俊恵、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集II, 621-624, 2005
- 日本におけるサービス・イノベーションの推進—IT&ソリューションビジネスを中心としての考察—, 藤原哲郎、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集I, 280-283, 2005
- 技術経営教育のポテンシャルマッピング(1) —大学教員のビジネスキャリア分析—, 杉原太郎、奥津祥子、井川康夫, ヒューマンインタフェースシンポジウム2005論文集, (2), 761-766, 2005
- 技術経営教育のポテンシャルマッピング(2) —大学教員のアカデミックキャリアを中心としたプロフィール分析—, 奥津祥子、杉原太郎、井川康夫, ヒューマンインタフェースシンポジウム2005論文集, (2), 767-772, 2005
- 研究者の内発的モチベーションに関する一考察, 堀江常稔、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会講演要旨集I, 180-183, 2005
- Analysis of Japanese MOT Education Requirements by a Needs-Seeds Matrix, Okutsu, S., Ikawa, Y. and Kameoka, A., Proc. of IEEE International Engineering Management Conference (IEMC) 2004, Singapore, 1, 248-252, 2004
- 科目シラバス分析による, 日本における大学のMOT教育知識構造に関する考察, 神山資将、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 393-396, 2004
- 気象情報ビジネスにおけるナレッジ・マネジメント, 平松章男、近藤修司、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 698-701, 2004
- 地域振興のための大学からの技術移転システムに関する一提案, 渡邊敬介、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨

集, 503-506, 2004

- Roadmapping — a promising practice for developing core competence through collective learning, 王蕾、井川康夫、亀岡秋男、Meng Li, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 634-637, 2004
- 日本のMOT教育における講師の専門と経歴の分析—マネジメントに関する暗黙知伝達効果分析, 奥津祥子、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 389-396, 2004
- 多様化するニーズに応える新製品開発におけるネットコミュニティの活用—ファンリテータが持つイノベーションプロセスでの役割—, 松尾慎太郎、亀岡秋男、井川康夫, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 533-536, 2004
- ◆講演発表
  - 製品開発組織における知識獲得・活用のための自律性の役割, 堀江常稔、犬塚篤、井川康夫, 経営情報学会全国研究発表大会, 静岡大学, 2007/11/17
  - 製品開発組織における従業員の自律性と組織目標の統合に関する一考察, 堀江常稔、犬塚篤、井川康夫, 経営行動科学学会第10回年次大会, 立教大学, 2007/11/10
  - Importance of Intrinsic Motivation for Knowledge Sharing within an R&D Organization, Horie, T. and Ikawa, Y., The 8th International Symposium on KSS2007 (International Joint Conference on Knowledge Science [IJCKS2007]), Ishikawa, Japan, 2007/11/06
  - 中国・シンセンテクノセンターにおける人材マネジメントに関する調査, 王旭、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/28
  - 研究開発マネージャーから見た顧客との距離感が顧客要求把握に与える影響～電機メーカーのマネージャーへの面接より～, 杉浦誉規、杉原太郎、井川康夫、研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/28
  - 共有サービスロードマッピングを指向したサービスプランニング手法の試み—サービスの学際的MOTアプローチ確立をめざして—, 中村孝太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/28
  - 高等教育や職務遂行経験を通じて形成される習慣的な思考に関する研究, 辻路也、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/28
  - 中小企業におけるプロセスイノベーションの実証研究—カイゼンと組織的知識創造—, 石川泰雄、近藤修司、井川康夫、遠山亮子, 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/27
  - 製品の普及特性と新技術適用タイミングに関する考察 — テレビ受像機での事例 —, 森脇久芳、井川康夫、研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 亜細亜大学, 2007/10/27
  - Designing a 'Knowledge Science' Based Graduate MOT Education Course and Its Review of Implementation and Practice, Kameoka, A., Kondou, S. and Ikawa, Y., PICMET 2007, Portland, USA, 2007/08/08
  - Managing Global R&D — The Case of Toshiba, Ikawa, Yasuo., International Management of Technology Program, Chalmers Advanced Management Programs, Chalmers University of Technology, Gothenburg, Sweden, International House of Japan, Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 2007/01/09
  - 研究開発マネジメント論, 井川康夫, 北陸地域MOTシンポジウム&プレスクール(主催:経済産業省中部経済産業局), ボルファートとやま(富山市), 2006/01/17
  - 化学の専門知識がグリーン購入に及ぼす影響, 川村俊浩、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 264-267, 2006
  - 科学技術関連報道に伴う企業の反応とその連鎖性に関する分析, 鎌田尚也、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 252-255, 2006
  - 要求開発における潜在的な要求の獲得方法に関する一考察, 中島努、杉原太郎、井川康夫, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集I, 177-180, 2006
  - Global R&D Management, Ikawa, Yasuo., Global R&D Management Seminar of China Productivity Center, National Taiwan Normal University, Taipei, Taiwan, 2005/08/25
  - 英国の研究開発マネジメント、日本の研究開発マネジメント, 井川康夫, 第21回FMES・研連シンポジウム、第20回研究・技術計画学会シンポジウム、日本学術会議 講堂, 2005/06/03
  - 東京MOTコースの試み — 構想、実践、そして新展開 —, 井川康夫, 第7回知識科学シンポジウム, 学術総合センター(東京), 2005/03/19
  - 研究開発成果の事業化に向けての推進体制, 井川康夫, 科学技術と経済の会・技術経営会議第61回箱根本会議, 箱根プリンスホテル, 2004/08/27
  - これからの知的資本に対するマネジメントのあり方, 井川康夫, 科学技術と経済の会・技術経営会議第59回箱根本会議, 箱根プリンスホテル, 2003/08/29

## 梅本 勝博

知識科学研究科 教授(知識社会システム学・社会システム構築論)

### ◆著書

1. 知を再編する81のキーワード ナレッジサイエンス 増補改訂版, 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科監修, 杉山公造、永田晃也、下嶋篤、梅本勝博、橋本敬編著, 近代科学社, 2008

2. 医療福祉のナレッジ・マネジメント, 梅本勝博、神野正博、森脇要、鎌田剛, 日総研出版, 2003

### ◆発表論文

1. Towards a Theoretical Model of Cross-Cultural Knowledge Management, Nguyen ,Nhu T.B., Umemoto,Katsuhiko., Tunc, D. Medeni., The International Journal of Knowledge, Culture and Change Management, 7(9), 33-40, 2007
2. 知識社会における大学経営, 俣野秀典、梅本勝博, 大学行政管理学会誌, (10), 141-147, 2007
3. Knowledge creation for science and technology in academic laboratories: a pilot study, Hasan,Q., Machado,M., Tsukamoto,M., Umemoto,K., Knowledge Management Research & Practice, 4, 162-169, 2006
4. ナレッジ・マネジメントの起源と本質, 梅本勝博, エコノミスト 8月8日号, 50-53, 2006
5. 価値創造ミュージアムの提言—知識創造自治体の住民参画の場として—, 小野直紀、梅本勝博, 日本ミュージアム・マネージメント学会研究紀要 第9号, 15-23, 2005
6. 大学のナレッジ・マネジメント—JAISTにおける実践—, 梅本勝博、大串正樹、俣野秀典, 大学行政管理学会誌, (8), 77-84, 2004
7. From Sashimi to Zen-in :The Evolution of Concurrent Engineering at Fujii Xerox, Umemoto,K., Endo,A., Machado,M., Journal of Knowledge Management, 8-4, 89-99, 2004
8. 知識創造自治体を目指して, 梅本勝博, 社会教育 6月号, 8-15, 2004
9. NPOのナレッジ・マネジメント, 井田淳、梅本勝博, The Nonprofit Review, 3-1, 37-45, 2003

## 國藤 進

知識科学研究科 教授(知識社会システム学・創造性開発システム論)

### ◆著書

1. Creativity Support in Brainstorming, Kunifujii,S., Kato,N., Wierzbicki,A.P., in Creativity Environments, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y.(ed), Springer, 2007, 93-126
2. Meta-synthesis and Creativity Support Systems=Guest Editors' Introduction, International Journal of Information Technology and Decision Making, Gu,J., Kunifujii,S., Tang,X., World Scientific, 6(3), 2007/09, 407-410
3. 人工知能事典, 田中穂積、石塚満、溝口理一郎、國藤進ほか編, 共立出版, 2005/12/10
4. 人工知能辞典・創造性心理、創造科学, 國藤進, オーム社, 2004/09
5. 人工知能辞典・知の基礎科学「哲学、心理学、認知科学、脳科学」, 國藤進、櫻井彰人、下嶋篤、鈴木宏明、藤波努, 人工知能学会監修, オーム社, 2004/09
6. 知識創造支援システム具象化はつん動向とJAIST における開発の現状, 國藤進、山下邦弘、西本一志、藤波努、宮田一乗, 日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究センター編, 第一回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究センター、共催:デザイン学会創造性研究部会・予防型社会とウェアネス技術研究会), 2004/03/24
7. 知識創造のプロセス、場、およびシステム化, 國藤進、西本一志、藤波努編, 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科(主催:第5回知識シンポジウム), 2004/02

### ◆発表論文

1. グループ意思決定支援のためのコミュニケーション支援機能の提案, 小柴等、加藤直孝、國藤進, 情報処理学会論文誌, 49(1), 96-104, 2008/01
2. 実社会指向アプローチによる認知症高齢者のための協調型介護支援システムの研究開発, 中川健一、小柴等、國藤進, 情報処理学会論文誌, 49(1), 2-10, 2008/01
3. 機能性高分子を用いた嗅覚ディスプレイの開発及びビデオへの応用, Kim,D.W., Lee,D.W., 西本一志、川上雄資、國藤進, 情報処理学会論文誌, 49(1), 160-175, 2008/01
4. 状況情報の明度を抑えたプライバシー保護手法の提案と評価, 内田達人、敷田幹文、國藤進, 情報処理学会論文誌, 49(1), 35-44, 2008/01
5. スポットライトを用いた屋内での捜し物発見支援システム, 中田豊久、金井秀明、國藤進, 情報処理学会論文誌, 48(12), 2007/12
6. Effects of Negotiation Meta-Information for Group Decision Support, Koshiba,H.,Kato,N.,Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 175-178, 2007/11/07
7. Message from the Progrm Co-Chair, Kunifujii,S., The Second International

- Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 2007/11/05-07
8. Aroma-Chip based Olfactory Display, Kim,D.W.,Lee,D.W.,Miura,M., Nishimoto,K.,Kawakami,Y.,Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 97-103, 2007/11/06
9. Supporting Exhibition site Discussions by a Topic-Based Audio Capture Systems, Tanaka,K., Nishimoto,K., Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 110-115, 2007/11/06
10. Development and Practice of Programming Learning Course Management system with Version Control Software, Miura,M.,Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 152-159, 2007/11/06
11. Development of RFID Mat Sensor System for Person-Centered Care in Group Homes, Miura,M.,Ito,S.,Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 59-62, 2007/11/05
12. A Study on the Dynamics of Friendship Network Formation Using a Directed Network Model, Nakada,T.,Kato,Y.,Kunifujii,S., The Second International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 72-79, 2007/11/05
13. ハイドロゲルを用いた芳香封じ込めチップと芳香発生・制御装置の実験, Kim,D.W., 西本一志、川上雄資、國藤進, 情報処理学会エンタテインメントコンピュータリング2007, 大阪大学コンベンションセンター, 2007/10/02
14. Effect of Rearrangement and Annotation in Digitized Note on Remembrance, Inoue,Y.,Miura,M.,Kunifujii,S., IEICE Trans. INF. & SYST., E90-D(10), 1630-1636, 2007/10
15. Qualitative, Quantitative Evaluation of Ideas in Brain Writing groupware, Neupane,U.,Miura,M.,Hayama,T.,Kunifujii,S., IEICE Trans. INF. & SYST., E90-D(10), 1493-1500, 2007/10
16. Practical Environment for Realizing Augmented Classroom with Wireless Digital Pens, Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, Miura,M.,Kunifujii,S.,Sakamoto,Y., KES2007-WIRN2007, Springer LNAI4693, 1222-1229, 2007/09
17. Development of a Mimamori-Care System for Persons with Dementia based on the Real World-Oriented Approach, Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, Nakagawa,K., Sugihara,T., Koshiba,H., Takatsuka,R., Kato,N., Kunifujii,S., KES2007-WIRN2007, Springer, LNAI4694, 1261-1268, 2007/09
18. Data Mining of Time-Series Medical Data by Formal Concept Analysis, Sato,K., Okubo,Y., Haraguchi,M., Kunifujii,S., Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, KES2007-WIRN2007, Springer, LNAI4694, 1214-1221, 2007/09
19. A Case study of Project-Management Training-Support Tools for Japanese/Chinese/ Indian Offshore Engineers, Toyota,S.,Miura,M.,Kunifujii,S., Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, KES2007-WIRN2007, Springer, LNAI4694, 1222-1229, 2007/09
20. Consensus-Making Support Systems dedicated to Creative Problem Solving, International Journal of Information Technology and Decision Making, Kunifujii,S., Kato,N., World Scientific, 6(3), 459-474, 2007/09
21. Subversionを用いた学習管理システムの構築とプログラミング初学者への適用, 三浦元喜、國藤進, 情報教育シンポジウムSummer Symposium in Suzuka 2007~情報教育の取るべき針路~(主催:情報処理学会コンピュータ教育研究会), 三重県労務福祉センタ希望荘, 155-162, 2007/08/26-28
22. 友人関係ネットワークの成長過程についての分析, 中田豊久、加藤義彦、國藤進, 日本ソフトウェア科学会 ネットワークが創発する知能研究会 JWEN07 情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会 第13回MPSシンポジウム 合同ワークショップ, 2007/08/17-19
23. 学習知識フィルタリングを用いた協調ノートシステム, 羽山徹彰、楊向東、國藤進, 情報処理学会論文誌, 48(8), 2814-2822, 2007/08
24. デジタルマルチメディアコンテンツの視聴履歴の効果的共有, 石川浩一郎、岡誠、櫻井彰人、國藤進, 映像情報メディア学会誌, 61(6), 860-867, 2007/06
25. Dynamic Book Recommendation Model for Real Bookstores, Nakada, Toyohisa., Kanai,Hideaki., Kunifujii,Susumu., The 5th International Conference on Pervasive Computing (Pervasive 2007), Canada, 2007/05/14-15
26. 実世界での利用を考慮した図書推薦モデルの提案と評価, 中田豊久、金井秀明、國藤進, 情報処理学会論文誌, 48(1), 2007/01
27. プライバシー保護を可能とする状況情報共有システムの開発と運用実験, 平田敏之、國藤進, 情報処理学会論文誌, 48(1), 2007/01
28. ページ間ネットワークを用いた画像解析による同期信号の判別, 中田豊久、伊藤日出男、國藤進, 日本知能情報ファジィ学会論文誌, 19(5), 488-498, 2007/02
29. ダイナミックブレインライタ:新たなブレインライティング支援グループウェアの構築とその結果, Neupane,Ujijwal., 三浦元樹、羽山徹彰、國藤進, 日本創造学会論文誌, (10), 2006/12/28

30. 伝統文化の創造的継承と次世代イノベーション, 浅井俊子, 林 秀彦, 皆月昭則, 國藤進, 日本創造学会論文誌, (10), 2006/12/28
31. 論文画像の暗黙知を利用したe-learning用Webページ検索エンジン, 澤井進, 下幸司, 若木利子, 國藤進, 日本創造学会論文誌, (10), 2006/12/28
32. 日本創造学会第28回研究大会盛況裏に終了, 國藤進, 日本創造学会 NEWSLETTER, (4), 2006/12/20
33. デジタルペンをを用いた「教室内学習活動の見える化」システム, 三浦元喜, 國藤進, 教育システム情報学会(JSISE)特集研究会「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」, 74-79, 2006/12
34. グループ意思決定支援における判断メタ情報の効果, 小柴等, 加藤直孝, 國藤進, 情報処理学会グループウェアとネットワークサービスワークショップ2006 論文集, 73-78, 2006/11/17
35. Hybrid Approach of Augmented Classroom Environment with Digital Pens and Personal Handhelds, Miura,Motoki,Kunifuji,Susumu., Proceedings of the 10th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems (KES2006), 1019-1026, 2006/10/10
36. Hybrid Approach of Augmented Classroom Environment with Digital Pens and Personal Handhelds, Miura,M., Kunifuji,S., Proceedings of the 10th International Conference on Knowledge Based & Intelligent Information & Engineering Systems, Bournemouth, UK, 2006/10/09-11
37. An Editing and Displaying System of Olfactory Information for the Home Video, Kim,D.W., Nishimoto,K., Kunifuji,S., Proceedings of the 10th International Conference on Knowledge Based & Intelligent Information & Engineering Systems, Bournemouth, UK, 2006/10/09-11
38. Personalized Voice Navigation System for Creative Working Environment, Tanaka,K.,Kunifuji,S., Proceedings of the 10th International Conference on Knowledge Based & Intelligent Information & Engineering Systems, Bournemouth,UK, 2006/10/09-11
39. A Divergent-Style Learning Support Tool for English Learners Using a Thesaurus Diagram, Shimodaira,C.,Shimodaira,H.,Kunifuji,S., Proceedings of the 10th International Conference on Knowledge Based & Intelligent Information & Engineering Systems, Bournemouth,UK, 2006/10/09-11
40. 思い出話で脳活性化, 國藤進, 北國新聞朝刊, 2006/09/16
41. RodDirect: Two-Dimensional Input with Stylus Knob, Miura,Motoki., Kunifuji,Susumu., Proceedings of the 8th International Conference on Human Computer Interaction with Mobile Devices and Services (MobileHCI 2006), 113-120, 2006/09/12
42. ナレッジマネジメントによる“知の共鳴”, 國藤進, 情報処理, 47(9), 1021-1027, 2006/09
43. タイ・アユタヤにて開催されたKICS2006, 國藤進, 日本創造学会 NEWSLETTER, (3), 4, 2006/09/01
44. 第28回日本創造学会研究大会“知識創造”, 國藤進, 日本創造学会 NEWSLETTER, (3), 1-3, 2006/09/01
45. 紙と電子デバイスを相補的に扱う教育の情報化システム, 三浦元喜, 國藤進, 情報処理学会コンピュータと教育研究会, 情報教育シンポジウムSSS2006 (Summer Symposium in Sengokuhara 2006), 143-148, 2006/08/27
46. 数学図形問題を対象とした作問学習支援システムの提案, 大和卓人, 三浦元喜, 國藤進, 情報処理学会コンピュータと教育研究会, 情報教育シンポジウムSSS2006(Summer Symposium in Sengokuhara 2006), 83-87, 2006/08/26
47. 知識科学的アプローチでハイテクセンサを用いた介護支援システムを構築する, 國藤進, 能美市第20回先端科学ふれあい講座, ハイテク交流センター, 2006/06/24, 小松ケーブルテレビで2006/08/19放送
48. Tradeoff between Quality and Quantity in Electronic Brain Writing, Neupane,Ujjwal., Miura,Motoki., Kunifuji,Susumu., Proc of The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems (KICSS2006), Ayutthaya,Thailand, 37-44, 2006/08
49. Entrepreneurial Mindset and Social Networks, De Souza,E.G.M., Medeni,T.D., Nie,K., Kunifuji,S., KICSS2006, Woraburi Ayutthaya Convention Resort, Ayutthaya,Thailand, 2006/08/04
50. Consideration of the Associative Process in Theoleap 筋 idea generation supporting groupware-, Kawaji,T., Kunifuji,S., KICSS2006, Woraburi Ayutthaya Convention Resort, Ayutthaya,Thailand, 2006/08/04
51. Development of an XML concept Mapping Tool which supports Meta-cognition Activities during the Knowledge Construction Process, Yagi,R., Kunifuji,S., KICSS2006,Woraburi Ayutthaya Convention Resort, Ayutthaya, Thailand, 2006/08/04
52. The Role of Online Role-playing Game Worlds in Their Members' Learning to be Reflective and Creative: The Virtual and Networked Communities of Woldian Games and Neverwinter Nights, Medeni,T.,Elwell,M.G., De Souza,E.G.M., Kunifuji,S., KICSS2006, Woraburi Ayutthaya Convention Resort, Ayutthaya, Thailand, 2006/08
53. Development of Community Based Learning System at a University, Fujimoto,Ryunosuke., Hasegawa,Shinobu., Miura,Motoki., Kunifuji,Susumu., Proc of The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems(KICSS2006), Ayutthaya,Thailand, 37-44, 2006/08
54. Effect of Digitized Note Rearrangement on Remembrance, Inoue,Yoshitugu.,Miura,Motoki.,Kunifuji,Susumu., Proc of The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems (KICSS2006), Ayutthaya,Thailand, 155-162, 2006/08
55. Presentation Support System Providing Flexible Visual Effects, Hayama,T., Kunifuji,S., Proc. of KICSS2006, Woraburi Ayutthaya Convention Resort, Ayutthaya,Thailand, 251-257, 2006/08
56. Presentation Support System Providing Flexible Visual Effects, Hayama,T., Kunifuji,S., The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems, 251-257, 2006/08/01
57. スタイラスの動きを利用したモバイル端末向け入力インタフェース RodDirect, 三浦元喜, 國藤進, マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム (DICOMO2006), 937-940, 2006/07
58. グループ意思決定支援における判断メタ情報の利用に関する提案と考察, 小柴等, 加藤直孝, 國藤進, 情報処理学 DICOMO2006, 2006/07/07
59. Webコラボレーションを応用したWebコンテキストウェアネスの一提案と実装, 中川健一, 加藤直孝, 上田芳弘, 國藤進, 情報処理学会論文誌, 47(7), 2081-2089, 2006/07
60. 知識創造支援ツールは知的生産性を向上する, 國藤進, 羽山徹彰, Neupane,Ujjwal., 田中郁他, JAISTオープンキャンパス, 2006/06/03
61. アウェア技術を用いたアウェアホームの研究開発, 國藤進, 三浦元樹, 中田豊久, Kim,Dong.Wook., 中川健一, 小柴等他, JAISTオープンキャンパス, 2006/06/03
62. ITで介護者の負担軽減, 國藤進, 高塚亮三, 中川健一, 建築工業新聞, 2006/05/25
63. 第3回知識創造支援システム・シンポジウム盛況裏に開催される, 國藤進, 日本創造学会NEWSLETTER, 2, 3, 2006/04/15
64. 第28回日本創造学会研究大会へ多くの皆様の手紙をお願いします, 國藤進, 日本創造学会NEWSLETTER, 2, 1-2, 2006/04/15
65. HPに自由に書き込み, 國藤進, 北國新聞2006年5月18日朝刊, 2006/05/18
66. FragrantMemories:臭覚情報付きTV番組用芳香発生指示装置および芳香発生装置, Kim,Dong.Wook., 西本一志, 國藤進, 情報処理学会インタラクティブ(デモンストレーション発表), 2006/02/27-28
67. 第3回知識創造支援システム・シンポジウム「アウェアリウム」における位置情報ウェアネスを利用したシステム, 金井秀明, 鶴岡剛士, 中田豊久, 國藤進, 第3回知識創造支援システム・シンポジウム(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター), 2006/02/23
68. アウェア技術を用いたアウェアホーム開発研究—2年目の研究開発成果—, 國藤進, 金井秀明, 山下邦弘, 宮田一乗, 西本一志, 藤波努, 杉山公造, 三浦元樹, 中田豊久, 高塚亮三, 臼杵正朗, 小柴等, Kim,Dong.Wook., 小倉加奈代, 加藤直孝, 上田芳弘, 高橋哲郎, 中川健一, 第3回知識創造支援システム・シンポジウム(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター), 2006/02/23
69. Inheriting Traditional concept of “Turn” in Electronic Brain Writing for Group Idea Generation, Neupane,U., Miura,M., Kunifuji,S., The Fourth International Conference on Creating, Connecting, and Collaborating through Computing, 2006/01/26-27
70. グループ意思決定におけるアウェアネス:通信環境とGDSSの観点から, 小柴等, 加藤直孝, 國藤進, 情報処理学会論文誌, 47(1), 77-86, 2006/01/15
71. コンセプトマップを活用した知識伝達支援システム, 八木龍平, 國藤進, 第46回人工知能学会先進的学習科学と工学研究会資料SIG-ALST-A503, 61-64, 2006
72. リアルタイムコミュニケーション支援のためのパーソナルネットワーク・アグリゲーションシステム, 平田敏之, 大向一輝, 市瀬隆太郎, 武田英明, 國藤進, 合同ワークショップ & シンポジウム2006 (JAWS2006), 2006
73. 3項組知識表現<“動画知”、“自然言語知”、“メタ言語”>のeラーニングへの応用, 澤井進, 若木利子, 池田満, 國藤進, 日本教育情報学会編, 教育情報研究, 2006
74. 複数の状態行動価値表を用いたR学習の高速化, 石川浩一郎, 櫻井彰人, 藤波努, 國藤進, 電気学会論文誌C, 126(1), 72-82, 2006
75. An Aware-Environment Enhanced Group Home, Kanai,Hideaki., Nakada, Toyohisa.,Turuma,Goshi.,Kunifuji,Susumu., International Workshop on Smart Home (IWSH2006), Electronic Proceedings of International Conference on Hybrid Information Technology, 14
76. ページの表示領域を考慮したWeb履歴の拡張, 三浦元樹, 國藤進, 佐藤省吾, 田中二郎, ソフトウェア科学会インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップWISS2005(デモセッション), 2005/12/07-08
77. Consensus-making Support Systems dedicated to Creativity Support, Kunifuji,Susumu.,Kato,Naotaka., International Journal of Information Technology and Decision Making, World Scientific, (submitted), 2005/12/06
78. 暗黙知・形式知を用いたeラーニング用Web検索エンジン, 澤井進, 若木利子, 池田満, 國藤進, 日本教育情報学会編, 教育情報研究, 21(2), 13-19, 2005/11/25
79. 意思決定のためのブレインライティング支援システムの改良, Neupane Ujjwal, 三浦元樹, 國藤進, 情報処理学会GNワークショップ, 2005/11/11
80. 研究活動の文献調査におけるドキュメントスキミング支援環境の効果, 羽

- 山徹彩、國藤進、日本創造学会論文誌、9、124-134、2005/11/02
81. 個人ホームページからのサブグループ発見手法の提案、中田豊久、國藤進、日本創造学会論文誌、9、42-59、2005/11/02
82. メタ合成と創造性支援システムに関する中日ワークショップ開催報告、國藤進、日本創造学会NEWSLETTER、(3)、4-4、2005/10/01
83. A Support System for Finding Lost Objects using Spot-light, Nakada,T., Kanai,H., Kunifuji,S., Proc. of 7th Int. Conf. on Human Computer Interaction with Mobile Devices and Services MobileHCI05, ACM Press, 2005/09/19-22
84. Awareness in Group Decision: Communication Channel and GDSS, Koshiba,H., Kato,N., Kunifuji,S., KES2005, 444-450, 2005/09/14-16
85. Capturing Window Attributes for Extending Web Browsing History Records, Miura,M., Kunifuji,S., Sato,S., Tanaka,J., Proceedings of KES2005 (Springer LNAI 3681), Part I, 418-424, 2005/09
86. Cinematized Reality :Cinematographic Camera Control in 3D Videos, Sakamoto,Ryuuki., Kitahara,Iitaru., Satomi,Mika., Tanaka,Kaoru., Kogure,Kiyoshi., ACM SIGGRAPH 2005 Sketches, 2005/08/01-04
87. 暗黙知・形式知を用いたeラーニング用Web検索エンジン、澤井進、若木利子、國藤進、日本教育情報学会論文誌、2005/07/13
88. 音による状況アウェアネス支援システム、半場雄介、中田豊久、金井秀明、國藤進、情報処理学会「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2005)」シンポジウム、2005/07/08
89. 位置情報に基づくプレゼンツ情報をトリガにした伝言送信システム、平田敏之、國藤進、情報処理学会「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2005)」シンポジウム、2005/07/07
90. レーダーポインターを用いたリアルタイム対話性を促進するプレゼンテーション支援システムの構築、羽山徹彩、國藤進、情報処理学会「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2005)」シンポジウム、2005/07/06
91. Webコラボレーションを応用したWebコンテキストアウェアネスの一提案と実装、中川健一、加藤直孝、國藤進、情報処理学会「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2005)」シンポジウム、2005/07/06、山下賞候補/ミネート
92. 効果的学習技能が埋め込まれたWebテキスト読解支援システム、八木龍平、國藤進、コンピュータ&エデュケーション、東京電機大学出版局、18、90-98、2005/06/01
93. Alignment between a Technical Paper and Presentation Sheets Using a Hidden Markov Model, Hayama,T., Nanba,H., Kunifuji,S., The Third International Conference on Active Media Technology, 2005/05/19-21
94. Ubiquitous Networking for Genes Society: e-learning tools and digital archives for education with significant use of cultural heritage contents, Sawai,S., Wakaki,T., Ikeda,M., Kunifuji,S., 14th World Wide Web Conference, 2005/05/10-13
95. Research on the Knowledge Representation of Tacit Knowledge and Explicit Knowledge Pair and Potential Problem Analysis by the Motion Picture and the Meta-language, Sawai,S., Wakaki,T., Kunifuji,S., 14th World Wide Web Conference, 2005/05/10-13
96. Research on the Knowledge Representation of Tacit knowledge and Explicit Knowledge Pair and Potential Problem Analysis by the Motion Picture and the Meta-language, Sawai,S., Wakaki,T., Kunifuji,S., The 14th World Wide Web Conference, Makuhari, 2005/05
97. 第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告、國藤進、日本創造学会NEWSLETTER 2005、(1)、4-4、2005/04/18
98. 2005年度の新体制と方針、國藤進、日本創造学会NEWSLETTER、(1)、2-2、2005/04/18
99. 創造学会の魅力ある発展のために理想像を創造し、現実に創造する一、國藤進、日本創造学会NEWSLETTER、(1)、1-1、2005/04/18
100. 暗黙知・形式知一対の知識表現及び創造支援への応用、澤井進、國藤進、第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター)、126-133、2005/04/15
101. 個人状況アウェアネス提供システムの構築と評価、清水健、平田敏之、山下邦弘、西本一志、國藤進、第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター)、84-91、2005/04/15
102. 実空間における関連本アウェアネス支援システム、中田豊久、金井秀明、國藤進、第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター)、76-83、2005/04/15
103. デジタルペンを利用したインタラクティブ授業支援システム --一般教室における協調的学習環境の構築を目指して--、三浦元喜、國藤進、第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター)、54-61、2005/04/15
104. アウェア技術を用いたウェアホーム開発構想、國藤進、金井秀明、宮田一乗、西本一志、藤波努、杉山公造、三浦元喜、臼杵正郎、中田豊久、平田敏之、小柴等、高塚亮三、加藤直孝、上田芳弘、林克明、中川健一、第2回知識創造支援システム・シンポジウム報告書(主催:日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター)、1-5、2005/04/15
105. 個人状況アウェアネス提供システムの構築、清水健、平田敏之、山下邦弘、西本一志、國藤進、情報処理学会インタラクティブ2005、ポスター発表、2005/02/28
106. 強化学習におけるオンラインセンサ選択、石川浩一郎、櫻井彰人、藤波努、國藤進、電気学会論文誌C、125(6)、870-878、2005
107. 光による物探し支援システム、中田豊久、金井秀明、國藤進、情報処理学会インタラクティブ2005、インタラクティブ発表、学術総合センター、2005/02/28
108. Cinematized Reality:自由視点映像に対する映画のカメラワーク、田中郁、坂本竜基、北原格、里見美香、土川仁、小暮潔、國藤進、情報処理学会インタラクティブ2005、インタラクティブ発表、2005/02/28
109. 特集「知の共有から知の協創へ」の編集にあたって、國藤進、井上智雄、情報処理学会論文誌、46(1)、1-1、2005/01/01
110. AirTransNote: Augmenting Classrooms with Digital Pen Devices and RFID Tags, Miura,Motoki., Kunifuji,Susumu., Shizuki,Buntarou., Tanaka,Jiro., Proceedings of IEEE Int. Workshop on Wireless and Mobile Technologies in Education (WMTE2005), 56-58, 2005
111. AirTransNote: Augmented Classrooms with Digital Pen Devices and RFID Tags, Miura,M., Kunifuji,S., Shizuki,B., Tanaka,J., Proceedings of IEEE International Workshop on Wireless and Mobile Technologies in Education (WMTE2005), 2005
112. デジタルペンとPDAを利用した実世界指向インタラクティブ授業支援システム、三浦元喜、國藤進、志築文太郎、田中二郎、情報処理学会論文誌(DICOMO2004推薦論文)、46(9)、2300-2310、2005
113. 知的障害養護学校での創造性開発、池田利昭、國藤進、日本創造学会論文誌、(8)、96-108、2004/12/29
114. スライダスの物理制約を利用した入力方法、三浦元樹、國藤進、日本ソフトウェア科学会インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ(WISS2004)、2004/12/01
115. Creativity Support Systems in JAIST, Kunifuji,S., Kawaji,T., Onabuta,T., Hirata,T., Sakamoto, R., Kato,N., JAIST Forum, Ishikawa High-Tech Koryu Center, 2004/11/11
116. Augmented Classroom: a Paper-Centric Approach for Collaborative learning system, Miura,M., Kunifuji,S., Shizuki,B., Tanaka,J., Proc. of 2nd Int. Symposium on Ubiquitous Computing Systems(UCS2004), 57-64, Tokyo, Japan, 2004/11
117. Development and evaluation of the support system for reading web texts based on the SQ3R reading method, Yagi,R., Kunifuji,S., E-Learn2004, Washington DC, 2004/11
118. 「知」のユニバーサルデザインから見た知的障害者支援トータルシステムの研究、池田利昭、第3回 ITSシンポジウム2004 (ポスター発表) (主催:ITS Japan)、2004/10/20
119. Information Sharing System based on Location in Consideration of Privacy for Knowledge Creation, Hirata,T., Kunifuji,S., 8th International Conference on Knowledge-based Intelligent Information & Engineering Systems KES2004, Wel. Inst. of Tech., Wellington, NZ, 2004/09/22-24.
120. Support system for a person with intellectual handicap from the viewpoint of Universal Design of Knowledge, Ikeda,T., Kunifuji,S., 8th International Conference on Knowledge-based Intelligent Information & Engineering Systems KES2004, Wel. Inst. of Tech., Wellington, NZ, 2004/09/22-24
121. The Study of Comstructing the Support System for Creative Thinking based on Attribute Analysis Method, 王凱軍、徐方啓、國藤進、中国創造学会総会、上海、2004/09
122. グループ意思決定支援システムにおける使用環境の変化が及ぼす影響に関する考察、小柴等、加藤直孝、國藤進、情報処理学会マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2004)、519-522、2004/07/09、ヤングリサーチ賞受賞
123. 双方向授業のためのデジタルペンを利用した手書き筆記交換システム、三浦元樹、國藤進、志築文太郎、田中二郎、情報処理学会マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム(DICOMO2004)、2004/07/07
124. 第2言語としての英語文章読解学習環境における眼球移動特性を利用した理解モニタリング支援機構に関する実験研究、林秀彦、前野勉、國藤進、ヒューマンインタフェース学会誌・論文誌、6(2)、169-176、2004/07
125. Mobile and Ubiquitous Networking for Genes Society, Sawai,S., Wakaki,T., Saku,T., Yamanisi,J., Kunifuji,S., 13th World Wide Web Conference, New York, 2004/05
126. 創造的活動における文献調査のためのドキュメントスキミング支援環境、羽山徹彩、金井貴、國藤進、人工知能学会学会誌、19(2)、SP-C、2004
127. SmartCourier: An Annotation System for Adaptive Knowledge Sharing, Ito,S., Sumi,Y., Mase,K., Kunifuji,S., Book of JIPS, 2004
- ◆講演発表
1. アウェアネス支援システムの現状と課題、國藤進、岩手県立大学ソフトウェア情報学部、2007/11/30
2. 世界の創造性教育と日本の創造性教育の現状と課題、國藤進、大分大学高等教育センター、2007/11/16
3. アイデアプロセス創造技法、國藤進、メディア向けひらめき勉強会(主催:コクヨ)、天厨菜館、2007/10/15

## 4 研究業績一覧

4. New Frontier and Progress of Knowledge Science, Kunifuji,S., Jiangu Polytechnic University, 2007/09/24
5. 学生をエンカレッジする創造性教育法, 國藤進, 鳴門教育大学「情報メディアの活用」特別講義, 2007/07/30
6. 認知症高齢者のためのRFIDタグを用いた介護支援システムの研究開発, 國藤進, 近畿大学産業理工学部大木優・山崎重一郎研究室主催・研究討論会, 2007/07/27
7. 知識創造の方法論とその実問題解決への応用, 國藤進, 浜松大学経営情報学科特別講義, 2007/07/11
8. Webサイトに対する3ポイントタスク分析支援システムの評価, 山原茂, 三浦元喜, 國藤進, 第69回情報処理学会全国大会, 2007/03
9. 知識システム論, 國藤進, 三村修, MOT講義, JAIST 田町キャンパス, 2006/11/9-11, 24-25
10. グループホームのための介護支援システムの研究開発, 國藤進, 公立はこだて未来大学特別講義, 公立はこだて未来大学, 2006/11/16
11. グループホームのための介護支援システムの研究開発, 國藤進, 釧路公立大学経済・経営学特別講義, 釧路公立大学, 2006/11/14
12. 特別企画シンポジウム・受動意識仮説とKJ法(パナリスト), 前野隆司, 國藤進, 堀田俊夫, 佐藤公平, 永延幹男, 第30回KJ法学会, 東京工業大学, 2006/11/12
13. ICカードを利用した教育環境における報奨システムの提案, 岡田政則, 平石邦彦, 中西一夫, 國藤進, 電子情報通信学会研究報告(2006-ET), 2006/11
14. 本への興味を喚起する関連図書に関する実験と考察, 中田豊久, 國藤進, 金井秀明, 第28回日本創造学会研究大会論文集, 北陸先端科学技術大学院大学, 2006/10/29
15. 発散的思考段階における連想プロセスの研究, 川路崇博, 西本一志, 國藤進, 日本創造学会第28回研究大会, 北陸先端科学技術大学院大学, 2006/10/29
16. 大学院大学における創造性教育および創造性支援環境(inパナリスト「知識創造:基礎理論,プロセス,応用」), 國藤進, 日本創造学会第28回研究大会, 北陸先端科学技術大学院大学, 2006/10/28
17. 認知症高齢者のためのウェアラブルグループホーム・プロジェクトの全体像, 國藤進, 認知症高齢者介護を考えるワークショップ, メルパルク金沢, 2006/09/19
18. 知識創造論, 國藤進, 石川MOTスクール, 石川県IT総合人材育成センター, 2006/09/17
19. ヒューマンインタフェース2[座長], 國藤進, 平成18年度電気関係学会北陸支部連合大会, 金沢工業大学, 2006/09/16
20. 知識科学的アプローチでハイテクセンサを用いた介護支援システムを構築する, 國藤進, 松山大学経営学部, 松山大学, 2006/07/10
21. 先端科学技術を駆使し創造性支援システムを研究開発, 國藤進, ADVANCED, 2006/07/10
22. 知識科学的アプローチでハイテクセンサを用いた介護支援システムを構築する, 國藤進, 香川大学工学部, 香川大学, 2006/07/07
23. 4Cグループウェア[座長], 國藤進, 情報処理学会DICOM2006, 琴平グランドホテル, 2006/07/06
24. 知識科学的アプローチでハイテクセンサを用いた介護支援システムを構築する, 國藤進, 能美市第20回先端科学ふれあい講座, ハイテク交流センター, 2006/06/24
25. 知識創造支援システム, 國藤進, 東京大学教養学部「システム科学特別講義IV」・大学院総合分科研究科「広域システム科学特別講義IV」, 東京大学, 2006/06/22-23
26. 3B3ナレッジマネジメントの支援ツールシステムへの応用[コメンテーター], 國藤進, 人工知能学会全国大会, タワーホール船堀, 2006/06/09
27. 確率推論による立ち読み支援システム, 中田豊久, 金井秀明, 國藤進, 人工知能学会第20回全国大会, タワーホール船堀, 2006/06/07
28. センサーベース居住環境「ウェアリアム」における位置情報ウェアネスを利用したシステム, 金井秀明, 鶴岡剛士, 中田豊久, 國藤進, 日本創造学会(主催:北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター), 第3回知識創造支援システム・シンポジウム報告書, 北陸先端科学技術大学院大学, 2006/03/20
29. ウェアラブルのためのウェアラブル技術の開発研究—2年目の研究成果—, 國藤進, 金井秀明, 山下邦弘, 宮田一乗, 西本一志, 藤波努, 杉山公造, 三浦元樹, 中田豊久, 高塚亮三, 臼杵正朗, 小柴 等, Kim,Dong,Wook., 小倉加奈代, 加藤直孝, 上田芳弘, 高橋哲郎, 中川健一, 日本創造学会(主催:北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター), 第3回知識創造支援システム・シンポジウム報告書, 北陸先端科学技術大学院大学, 2006/03/20
30. 気づきを利用した知識創造支援システム研究開発の現状と将来, 國藤進, 会津大学講演会, 会津大学, 2006/01/20
31. 「夢を形にする知識創造方法論とそこから生み出された創作的作品群の紹介, 國藤進, 愛知工業大学経営情報学部講演会, 愛知工業大学, 2006/01/10
32. 気づきを利用した知識創造支援システム研究開発の現状と将来, 國藤進, ヤフー講演会, 六本木ヒルズ, 2005/12/06
33. RFIDタグを用いた位置情報サービス, 國藤進, 富士通ソリューションフォーラム2005, みよこホテル金沢, 2005/11/24
34. ウェアラブルのためのウェアラブル技術の開発研究, 國藤進, 第7回ビジネスモデル研究会(主催:石川県産業創出支援機構), 北陸先端科学技術大学院大学, 2005/11/11
35. 一大学院大学における創造性教育, 國藤進, 日本創造学会第27回研究大会, 学術総合センター, 2005/10/30
36. Location-aware Service, KUNIFUJI,Susumu., Graduate School of SUV University, Seoul, Korea, 2005/10/12(in Japanese)
37. Creativity Support Systems in Japan, Kunifuji,Susumu., The World Knowledge Forum 2005, Sheraton Grande Walkerhill, Seoul, Korea, 2005/10/11
38. ユビキタス技術のグループホームへの応用, 國藤進, 北海道大学原口研究室・COEセミナー, 北海道大学情報科学研究科棟1階講義室, 2005/10/04
39. ローケーションウェア・サービス, 國藤進, 第7回北陸STCサロン, 金沢大学角間キャンパス, 2005/09/27
40. Graduate School in Japan and An Introduction of JAIST, Kunifuji,Susumu., Graduate School in Chinese Science of Academy, Beijing, 2005/07/14
41. Toward Constructing Group Knowledge: A Persistent Communication Tool based on Sharing Desktop Experience, Miura,Motoki., Kunifuji,Susumu., The SINO-JAPAN Workshop on Meta-synthesis and Creativity Support System, Beijing, 2005/07/12
42. Consensus-making Support Systems dedicated to Creativity Support, Kunifuji,Susumu., Kato,Naotaka., The SINO-JAPAN Workshop on Meta-synthesis and Creativity Support System, Beijing, 2005/07/11
43. 大学院大学における創造性教育, 國藤進, 横浜国立大学第1回FD講演会(主催:横浜国立大学 大学教育総合センター・工学研究院), 横浜国立大学工学部講義棟C101サテライト教室, 2005/07/01
44. 知識創造支援システム研究開発の過去・現在・未来, 國藤進, 熊本県立大学総合管理学部談話会, 熊本県立大学, 2005/01/07
45. ITを活用した知識経営の現状と課題, 第2回知識経営における次世代ITプラットフォーム研究会, 國藤進, 産業技術総合研究所ベンチャー開発戦略研究センター第1期, 2004/12/20
46. 創造的人材を育成するグループ創造技法, 國藤進, 高田敬輔, 三村修, JAIST オープンセミナー, 東京サテライトオフィス, 2004/11/28
47. 知識システム論, 國藤進, MOT中核講義, 東京サテライトオフィス, 2004/11/25-27, 12/04
48. 夢を形にする知識創造技法教育研究の紹介, 國藤進, 平成16年度東海・北陸地区国立大学法人等教室系技術職員合同研修会(情報処理コース), 北陸先端科学技術大学院大学, 2004/11/24
49. 知識創造論—知識創造方法論から知識創造支援システムへ—, 國藤進, 石川MOTスクール, 石川県地場産業振興センター, 2004/11/20
50. 情報技術に必要な中長期戦略, 國藤進, 日本学術会議知能工学専門委員会・ソフトウェア工学専門委員会・情報工学研究連絡委員会, 日本学術会議第2部会議室, 2004/11/15
51. 次世代技術をインスパイアする知識創造支援システムの研究, 國藤進, 日立製作所機械研究所, 2004/10/22
52. 学内位置情報ウェアラブルシステム研究の紹介とそのビジネス応用, 國藤進, 山下邦弘, 知的クラスター創成事業「石川ハイテク・センシング・クラスター」第1回ビジネスモデル研究会, 北陸先端科学技術大学院大学, 2004/10/19
53. ウェアラブル実現のためのウェアラブル技術の開発研究, 國藤進, 金井英明, 日本創造学会第26回研究大会, 東京工科大学, 2004/10/16
54. 「夢を形にする知識創造の方法—方法論と実例—, 國藤進, 慶応大学大学院人間社会システム特別講義, 慶応大学日吉校舎, 2004/10/07
55. Creativity Support Systems in JAIST, Kunifuji,S., University of Technology Sydney, 2004/09/28
56. 「夢を形にする知識創造の方法(基調講演), 國藤進, 2004年度第2回マネジメントセミナー(主催:FUJITSUファミリ東京支部), 富士通ソリューションズ, 2004/09/15
57. 夢を形にする知識創造技法教育研究の紹介「創造的人材育成のためのグループ創造技法」, 國藤進, ISP人材確保・育成支援セミナー(主催:石川県産業創出支援機構), 石川ハイテク交流センター研修室, 2004/08/27
58. (株)リコー・グループ技術企画室北口棟こーろーとの研究交流, 國藤進, 三浦元樹, 小柴等, 北陸先端科学技術大学院大学, 2004/08/03
59. ソウル情報通信大学院大学経営情報学科丁昌徳教授ごーろーとの研究交流, 國藤進, 三浦元樹, 北陸先端科学技術大学院大学, 2004/07/27
60. Creativity Support Systems in Japan (2) groupware approach, Kunifuji,S., Seminar Room at ELTE,University of Budapest, 2004/07/18
61. Creativity Support Systems in Japan (1) AI approach, Kunifuji,S., Conference Room at SZTAKI, Budapest, 2004/07/16
62. 創造性開発システム, システム科学特別講義IV, 國藤進, 東京大学大学院総合文化研究科教養学部, 2004/06/28-29
63. 独自の科学技術立国への道—ユニーズとシーズを結び付ける需要指向科学技術政策の展開, 國藤進, ネットコミュニティ, 2004/06/11
64. 知識システム論(MOTコース教材), 國藤進, 北陸先端科学技術大学院大学東京サテライトオフィス, 2004/03/31
65. 発想の原体験から知識創造支援システムの研究開発へ(招待講演), 國藤進, ジャストシステム徳島本社, 2004/03/31
66. メディア教育に関する最近の研究紹介, 國藤進, メディア教育開発センター, 2004/03/22

67. ビジネスインテリジェンスをめぐる展望—知識ビジネス創造のモデル化—(招待講演), 國藤進, 電子情報通信学会オフィスインフォメーションシステム研究会、電子情報通信学会技術研究報告, 103(707), 31-31, 機械振興会館, 2004/03/12
68. ナレッジマネジメント実践事例報告, 國藤進, 日本ヒューレット・パッカード株式会社荻窪営業所, 2004/03/11
69. JAISTにおける創造性支援システムの研究開発, 國藤進, 第1回知識創造支援システム・シンポジウム(主催: 日本創造学会・北陸先端科学技術大学院大学知識科学教育研究センター、共催: デザイン学会創造性研究部会・予防型社会とアウェアネス技術研究会), 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科中講義室, 2004/02/27
70. グループ内知的相互作用を触発する知識創造支援ツールの動向と展望、「需要」側からの科学技術政策の展開(招待講演), 國藤進, 政策科学研究所, 2004/02/04
71. 知識科学研究科の紹介, 國藤進, 徳山高等専門学校, 2004/01/28
72. KJ法の電子化—過去、現在、未来—, 國藤進、金井貴、羽山徹彰, KJ法研究: 特集「第26回KJ法学会大会」, 川喜田研究所, 2004/01

## 近藤 修司

知識科学研究科 教授(知識社会システム学・組織ダイナミクス論)

### ◆著書

1. 成功の宣言文(第2巻):元気の出る俳句, 近藤修司, 田中昭文堂印刷, 2007
2. 成功の宣言文(第1巻):4画面思考, 近藤修司, 田中昭文堂印刷, 2006

### ◆発表論文

1. Toward a Trialectic Structure of Knowledge-creation Ba, Song,H.G., S.Kondou, and K. Nie, Proceedings of Knowledge and Systems Sciences: Towards Knowledge Synthesis and Creation (KSS 2006), 39-45, China, 2006
2. Regional Knowledge Creation in Cluster Promotion Organizations through "MA" Management, Song,H.G., S.Kondou, Proceedings of Knowledge and Systems Sciences: Towards Knowledge Synthesis and Creation (KSS 2006), 22-29, China, 2006
3. Regional Knowledge Creation in Cluster Promotion Organizations through Enhancing Trans-contextual Interactions, Song,H.G, S.Kondou, International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 3(4), 17-27, 2006
4. 日本的MOT(技術経営)とビジネスモデル, 近藤修司, 第49回全国研究大会講演要旨, 日本経営教育学会, 2004

## 杉山 公造

知識科学研究科 教授(知識システム基礎学・知識構造論)

### ◆著書

1. 知を再編する81のキーワード ナレッジサイエンス 増補改訂版, JAIST知識科学研究科監修, 杉山公造、永田晃也、下嶋篤、梅本勝博、橋本敬編著, 近代科学社, 2008
2. Knowledge Science (Korean Edition), Sugiyama,Kozo., Shimojima,Atsushi., Nagata,Akiya., BADA Publishing Co., 321, 2005

### ◆発表論文

1. How People Communicate in a Multithreaded Manner Using Text and Voice: A Pilot Study, Kanayo Ogura, Kazushi Nishimoto and Kozo Sugiyama, 21th International Symposium Human Factors in Telecommunication(HFT2008), 1, 425-432, 2008
2. The concept of knowledge in KM: a dimensional model, Meyer,Bertolt., Sugiyama,Kozo., J. of Knowledge Management, 11(1), 17-36, 2007
3. Explorative evaluation of tacit knowledge in small research projects, Sugiyama,K., Meyer,B., in Gronau,N(ed.), Proc. of the 4th conference on professional knowledge management, WM2007, 2, 259-268, Potsdom, 2007/03/28-30
4. Adapting the force-scan algorithm to visualize learning objects and their relationship in an online learning environment, Tam,V., Kwan,A., Sugiyama,K., Asia-Pacific Symposium on Visualization 2007 (APVIS2007), Sydney, 2007/02/5-7 (poster)
5. Force-directed drawing method for intersecting clustered graphs, Omote,H., Sugiyama,K., Proc. of Asia-Pacific Symposium on Visualization 2007 (APVIS2007), 85-92, Sydney, 2007/02/05-07
6. Eye-tracking analyses of Japanese reading processes, Tera,A.,Sugiyama,K., Proc. The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems (KICCS2006), 108-114, Ayutthaya, Thailand, 2006/08/01-04
7. Method for drawing intersecting clustered graphs and its application to Web Ontology Language, Omote,H., Sugiyama,K., Asia-Pacific Symposium on Information Visualization 2006 (APVIS2006), 85-92, Tokyo, 2006/02/01-03
8. Generation of relevance maps and navigation in a digital book, Ikeda,K.,

Sugiyama,K., Watanabe,I. Misue,K., Asia-Pacific Symposium on Information Visualization 2006 (APVIS2006), 49-58, Tokyo, 2006/02/01-03.

9. Framework development and process analysis of organizational knowledge creation in academic research projects, Sugiyama,K., Proc. The 1st World Congress of the International Federation for Systems Reserach (IFSR2005), Kobe, 2005/11/14-17

10. Knowledge aspects of creativity in inventing puzzles through the equivalent transforming thinking, Sugiyama,K., Proc. of The Sino-Japan Workshop on Meta-synthesis and Creativity Support System, 12-13, Beijing, 2005/07/11-13

11. Puzzle generators and symmetric puzzle layout, Sugiyama,K.,Osawa,R., Hong,S., Proc. of Asia-Pacific Symposium on Information Visualization 2005 (APVIS2005), 93-101, Sydney, 2005/01/27-29

12. Evaluation of the IRORI: A cyber-space that catalyzes face-to-face information communication, Usuki,M., Sugiyama,K.,Nishimoto,K., 314-323, Proc. of the KES2004, Wellington, 2004/09, (Springer LNCS 3213, 2004.)

13. 新しいパズルの創出: "抽象化とメディア変換"戦略の実践と考察, 杉山公造、前田篤彦、大澤亮、水元明法, 創造学会論文誌, 8, 1-20, 2004

14. サイバー囲炉裏を導入した共有インフォーマル空間の観察実験の結果と考察, 臼杵正郎、西本一志、杉山公造, 創造学会論文誌, 8, 36-48, 2004

15. ラウンジ用付帯的情報配信メディアにおける動的表示方式に関する評価実験, 前田篤彦、中森義輝、杉山公造, ヒューマンインタフェース学会誌, 6(1), 87-95, 2004

16. Evolving artificial ant systems to improve layouts of graphical objects, Tam,V.,Koo,S.,Sugiyama, K., Springer LNAI 3157, 955-956, 2004

17. Divergence via abstraction: Practices for inventing new puzzles, Sugiyama,K., Maeda,A.,Mizumoto,A., Proc. of the 4th International Conference on Systems Science and Systems Engineering 2003 (ICSSSE2003), 39-44, Hong Kong, 2003/11

18. 言い訳オブジェクトとサイバー囲炉裏: 共有インフォーマル空間におけるコミュニケーションを触発するメディアの提案, 松原孝志、臼杵正郎、杉山公造、西本一志, 情報処理学会誌, 44(12), 3174-3187, 2003

19. The puzzle layout problem, Sugiyama,K.,Hong,S.,Maeda,A., Proc. of Graph Drawing 2003, 500-501, Pelugia, 2003/09, (Springer LNCS 2912, 2004.)

20. Visualization methods for sharing knowledge pieces and relationships based on biological models, Usuki,M., Sugiyama,K., Proc. of KES2003, (Palade, V. et al.(Eds.): Knowledge-based intelligent information and engineering systems, Springer, LNAI 2774, 786-793, Oxford, 2003/09)

### ◆講演発表

1. エントロピー値から分析した読解中の視線停留データ—外国人被験者と日本語母語話者の比較, 寺朱美、白井清昭、由井園隆也、杉山公造, 2007年度日本語教育学会秋期大会予稿集, 191-196, 2007

2. Community support system for extensive readers: Case study in a domain "Knowledge Science", Ishikawa,K., Ogura,K. and Sugiyama,K., Proc. of KES 2007, Vietri sul Mare, 2007/09/12-14 (Springer LNCS 4693, 1246-1252, 2007)

3. Explorative evaluation of tacit knowledge in small research projects, Sugiyama, K. and Meyer, B., WM2007, 2007/03/28-30, Potsdom. In N. Gronau(ed.), Proc. of the 4th conference on professional knowledge management, vol.2, 259-268

4. ChaTEL: A novel voice communication systems based on analysing text-based chat conversations for multiple topic threads, Ogura, K., Nishimoto, K. and Sugiyama, K, Proc. of the 2nd IASTED International Conference Human-Computer Interaction (HCI2007), 49-54, Chamonix, France, 2007/03/14-16

5. A Novel Voice Communication System based on Analysing Multiple Topic Threads in Text-Based Chat Conversations, Ogura,Kanayo, Nishimoto,Kazushi, Sugiyama,Kozo, The Second IASTED International Conference on Human-Computer Interaction (IASTED-HCI 2007), Chamonix, France, 2007/03/14-16

6. テキストチャットにおける発言修正行動の分析に基づく感情情報抽出可能性の検討, 小倉加奈代、西本一志、杉山公造, 人工知能学会・49回 言語・音声理解と対話処理研究会, 東京, 2007/03/02

7. Force-directed drawing method for intersecting clustered graphs, Omote, H. and Sugiyama, K., Proc. of Asia-Pacific Symposium on Visualization 2007 (APVIS2007), 85-92, Sydney, 2007/02/05-07

8. Adapting the force-scan algorithm to visualize learning objects and their relationship in an online learning environment, Tam, V., Kwan, A. and Sugiyama, K, Asia-Pacific Symposium on Visualization 2007 (APVIS2007), Sydney, 2007/02/05-07(poster)

## 中森 義輝

知識科学研究科 教授(知識システム基礎学・複雑系解析論)

### ◆著書

1. Interval/Probabilistic Uncertainty and Non-Classical Logics. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ono, H., Lawry, J., Kreinovich, V., Nguyen, H.T. (Eds.), Advances in Soft Computing, Springer-Verlag, 2008/03

2. 複雑系経済現象への物理的モデル. 堀秀信, 中森義輝, 166p., JAIST Press, 2008. ISBN 978-4-903092-11-9
3. Personalized Recommendation for Traditional Crafts Using Fuzzy Correspondence Analysis with Kansei Data and OWA Operator
4. in Interval/Probabilistic Uncertainty and Non-Classical Logics, Ryoike, M., Nakamori, Y., Huynh, V. H., in Interval/Probabilistic Uncertainty and Non-Classical Logics, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ono, H., Lawry, J., Kreinovich, V., Nguyen, H.T. (Eds.), Springer-Verlag, 2008/03
5. A Probability-Based Approach to Consumer Oriented Evaluation of Traditional Craft Items Using Kansei Data. Yan, H., Huynh, V. N., Nakamori, Y., in Interval/Probabilistic Uncertainty and Non-Classical Logics, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ono, H., Lawry, J., Kreinovich, V., Nguyen, H.T. (Eds.), Springer-Verlag, 2008/03
6. An overview on the approximation quality based on rough-fuzzy hybrids. Huynh, V. H., Ho, Y. B., Nakamori, Y., Fuzzy Sets and Their Extensions: Representation, Aggregation and Models. Intelligent Systems from Decision Making to Data Mining, Web Intelligence and Computer Vision. Boustine, H., Herrera, F., Montero, J. (Eds.), Springer-Verlag, Chapter 25, 493-515, 2008
7. Creative Environments – Issues of Creative Support for the Knowledge Civilization Age. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y. (Eds.), 509p., Springer, 2007
8. Decision Analysis with Fuzzy Targets. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Murai, T., Intelligent Decision Making: An AI-Based Approach. Phillips-Wren, G., Ichalkaranje, N., Jain, L. (Eds.), Chapter 5, 134-155, Springer-Verlag, 2007
9. Testing the Triple Helix Model. Tian, J., Wierzbicki, A. P., H. Ren, H., Nakamori, Y., in Creative Environments, –Issues of Creativity Support for the Knowledge Civilization Age, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., (Eds.), Springer-Verlag, Berlin-Heidelberg, Chapter 2, 25-45, 2007
10. A Behavioral Analysis in Decision Making using Weather Information with the Fuzzy Target based Decision Model. Hiramatsu, A., Huynh, V. H., Nakamori, Y., in Modeling Decisions for Artificial Intelligence, Torra, V., Narukawa, Y., Yoshida, Y. (Eds.), LNAI 4617, Springer-Verlag, 68-79, 2007
11. Creativity Support for Roadmapping. Ma, T., Yan, J., Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., in Creative Environments. –Issues of Creativity Support for the Knowledge Civilization Age, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y. (Eds.), Springer, Chapter 7, 155-189, 2007
12. Management of Technology in Academic Research. Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., in Creative Environments –Issues of Creativity Support for the Knowledge Civilization Age, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y. (Eds.), Chapter 14, Springer, 353-368, 2007
13. Roadmapping and I-System. Ma, T., Yan, J., Nakamori, Y., Lecture Notes in Computer Sciences, Springer, 4490, 1-8, 2007
14. Utility function induced by fuzzy target in probabilistic decision making. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ho, T. B., RSTC 2006. S. Greco et al. (Eds.), Springer-Verlag, LNAI4259, 296-305, 2006
15. Creative Space – Models of Creative Processes for the Knowledge Civilization Age. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., 289p., Springer, 2005/12
16. Agent-Based Simulation of Alliance of Automobile Enterprises. Suganuma, S., Huynh, V. N., Nakamori, Y., Chen, J., in Gaming, Simulations, and Society (Shiratori, R., Arai, K., Kato, F., Eds.), 289-298, Springer-Verlag, Tokyo, 2005
17. Select the Size of Training Set for Financial Forecasting with Neural Networks. Huang, W., Nakamori, Y., Wang S., Zhang, H., Lecture Notes in Computer Science 3497, 879-884, 2005
18. Mining Medline for New Possible Relations of Concepts. Huang, W., Nakamori, Y., Wang S., Zhang, H., Lecture Notes in Computer Science 3314, 794-799, 2005
19. An Extension of Rough Approximation Quality to Fuzzy Classification. Huynh, V. N., Murai, T., Ho, T. B., Nakamori, Y., in RSFDGrC 2005 (Duntsch, I. et al. Eds.), 373-382, Springer-Verlag, Berlin Heidelberg 2005, LNAI 3641, 2005
20. A New Approach to Belief Modeling. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Murai, T., Ho, T. B., Foundations of Information and Knowledge Systems. Lecture Notes in Computer Science (D. Seipel, J.M.T. Torres eds.), Springer, 196-212, 2004
21. Modeling Sustainable Water Prices. Bartoszczuk, P., Nakamori, Y., Sustainable Development Planning: Modeling and Decision Support, Chapter 10, 316-355, 2004
22. A Framework for Representation and Manipulation of Vague Knowledge. Huynh, V. H., Nakamori, Y., Modeling Decisions for Artificial Intelligence (V. Torra, Y. Narukawa Eds.), LNAI 3131, 295-305, Springer-Verlag, Heidelberg 2004
23. Assessment Aggregation in the Evidence Reasoning Approach to MCDM under Uncertainty: Orthogonal Sum Versus Weighted Sum. Huynh, V. H., Nakamori, Y., in Advances in Computer Science – ASIAN 2004, High-level Decision-making (M. Maher, ed.), LNCS3321, Springer-Verlag, 109-127, 2004
24. 知識創造理論の開発と実践. 中森義輝, 知能と情報, 16(6), 514-521, 2004
- ◆発表論文
- 【学会誌掲載論文・解説・紀要】
1. 知識の統合と創造の方法論. 中森義輝, システム／制御／情報, 52(6), 194-199, 2008
2. 産学官における技術開発・研究活動の評価. 菊池智子, 中森義輝, 平木肇, 知識創造論集(北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター紀要), 4(4), 1-24, 2008
3. A probability-based approach to comparison of fuzzy numbers and applications to target oriented decision making. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Lawry, J., IEEE Transactions on Fuzzy Systems 16(2), 371-387, 2008
4. Establish a Creative Environment for Roadmapping in Academia – From the Perspective of I-System Methodology. Ma, M., Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Journal of Systems Science and Systems Engineering, Springer, 16(4), 469-488, 2007
5. The Episteme of Knowledge Civilization. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(3), 8-20, 2007
6. Electronic Support for Knowledge Creation in a Research Institute. Ren, H., Tian, J., Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., Journal of Systems Science and System Engineering, 16(2), 235-253, 2007
7. Combining Classifiers for Word Sense Disambiguation Based on Dempster-Shafer Theory and OWA Operators. Le, A. C., Huynh, V. N., Shimazu, A., Nakamori, Y., Data & Knowledge Engineering, 63(2), 381-396, 2007
8. An Algebraic Foundation for Linguistic Reasoning. Huynh, V. H., Murai, T., Nakamori, Y., Fundamenta Informaticae, IOS Press, 78(2), 271-294, 2007
9. Decision Making under Uncertainty with Fuzzy Targets. Huynh, V. H., Nakamori, Y., Ryoike, M., Ho, T. B., Fuzzy Optimization and Decision Making, Springer, 6(3), 255-278, 2007
10. Agent-Based Simulation for Kansei Engineering: Testing a Fuzzy Linear Quantification Method in an Artificial World. Ma, T., Nakamori, Y., Journal of Systems Science and Systems Engineering, Springer, 16(3), 308-321, 2007
11. Agent Model Analysis to Explore Effects of Interaction and Environment on Individual Performance. Kikuchi, T., Nakamori, Y., Journal of Systems Science and Complexity, Vol.20, 1-27, 2007
12. On the Cross-Disciplinary Innovation Creation Process as COE Activity. Tsuruoka, H., Yoshinaga, T., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 19-26, 2007/06
13. Creative Environments for Scientific Research in a Research Institute. Ren, H., Wierzbicki, A. P., Tian, J., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 35-47, 2007/06
14. Enabling Ontology Driven Semantic Search for Research Topics. Nie, K., Wierzbicki, A. P., Dobzanskis, R., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 48-58, 2007/06
15. Constructing an Ontology for a Research Program. Tian, J., Wierzbicki, A. P., Ren, H., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 59-67, 2007/06
16. Study on Data Analysis and Support System Design for Computer-Based Road Mapping Approach in Academia. Yan, J., Ma, T., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 68-75, 2007/06
17. Evaluation of Research Capabilities and Environments in Academia Based on a Knowledge Creation Model. Kikuchi, T., Rong, L., Wang, Z., Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(1), 14-24, 2007
18. Agent-Based Modeling and Simulation on Network Externality and Knowledge Strategy. Ma, T., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(1), 25-30, 2007
19. Knowledge Discovery of Interview Survey on Fresh Food Management. Ryoike, M., Yamashita, Y., Hori, K., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(1), 31-34, 2007
20. The Importance of Multimedia Principle and Emergence Principle. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 4(2), 1-9, 2007/06
21. Knowledge Sciences and Nanatsudaki: A New Model of Knowledge Creation Processes. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Journal of Systems Sciences and Systems Engineering, 6(1), 1-21, 2007/03
22. Knowledge Sciences: Some New Developments. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., ZfB 77. Jg, 271-296, 2007
23. An agent-based approach for predictions based on multi-dimensional complex data. Ma, T., Nakamori, Y., Huang, W., Information Sciences, Elsevier, Vol.176, 1156-1174, 2006
24. Treating Fuzziness in Subjective Evaluation Data. Nakamori, Y., Ryoike, M., Information Sciences, 176, 3610-3644, 2006/12
25. Multiple attribute decision making under uncertainty: The evidential reasoning approach revisited. Huynh, V. H., Nakamori, Y., Ho, T. B., Murai, T., IEEE Transactions on Systems, Man and Cybernetics – Part A: Systems and Humans, 36(4), 804-822, 2006/07
26. Word Sense Disambiguation by Combining Classifiers with an Adaptive Selection of Context Representation. Le, A. C., Shimazu, A., Huynh, V. N., Journal of Natural Language Processing, 13(1), 75-95, 2006.

27. Detecting Citation Types Using Finite-State Machines, Le,Minh-Hoang, HO,Tu-Bao., Nakamori,Yoshiteru., Advances in Knowledge Discovery and Data Mining: 10th Pacific-Asia Conference, PAKDD 2006, Singapore, 2006/04/9-12, Proceeding, LNCS 3918, 265-274, 2006
28. A Study of Knowledge Creation Support in Japanese Research Institute. Tian, J., Wierzbicki, A. P., Ren, H., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 3(1), 7-18, 2006/03
29. Knowledge Management in Academia: Survey, Analysis and Perspective. Tian,J., Nakamori,Y., Xiang,J., Futatsugi,K., International Journal of Management and Decision Making, 7(2/3), 275-294, 2006
30. Design of a Software Agent for Business Gaming Simulation, Shinoda,Yuji., Ryoike,Mina.,Terano,Takao.,Nakamori,Yoshiteru., Journal of Systems Science and Systems Engineering, 15, 1, 83-94, 2006/03
31. Designing, Utilizing and Evaluating "Technology-creating Ba" in a Japanese Scientific Research Institution, Nakamori,Yoshiteru., Systems Research and Behavioral Science, 23, 3-19, 2006
32. A Context-dependent Knowledge Model for Evaluation of Regional Environment. Kawano, S., Huynh, V. N., Ryoike, M., Nakamori, Y., Environmental Modelling and Software, Vol.20, 343-352, 2005
33. A Fuzzy Set Based Approach to Generalized Landscape Theory of Aggregation. Saganuma, S., Huynh, V. N., Nakamori, Y., New Generation Computing, 23(1), 57-66, 2005
34. Forecasting Stock Market Movement Direction with Support Vector Machine. Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Computers and Operations Research, 32(10), 2513-2522, 2005
35. A Roughness Measure for Fuzzy Sets. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Information Sciences, Vol.173, 255-275, 2005
36. Agent-based Approach to Complex Systems Modeling. Ryoike,M., Nakamori, Y., European Journal of Operational Research, Vol.166, 717-725, 2005
37. Agent-Based Modeling on Technological Innovation as an Evolutionary Process. Ma, T., Nakamori, Y., European Journal of Operational Research, Vol.166, 741-755, 2005
38. Roadmapping as a Way of Knowledge Management for Supporting a Scientific Research in Academia. Ma, T., Liu, S., Nakamori, Y., Systems Research and Behavioural Science, Vol.22, 1-13, 2005
39. Mining Scientific Literature to Predict New Relationships. Huang,W., Nakamori,Y., Wang,S., Ma,T., Intelligent Data Analysis, Vol.9, 219-234, 2005
40. Knowledge Construction: An Evolutionary-Game Perspective, Nakamori,Yoshiteru.,Zhu,Zhichang., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 2(4), 9-19, 2005/12
41. Detecting Emerging Trends from Scientific Corpora, Le,Minh-Hoang., Ho,Tu-Bao., Nakamori,Yoshiteru., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 2(2), 53-59, 2005/06
42. A satisfactory-oriented approach to multi-expert decision-making with linguistic assessments, Huynh,V.N.,Nakamori,Y., IEEE Transactions on Systems, Man, and Cybernetics - Part B: Cybernetics, 35(2), 184-196, 2005/04
43. A Satisfactory-oriented Approach to Multi-expert Decision-making under Linguistic Assessments. Huynh, V. N., Nakamori, Y., IEEE Trans. on Systems, Man and Cybernetics, Part B, Cybernetics, 35(2), 184-196, 2005/04
44. 感性データ解析のためのファジィ数量分析手法. 中森義輝, システム／制御／情報, 48(1), 612-617, 2004
45. ランドスケープ理論と拡張モデル. 中森義輝, 菅沼成正, 知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌), 16(1), 3-7, 2004
46. エージェントによるデータベースからのルール抽出法. 領家美奈, 中森義輝, 知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌), 16(1), 60-69, 2004
47. A Context Model for Fuzzy Concept Analysis Based upon Modal Logic. Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ho, T. B., Resconi, G., Information Sciences, Vol.160, 111-129, 2004
48. An Alternative Extension of the k-Means Algorithm for Clustering Categorical Data. San, O.M., Huynh, V.N., Nakamori, Y., International Journal of Applied Mathematics and Computer Science, 14(2), 241-247, 2004
49. Forecasting Foreign Exchange Rates with Artificial Neural Networks. Huang, W., Lai, K. K., Nakamori, Y., Wang, S., International Journal of Information Technology and Decision Making, 3(1), 145-165, 2004
50. A General Approach Based on Autocorrelation to Determine Input Variables of Neural Networks for Time Series Forecasting. Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Journal of Systems Science and Complexity, 17(3), 297-305, 2004
51. Exploring a Sociologist Understanding for the i-System. Nakamori,Y., Zhu, Z., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 1(1), 1-8, 2004/10
52. Creative Space: A Tool for Knowledge Integration. Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 1(1), 26-32, 2004/10
53. A Recommendation for IT-driven Knowledge Sharing. Inuzuka,Atsushi., Nakamori,Yoshiteru., Systems and Computers in Japan, 35(3), 2004
54. Structured Modeling Technology: A Modeling Environment for Integrated Environmental Assessment, Purwasih,Wita., Nakamori,Yoshiteru., Transactions of the International Environmental Modeling and Software Society, 1, 385-390, 2004
55. A Framework of Fuzzy Landscape Theory with an Application to Alliance Analysis. Saganuma, S., Huynh, V. N., Nakamori, Y., Wang, S., Lai, K. K., Journal of Systems Science and Complexity, 16(1), 1-12, 2003
56. Critical Systems Thinking as a Way to Manage Knowledge. Gao, F., Li, M., Nakamori, Y., Systems Research and Behavioral Science, Vol.20, 3-19, 2003, (Literati Club 2003 Highly Commended Award)
57. Systems Methodology and Mathematical Models for Knowledge Management, Nakamori,Y., Journal of Systems Science and Systems Engineering, 12(1), 49-72, 2003
58. Complex Eco-economic Systems. Bartoszczuk, P., Nakamori, Y., Japanese Journal of System Dynamics, No.3, 49-62, 2003
59. An Empirical Analysis of Sampling Interval for Exchange Rate Forecasting with Neural Networks. Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Yu, L. A., Journal of Systems Science and Complexity, 16(2), 165-176, 2003
60. Forecasting Nikkei 25 Index with Support Vector Machine. Huang, W., Lai, K. K., Nakamori, Y., Wang, S., Journal of Systems Science and Complexity, 16(4), 415-423, 2003
61. 環境認知アプローチに関する社会シミュレーション. 菅沼成正, 中森義輝, 日本シミュレーション&ゲーミング学会誌, 13(1), 32-43, 2003
62. A Clustering Algorithm for Mixed Numeric and Categorical Data. San, O.M., Huynh, V.N., Nakamori, Y., Journal of Systems Science and Complexity, 16(4), 562-571, 2003/10
63. An Agent-based Approach to Identification Prediction Models. Ma, T., Nakamori, Y., International Journal of Uncertainty, Fuzziness and Knowledge-based Systems, 11(4), 495-514, 2003/08
64. 感性評価データの主成分分析に関する考察. 中森義輝, 領家美奈, 河野小夜子, 知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌), 15(6), 658-676, 2003  
【国際学会・国内学会発表論文】
1. A Probability-Based Approach to Consumer-Oriented Evaluation of Japanese Traditional Crafts, Yan, H., Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of International Workshop on Interval/Probabilistic Uncertainty and Non-Classical Logics (UncLog'08), 326-340, 2008/03/25-28
2. 漆器産業における技術革新の知識基盤化, 山下幸裕, 中森義輝, 日本の技術革新—経験蓄積と知識基盤化—第3回国際シンポジウム研究発表会論文集, 25-28, 東京, 2007/12/14-15
3. 伝統産業の類型化に関する研究, 中森義輝, 山下幸裕, 日本の技術革新—経験蓄積と知識基盤化—第3回国際シンポジウム研究発表会論文集, 29-30, 東京, 2007/12/14-15
4. A Methodology for Archiving Technological Knowledge, Yamashita, Y., Nakamori, Y., Proc. of The 8th International Symposium Knowledge and Systems Sciences, 206-211, Ishikawa, Japan, 2007/11
5. Kansei Visualization System using Fuzzy Correspondence Analysis, Ryoike, M., Nakamori, Y., Proc. of The 8th International Symposium Knowledge and Systems Sciences, 140-147, Ishikawa, Japan, 2007/11
6. A new linguistic approach to go/no-go evaluation at the front end in new product development, Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of The 8th International Symposium Knowledge and Systems Sciences, 148-155, Ishikawa, Japan, 2007/11
7. Constructing an Ontology for a Research Program from a Knowledge Science Perspective, Tian, J., Wierzbicki, A. P., Ren, H., Nakamori, Y., Proc. of the Second International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management, KSEM2007 (LNAI4798, Z.Zhang and J.Siekman eds., Springer)372-383, Melbourne, Australia, 2007/11/29-30
8. Knowledge Integration on Fresh Food Management, Nakamori, Y., Yamashita, Y., Ryoike, M., Proceedings of the Second International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management, KSEM2007 (LNAI4798, Z.Zhang and J.Siekman eds., Springer), 630-635, Melbourne, Australia, 2007/11/29-30
9. An Approach to Knowledge Transferring in Science-policy Process, Miyashita, M., Nakamori, Y., Proceedings of the Second International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management, KSEM2007 (LNAI4798, Z.Zhang and J.Siekman eds., Springer), 636-641, Melbourne, Australia, 2007/11/29-30
10. 生鮮食品マネジメントシステムに関する研究, 山下幸裕, 領家美奈, 中森義輝, 第2回横幹連合コンファレンス, 79-382, 京都, 2007/11/29-30
11. 知識創造の本質としての暗黙的認識—音楽演奏会の構造から, 村瀬喜代美, 吉田徳稔, 中森義輝, 経営情報学会秋季全国研究発表大会予稿2006, 岐阜, 2006/11/11-12
12. Multi-criteria Decision Making with Fuzzy Targets, Yan, H., Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 171-178, Ishikawa, Japan, 2007/11/05-07
13. Constructing an Ontology for a Research Program, Tian,J., Wierzbicki,A.P., Ren, H., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge

and Systems Sciences (KSS2007), 239–246, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

14. A Road Mapping Approach for Research Cooperation among Academia Industry and Government, Yan, J., Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 231–238, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

15. Investigation on Knowledge management Environments in Academia, Kikuchi, T., Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 96–103, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

16. The Importance of Multimedia Principle and Emergence Principle, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 77–86, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

17. Knowledge Transferring in Science–Policy Process, Miyashita, M., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 223–229, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07, (Best Student Paper Award)

18. Exploring Skills and Qualities of Knowledge Coordinators, Chihara, K., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 212–217, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

19. An Analysis of Research Topics within a Community: The Example of Knowledge Science, Nie, K., Ji, Z., Nakamori, Y., Proc. of the 1st International International Joint Conference on Knowledge Science (IJCKS2007), 261–265, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07, (Best Student Paper Award)

20. Decision Making Models Using Weather Forecast Information, Hiramatsu, A., Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 329–336, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

21. Innovation Study for Materials Science Laboratory Management, Supported by Knowledge Science Tools: Five Cross–Disciplinary Projects, Tsuruoka, H., Yoshinaga, T., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), 386–392, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

22. Modeling Technological Change in Energy Systems – from optimization to agent–based simulation, Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 393–400, Ishikawa, Japan, 2007/11/05–07

23. 大学院生を対象とした研究テーマ探索手法の開発について—遷移金属触媒反応研究分野の化学系研究室における事例, 平松章男, 和田透, 小林俊哉, 寺野稔, 中森義輝, 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 855–858, 東京, 2007/10/27–28

24. Innovation Study for Materials Science Laboratory Management, Supported by Knowledge Science Tools: Five Cross–Disciplinary Projects, Tsuruoka, H., Yoshinaga, T., Kobayashi, T., Nakamori, Y., 研究・技術計画学会第22回年次学術大会, 189–192, 東京, 2007/10/27–28

25. Improvement of Subject Selection of Graduate Research by Each Student – A Case Study of Chemistry Laboratory Studying Transition Metal Catalyst–, Hiramatsu, A., Wada, T., Kobayashi, T., Terano, M., Nakamori, Y., Proc. of the 1st International Symposium on Ultimate Stability of Nano–structured Polymers and Composites, poster, Ishikawa, Japan, 2007/10/11–13

26. Knowledge Integration Methodology for Designing a Knowledge Base of Technology Development in Traditional Craft Industry, Yamashita, Y., Nakamori, Y., Proc. of 2007 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2007), 332–337, Montreal, Canada, 2007/10/07–10,

27. Group decision making with linguistic information using a probability–based approach and OWA operator, Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of 2007 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC 2007), 570–575, Montreal, Canada, 2007/10/07–10

28. Quantification of Relationships between Evaluation Targets and Adjectives through Fuzzy Correspondence Analysis and OWA Operator, Ryoike, M., Nagase, K., Y. Nakamori, Proc. of 2007 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2007), 656–660, Montreal, Canada, 2007/10/07–10

29. Building a Taxonomy of Understanding Knowledge Management, Nie, K., Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of the 8th European Conference on Knowledge Management (ECKM2007), 688–695, Barcelona, Spain, 2007/09, (This paper has been honorably selected by the conference for publication in a Special Issue of the online Journal EJKM)

30. 九谷焼産業における技術革新の知識基盤化, 中森義輝, 山下幸裕, 山磨容子, 日本の技術革新—経験蓄積と知識基盤化—第3回フォーラム研究成果発表梗概集, 2007/08/03–04

31. A Fuzzy Target Based Model for Multi–criteria Decision Making, Yan, H., Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of Modeling Decisions for Artificial Intelligence 4th International Conference (MDAI), ISBN 978–84–00–08539, 12–23, Kitakyushu, 2007/08/15–17

32. A Behavioral Analysis in Decision Making Using Weather Information with the Fuzzy Target Based Decision Model, Hiramatsu, A., Huynh, V. H., Nakamori, Y., Proc. of the 4th International Conference, Modeling Decisions for Artificial Intelligence (MDAI2007), 68–79, Kitakyushu, 2007/08/15–17

33. Constructing an Ontology for a Research Program, Tian, J., Wierzbicki, A. P., Ren, H., Nakamori, Y., Abstract in proceeding of and presentation in the 51st Annual Conference of the International Society for the Systems Sciences (ISSS), Tokyo, Japan, 2007/08/05–10

34. 生鮮食品マネジメントに関する研究, 山下幸裕, 領家美奈, 中森義輝, 電気学会情報システム研究会, 35–40, 京都, 2007/06/29

35. On probability of making a given decision: A theoretically justified transition from interval to fuzzy uncertainty, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Modave, F., Proc. of 2007 Annual Meeting of the North American Fuzzy Information Processing Society (NAFIPS 2007), 532–536, San Diego, USA, 2007/06/24–27

36. Roadmapping and i–System, Ma, T., Yan, J., Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Computational Science (ICCS), LNCS 4490, 1–8, Beijing, 2007/05/27–30

37. Knowledge Management and Knowledge Creation in Academia: A Study Based on Surveys in a Japanese Research University, Tian, J., Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., Proc. of the 3rd Asia–Pacific International Conference on Knowledge Management, Hong Kong, 2006/12/11–13

38. 知識創造の本質としての暗黙的認識—音楽演奏会の構造から, 村瀬喜代美, 吉田武稔, 中森義輝, 経営情報学会秋季全国研究発表大会予稿2006, 岐阜, 2006/11/11–12

39. 創造的能力の身体的基盤に関する一考察—音楽鑑賞の構造から, 村瀬喜代美, 中森義輝, 日本創造学会第28回研究大会発表論文集, 118–123, 2006/10/28–29

40. 新構想大学院大学における研究テーマ探索手法の開発について, 平松章男, Dodik Kurniawan, 小林俊哉, 寺野稔, 中森義輝, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集 I, 72–75, 仙台, 2006/10/21–22

41. 伝統産業における技術革新の知識基盤化, 中森義輝, 山下幸裕, 山磨容子, 日本の技術革新—経験蓄積と知識基盤化—第2回フォーラム, 東京, 2006/09/22

42. Electronic Support for Knowledge Creation in a Research Institute, Ren, H., Tian, J., Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 55–62, Beijing, China, 2006/09/22–25

43. A Study on Decision–Making Models Using Long–Range Weather Forecasting Services, Hiramatsu, A., Nakamori, Y., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 232–237, Beijing, China, 2006/09/22–25

44. Informal Networks and Management of Tacit Knowledge, Nie, K., Ji, Z., Song, H., Nakamori, Y., Tang, X., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 257–264, Beijing, China, 2006/09/22–25

45. Knowledge Management in Science–Policy Process, Miyashita, M., Nakamori, Y., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 265–270, Beijing, China, 2006/09/22–25

46. Knowledge Coordinator for Social Innovation, Chihara, K., Nakamori, Y., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 288–295, Beijing, China, 2006/09/22–25

47. Modeling and Evaluation of Technology Creation Process in Academia, Kikuchi, T., Nakamori, Y., Wierzbicki, A. P., Proc. of the 7th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 46–54, Beijing, China, 2006/09/22–25

48. RNA trap using Microfluidic chip with taper shaped channel, Ueno, K., Nagasaka, W., Tomizawa, Y., Nakamori, Y., Tamiya, E., Takamura, Y., International Conference on Solid Devices and Materials, 2006/09/12–15

49. テーパー状流路を用いたRNAトラップ及びラップパターン遷移, 上野國光, 長坂和晃, 富沢祐一, 中森義輝, 民谷栄一, 高村禪, 応用物理学学会第67回秋季学術講演会ポスター発表, 2006/08/29–09/01

50. The Organic Building–out of Energy Systems with a Simple Computer Model, Ma, T., Arthur, W. B., Grubler, A., Nakicenoic, N., The 20th Workshop on Complex Systems Modeling, IASA, 2006/08/28–30

51. A Study on Knowledge Creation Support in a Japanese Research Institute, Tian, J., Wierzbicki, A. P., Ren, H., Nakamori, Y., Proc. of First International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management (KSEM06), Springer, Verlag Berlin Heidelberg, LNAI 4092, 405–417, Guilin, China, 2006/08/05–08

52. The Use of Reference Profiles and Multiple Criteria Evaluation in Knowledge Acquisition from Large Databases, Wierzbicki, A. P., Tian, J., Ren, H., 4th US–European Workshop on Logistics and Supply Chain Management, Hamburg, Germany, 2006/06/08–09

53. 販売者と消費者の意識相違の分析, 領家美奈, 山下幸裕, 堀喜一郎, 中森義輝, 第50回システム制御情報学会研究発表講演会, 京都, 2006/05/10–12

54. 惣菜部門担当者のマネジメント知識の分析, 山下幸裕, 領家美奈, 中森義輝, 第26回ファジィ・ワークショップ講演論文集, 1–2, 東京, 2006/03/17–18

55. A fuzzy target based model for decision making under uncertainty, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Ryoike, M., Ho, T. B., Proc. of IEEE International Conference

- on Fuzzy Systems, 1611-1618, Vancouver, Canada, 2006
56. A Study on the Vitalization of Music Halls of Tokyo -An Application of Extended Soft Systems Methodology-, Murase, K., Yoshida, T., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.310-311), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
57. Knowledge Discovery of Interview Survey on Fresh Food Management, Ryoike, M., Yamashita, Y., Hori, K., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.332-334), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
58. Weighted Combination of Classifiers Based on Dempster-Shafer Theory and OWA Operations in World Disambiguation, Huynh, V. N., Le, C. A., Shimazu, A., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.345-347), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
59. Systems for Integrating and Creating Knowledge, Nakamori, Y., Wierzbicki, A.P., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.383-385), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
60. Knowledge Construction as Evolutionary Gaming, Zhu, Z., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.409-411), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
61. Design and Evaluation of Creative Environments in Academia, Nakamori, Y., Kikuchi, T., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.35-37), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
62. Knowledge Management in Scientific Laboratories: A Survey-based Study of a Research Institute, Tian, J., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.41-43), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
63. Effects of Interaction and Environments on Growth of Students, Kikuchi, T., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.48-49), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
64. Study on a Roadmapping Process Model as a Way to Support Technology Creation in University Setting, Tian, J., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.50-52), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
65. Understanding a Large Scientific Project from Network Perspective, Nie, K., Tang, X., Gu, J., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.65-66), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
66. A Network System for Knowledge Sharing in Learning Organization, Ren, H., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.67-69), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
67. Design of a Software Agent for Business Gaming Simulation, Shinoda, Y., Ryoike, M., Terano, T., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.155-157), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
68. Toward Policymaking Support Based on Remote Sensing Data, Miyashita, M., Nakamori, Y., Proc. of the First World Congress of the International Federation for Systems Research, in CD, (Abstracts pp.300-302), Kobe, Japan, 2005/11/14-17
69. 日本の音楽ホール活性化への一考察 -ソフトウェア方法論を応用して, 村瀬喜代美、吉田武稔、中森義輝, 経営情報学会2005年秋季全国研究発表大会, 228-231, 福岡, 2005/11/12-13
70. テーパ状流路を用いた細胞からのRNAトラップ, 上野國光、大瀬貴寛、結城興仁、富沢祐一、永谷尚紀、中森義輝、民谷栄一、高村禪, 日本化学会近畿支部平成17年度北陸地区講演会poster発表, 石川, 2005/11/12
71. 技術開発支援手法ロードマッピングプロセスに関する研究 - 燃料電池技術開発支援in JAIST, 領家美奈、山下幸裕、堀喜一郎、中森義輝, 研究・技術計画学会第20回年次学術大会, 講演要旨集II, 545-548, 東京, 2005/10/22-23
72. 環境との相互作用によるヒューマン・エージェントのパフォーマンス分析, 菊池智子、中森義輝, 第21回ファジィシステムシンポジウム講演論文概要集, p.33, 東京, 2005/09/07-09
73. 生鮮食品管理に関するアンケート調査からの知識発見, 領家美奈、山下幸裕、堀喜一郎、中森義輝, 第21回ファジィシステムシンポジウム, 600-601, 2005/09/07-09
74. ヒューマン・エージェント間の相互作用によるパフォーマンス変化の分析, 菊池智子、中森義輝, 日本行動計量学会第33回大会発表論文抄録集, 304-307, 長岡, 2005/08/26-29
75. A Fuzzy Principal Component Model, Ryoike, M., Nakamori, Y., Proc. of Eleventh International Fuzzy Systems Association World Congress, 13-18, Beijing, China, 2005/07/28-31
76. A Diagramming Technique for Representation of Integrated Assessment Models, Purwasih, W., Nakamori, Y., Proc. of the ISEIS 2005 Conference, Volume 3, 211-217, Xiamen, China, 2005/07/26-28. In Li, J., Jiang, Q., Li, M., Li, Y., (eds), Environmental Informatics Archives.
77. MEDM in General Multi-granular Hierarchical Linguistic Contexts Based on the 2-tuples Linguistic Model, Huynh, V.N., Nguyen, C.H., Nakamori, Y., Proc. of IEEE International Conference on Granular Computing, 482-487, Beijing, China, 2005/07/25-27
78. A Prototype System for Using Structured Document to Support Knowledge Sharing, Ren, H., Nakamori, Y., Proc. of IEEE/SSSM'05: International Conference on Service Systems and Service Management, 868-873, Chongqing, China, 2005/06/13-15
79. Consideration on a Service System for Knowledge Management in Scientific Laboratories, Tian, J., Nakamori, Y., Proc. of IEEE/SSSM'05: International Conference on Services Systems and Services Management, 886-891, Chongqing, China, 2005/06/13-15
80. Study on a Roadmapping System as a Decision Making Process for Supporting Scientific Research, Yan, J., Kobayashi, T., Nakamori, Y., Proc. of IEEE/SSSM'05: International Conference on Service Systems and Service Management, 1205-1209, Chongqing, China, 2005/06/13-15
81. 内部モデルを搭載したエージェントを用いたゲーミングシミュレーションにおける戦略の表現に関する研究, 篠田有史、中森義輝, 第49回システム制御情報学会研究発表講演会, 89-90, 京都, 2005/05/18-20
82. Multi-expert Decision-making with Linguistic Information: A Probabilistic-based Model, Huynh, V.N., Nakamori, Y., Proc. of the 38th Hawaii International Conference on System Sciences (HICSS-38), IEEE Computer Society, Hawaii, 2005/01/03-06
83. Knowledge Creation and Integration: Creative Space and Creative Environments, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Proc. of the 38th Hawaii International Conference on System Sciences (HICSS-38), IEEE Computer Society, Hawaii, 2005/01/03-06, (Best Paper Award)
84. Mining Medline for New Possible Relations of Concepts, Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Ma, T., Proc. of The 1st International Symposium on Computational and Information Science, Shanghai, China, 2004/12/16-18
85. Introduction to a COE Program at JAIST, Nakamori, Y., Proc. of International Symposium on Technology Creation Based on Knowledge Science: Theory and Practice, 1-4, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
86. Developing Knowledge Management System in Academic Laboratories, Tian, J., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 50-55, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
87. Roadmapping and i-Systems for Supporting Scientific Research, Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 61-65, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
88. Study on Roadmapping Methods for Supporting Scientific Research, Yan, J., Miyake, M., Kobayashi, T., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 77-80, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
89. Design of Agent for Complex Systems Modeling, Ryoike, M., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 97-102, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
90. Strategy Searching for Business Gaming - Software Agents Work for a Game Designer, Shinoda, Y., Ryoike, M., Terano, T., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 166-171, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
91. Interaction Rules on Human Performance Changes, Kikuchi, T., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 172-176, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
92. Fuzzy Landscape Theory and Its Application: A Summary, Suganuma, S., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 222-225, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
93. A Framework of Hypotheses Generation from Scientific Literatures, Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 238-243, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
94. Supporting Decision makers with Integrated Modeling Framework: Its Application in Environmental Assessment, Purwasih, W., Makowski, M., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 252-257, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
95. Applicability of Satellite-Derived Data to Oil Spill Assessment, Miyashita, M., Nakamori, Y., Proc. of The 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2004), 258-262, Ishikawa, Japan, 2004/11/10-12
96. ランドスケープ理論を用いた航空機産業のアライアンス分析, 菅沼成正、小林俊哉、中森義輝, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 638-641, 東京, 2004/10/15-16
97. 知識科学に基づく科学技術の創造と実践の試み - 北陸先端科学技術大学院大学における事例, 小林俊哉、中森義輝, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 686-689, 東京, 2004/10/15-16

98. Developing Knowledge Management System in Academia, Tian, J., Kobayashi, T., Nakamori, Y., 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 694-697, 東京, 2004/10/15-16
99. 特許データからみた燃料電池技術の開発動向について, 木村浩二、菅沼成、小林俊哉、中森義輝, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 730-733, 東京, 2004/10/15-16
100. 燃料電池開発の技術ロードマッピング, 閻潔、三宅幹夫、小林俊哉、中森義輝, 研究・技術計画学会第19回年次学術大会講演要旨集, 734-737, 東京, 2004/10/15-16
101. Multiple Criteria Decision Support versus Knowledge Theory, Wierzbicki, A. P., Nakamori, Y., Proc. of The 17th International Conference on Multiple Criteria Decision Analysis, 11p. in CD, Whistler, B.C., Canada, 2004/08/06-11
102. Roadmapping for Supporting Scientific Research, Ma, T., Liu, S., Nakamori, Y., Proc. of The 17th International Conference on Multiple Criteria Decision Analysis, 14p. in CD, Whistler, B.C., Canada, 2004/08/06-11
103. Knowledge Management in Academia: Survey, Analysis and Perspective, Tian, J., Nakamori, Y., Xiang, J., Futatsugi, K., Proc. of The 17th International Conference on Multiple Criteria Decision Analysis, 14p. in CD, Whistler, B.C., Canada, 2004/08/06-11
104. A Context-based Interpretation of Linguistic Variables, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of IEEE International Conference on Fuzzy Systems, 115-120, Budapest, Hungary, 2004/07/25-29
105. An Approach to Roughness of Fuzzy Sets, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of IEEE International Conference on Fuzzy Systems, 257-262, Budapest, Hungary, 2004/07/25-29
106. Consideration on Knowledge Management for Scientific Research, Nakamori, Y., Ma, T., Proc. of International Conference on Service Systems and Service Management 2004, 491-496, Beijing, China, 2004/07/19-21
107. Agent-based Simulation for a Dynamic Aggregation Model: Application to Airline Alliance, Suganuma, S., Chen, J., Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Service Systems and Service Management 2004, 646-649, Beijing, China, 2004/07/19-21
108. Fuzzy Predicting New Association Rules from Current Scientific Literature, Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Huynh, V. N., Proc. of The 2004 Annual Meeting of the North American Fuzzy Information Processing Society, ISBN 0-7803-8377-X, IEEE Cat. No. 04TH8736C, 450-455, Banff, Alberta, Canada, 2004/06/27-30
109. An Agent-based Approach for Predictions Based on Multi-dimensional Complex Data, Ma, T., Nakamori, Y., Huang, W., Proc. of The 2004 Annual Meeting of the North American Fuzzy Information Processing Society, ISBN 0-7803-8377-X, IEEE Cat. No. 04TH8736C, 110-115, Banff, Alberta, Canada, 2004/06/27-30
110. Structured Modeling technology: A Modeling Environment for Integrated Environmental Assessment, Purwashi, W., Nakamori, Y., Proc. of International Conference Complexity and Integrated Resources Management (IEMs2004), 6p. in CD, Osnabrueck, Germany, 2004/06/14-17
111. On Rough Approximation Quality of a Fuzzy Classification, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of International Workshop on Fuzzy Systems & Innovational Computing 2004, 296-301, Fukuoka, Japan, 2004/06/02-03
112. Formulations of Fuzzy Clustering for Categorical Data, Umayahara, K., Miyamoto, S., Nakamori, Y., Proc. of International Workshop on Fuzzy Systems & Innovational Computing 2004, 344-349, Fukuoka, Japan, 2004/06/02-03
113. 感性データにおける曖昧さの表現について, 中森義輝、領家美奈, 第20回ファジィシステムシンポジウム, 128-131, 北九州, 福岡, 2004/06/02-05
114. A Study on Alliance in Civil Aviation Industry Based on Fuzzy Landscape Theory, Suganuma, S., Chen, J., Nakamori, Y., Proc. of The 3rd International Workshop on Agent-based Approaches in Economic and Social Complex Systems (AESCS04), 253-260, Kyoto, 2004/05/27-29
115. ゲーミングシミュレーションにおけるエージェントの戦術組み合わせに関する研究, 篠田有史、中森義輝, 第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, 237-238, 京都, 2004/05/19-21
116. ファジィランドスケープ理論の有効性に関する研究, 菅沼成、中森義輝, 第48回システム制御情報学会研究発表講演会講演論文集, 241-242, 京都, 2004/05/19-21
117. A Context Based Interpretation of Fuzzy Concepts, Huynh, V. N., Nakamori, Y., 第14回ソフトサイエンス・ワークショップ講演論文集, 20-25, 北九州, 2004/03/13-14
118. 個人間のコミュニケーションモデルの提案と検討, 菊池智子、中森義輝, 第14回ソフトサイエンス・ワークショップ講演論文集, 152-155, 北九州, 2004/03/13-14
119. 相対的曖昧さを考慮した数量化手法について, 中森義輝、領家美奈, 第14回ソフトサイエンス・ワークショップ講演論文集, 156-159, 北九州, 2004/03/13-14
120. Technology Creation Based on Knowledge Science, Nakamori, Y., Takagi, M., Proc. of The 1st International Symposium on Knowledge Management for Strategic Creation of Technology, 1-10, Ishikawa, 2004/03/08-10
121. A New Approach to Belief Modeling, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Murai, T., Ho, T. B., Proc. of The 3rd International Symposium on Foundations of Information and Knowledge Systems (FoIKS2004), 196-212, Vienna, Austria, 2004/02/17-20
122. Studies on Rule-learning in Gaming Simulation, Shinoda, Y., Nakamori, Y., Proc. of The 37th Annual Hawaii International Conference on System Sciences (HICSS04), in CD ROM, 9p., Hilton Waikoloa Village, Hawaii, 2004/01/05-08
123. Fuzzy Context Model for the Representation and Manipulation of Vague Knowledge, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 1-6, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
124. Detection of Local System Structures from Complex Database, Ryoike, M., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 13-18, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
125. Mining Domain Knowledge from Scientific Document, Huang, W., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 43-48, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
126. Fuzzy Set Based Approach to Aggregation in Business Alliance, Suganuma, S., Chen, J., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 283-288, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
127. Agent-based Simulation for Kansei Engineering - Testing A New Fuzzy Linear Quantification Method in Artificial World, Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 289-294, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
128. Dynamics of Individual Performance by Inner-group Interaction, Kikuchi, T., Nakamori, Y., Proc. of The 4th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2003) and The 3rd International Workshop on Meta-synthesis and Complex System (MCS2003), 295-300, Guangzhou, China, 2003/11/29-12/01
129. Towards Supporting Technology Creation Based on Knowledge Science, Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Systems Science and Systems Engineering (ICSSSE03), 33-38, Hong Kong SAR, China, 2003/11/25-28, (Invited Lecture)
130. An Agent-based Approach to Identification of Prediction Models for Multi-dimensional Complex Data, Ma, T., Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Systems Science and Systems Engineering (ICSSSE03), 105-108, Hong Kong SAR, China, 2003/11/25-28
131. A Unified Framework for Modeling Vagueness and Uncertainty, Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Systems Science and Systems Engineering (ICSSSE03), 152-158, Hong Kong SAR, China, 2003/11/25-28
132. A Flexible Framework for Analysis of Business Alliance, Suganuma, S., Chen, J., Nakamori, Y., Proc. of International Conference on Systems Science and Systems Engineering (ICSSSE03), 165-170, Hong Kong SAR, China, 2003/11/25-28
133. Can Nonlinear Noise Reduction Help Neural Network in Financial Forecasting, Huang, W., Nakamori, Y., Wang, S., Proc. of International Conference on Systems Science and Systems Engineering (ICSSSE03), 422-427, Hong Kong SAR, China, 2003/11/25-28
134. Agent-based Approach to Complex Systems Modeling, Ryoike, M., Nakamori, Y., Proc. of International Symposium on Systems and Human Science for Safe, Secure and Reliable Society (SSRS2003), 27-32, 2003/11/19-20
135. 感性データに内在するファジィネスの数量化について, 領家美奈、中森義輝, 第19回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, 699-702, 堺, 2003/09/08-10
136. エージェントを用いたクラスタリングとルールの発見について, 領家美奈、中森義輝, 第19回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, 899-900, 堺, 2003/09/08-10
137. Agent-based Simulation on Alliance of Automobile Enterprises, Suganuma, S., Nakamori, Y., Nuyh, V. N., Chen, J., Proc. of The 34th Annual Conference of the International Simulation and Gaming Association (ISAGA03), 703-712, Chiba, Japan, 2003/08/25-29
138. Studies on Rule-learning on Gaming Simulation, Shinoda, S., Nakamori, Y., Proc. of The 34th Annual Conference of the International Simulation and Gaming Association (ISAGA03), 723-732, Chiba, Japan, 2003/08/25-29
139. A k-means Like Algorithm for Clustering Categorical Data, San, O. M., Huynh, V. N., Nakamori, Y., Proc. of The 10th IFSA World Congress (IFSA2003),

203–207, Istanbul, Turkey, 2003/06/29–07/02

140. Fuzziness and Uncertainty within the Framework of Context Model, Huynh, V. H., Ryoike, M., Nakamori, Y., Ho, T. B., Proc. of The 10th IFSA World Congress (IFSA2003), (Fuzzy Sets and Systems – IFSA 2003, Lecture Notes in Artificial Intelligence 2715, Springer), 219–228, Istanbul, Turkey, 2003/06/29–07/02

141. 知識科学における感性の取り扱い, 中森義輝, 日本感性工学会感性ジョイントフォーラム講演論文集, 23–28, 東京, 2003/06/11

142. エージェントベースシミュレーションを用いた社会的拡散現象の解析, 藤井慎太郎, 中森義輝, 第47回システム制御情報学会研究発表講演会, 407–408, 京都, 2003/05/14–16

143. Study on Knowledge Strategy by Agent-based Simulation, Ma, T., Nakamori, Y., 第47回システム制御情報学会研究発表講演会, 409–410, 京都, 2003/05/14–16

144. Application of Support Vector Machines to Forecasting Financial Movement Direction, Huang, W., Nakamori, Y., 第47回システム制御情報学会研究発表講演会, 413–414, 京都, 2003/05/14–16

145. ゲーミングシミュレーションにおけるルール学習に関する研究, 篠田有史, 中森義輝, 第47回システム制御情報学会研究発表講演会, 493–494, 京都, 2003/05/14–16

146. エージェントによるデータマイニングの試み, 領家美奈, 中森義輝, 第47回システム制御情報学会研究発表講演会, 589–590, 京都, 2003/05/14–16

#### ◆講演発表

1. 学際・文理融合教育としての「統合科学技術コース」における「学際コミュニケーション論」開発の現状と展望, 小林俊哉, 中森義輝, 緒方三郎, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(宮城県仙台市), 2006/10/21

2. 学際・文理融合教育としての「統合科学技術コース」開発の試みー北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例, 小林俊哉, 中森義輝, 緒方三郎, 立瀬剛志, 研究・技術計画学会 第20回年次学術大会, 政策研究大学院大学(東京都港区), 2005/10/23

Discovery and Data Mining PAKDD'07, Nanjing, Lecture Notes in Artificial Intelligence, Springer, 2007/05/22–25

7. Kernel Matrix Evaluation, Nguyen,C.H.,Ho,T.B., Twentieth International Joint Conference on Artificial Intelligence IJCAI'07, 987–992, Hyderabad, 2007/01/06–12

8. Decision making under uncertainty with fuzzy targets, Huynh, V.N., Nakamori,Y.,Ryoike,M.,Ho,T.B., Fuzzy Optimization and Decision Making, Springer, 6, 255–278, 2007

9. A Bottom-up Method for Simplifying Support Vector Solutions, Nguyen,D.D., Ho,T.B., IEEE Transactions on Neural Networks, 17(3), 792–796, 2006

10. Unsupervised Feature Extraction for Time Series Clustering Using Orthogonal Wavelet Transform, Zhang, H.,Ho,T.B., Zhang,Y.,Lin,M.S., Journal Informatica, 30, 305–319, 2006

11. Wrapper feature extraction for time series classification using singular value decomposition, Zhang,H.,Ho,T.B.,Kawasaki,S., International Journal of Knowledge and Systems Science, 3(1), 53–60, 2006

12. Multiple Attribute Decision Making Under Uncertainty: The Evidential Reasoning Approach Revisited., Huynh,V.N., Nakamori,Y., Ho,T.B., Murai,T., IEEE Trans. on Systems, Man, and Cybernetics, part A, 6(4), 804–822, 2006

13. Structural and electronic properties of Pt clusters adsorbed on (5,5) single wall carbon nanotube, Dam,Hieu.Chi.,Nguyen,Cuong.Thanh.,Nguyen,Anh.Tuan., Kim,Yong-Tae.,Ho,Tu-Bao.,Mitani,Tadaoki.,Ozaki,Taisuke.,Nagao,Hidemi., Chemical Physics Letters, 432, 213–217, 2006

14. MRRS: A More Efficient Algorithm for Scheduling Divisible Workloads of Grid Applications, Nguyen,T.L.,Elnaffar,S., Katayama,T., Ho,T.B., IEEE/ACM International Conference on Signal-Image Technology and Internet-Based Systems (SITIS'06), Hammamet (Tunisia), 2006/12/17–21

15. Discovering signal transduction networks using signaling domain-domain interactions, Nguyen,T.P., Ho,T.B., Genome Informatics 2006, Universal Academic Press, 35–45, Yokohama, 2006/12/18–20

16. Scientific data mining: Opportunities and challenges (invited talk), Ho,T.B., International Symposium on Towards Creating New Industries Based on Inter-Nanoscience, 61–64, Awaji, 2006/12/08–09

17. UMR2: A Better and More Realistic Scheduling Algorithm for the Grid, Nguyen,T.L.,Elnaffar, S.,Katayama,T.,Ho,T.B., International Conference on Parallel and Distributed Computing and Systems (PDCS'06), Dallas, 432–437, 2006/11/13–15

18. Grid Scheduling Using 2-Phase Prediction (2PP) and CPU Power, Nguyen,T.L.,Elnaffar,S.,Katayama,T.,Ho,T.B., IEEE Innovations and Information Technology (IIT'06), Dubai, 2006/10/19–21

19. Utility Function Induced by Fuzzy Target in Probabilistic Decision Making, Huynh,V.N., Nakamori,Y., Ho,T.B., S. Greco et al. (Eds.), Fifth International Conference on Rough Sets and Current Trends in Computing RSCTC 2006, Springer, Lecture Notes in Artificial Intelligence LNAI 4259, 296–305, Kobe, 2006/10/06–08

20. Prediction of domain-domain interactions using inductive logic programming from multiple genome databases, Nguyen,T.P., Ho,T.B., Discovery Science DS'06, Springer LNAI 4256,185–196, Barcelona, 2006/10/07–10

21. Exploiting Temporal Relations in Mining Hepatitis Data, Takabayashi,K., Ho,T.B., Nguyen,C.H., Kawasaki,S., Yokoi,H., Suzuki,T., Yokosuka,O., The 26th Joint Conference on Medical Informatics, Sapporo, 2006/10/01–04

22. Sampling for Imbalanced Data Learning, Nguyen,C.H.,Ho,T.B., The International Workshop on Data-Mining and Statistical Science (DMSS2006), 12–19, Sapporo, 2006/09/25–26

23. Parallel Training of CRFs: A Practical Approach to Build Large-Scale Prediction Models for Sequence Data, Phan,X.H., Nguyen,L.M.,Horiguchi, S.,Inoguchi,Y.,Ho,T.B., PKDD 2006, Berlin, 2006/09/18–22

24. Parallel Training of CRFs: A Practical Approach to Build Large-Scale Prediction Models for Sequence Data, Phan,X.H., Nguyen,L.M.,Horiguchi,S., Inoguchi,Y., Ho, T.B., Workshop on Parallel Data Mining, ECML/PKDD 2006, 51–63, Berlin, 2006/09/18–22

25. Multiscale Feature Extraction for Time Series Classification with Hybrid Feature Selection, Zhang,H.,Lin,S.M.,Huang,W.,Kawasaki,S.,Ho,T.B., International Conference on Intelligent Computing ICIC'06, Lecture Notes in Control and Information Sciences LNCIS 344, 939–944, Kunming, 2006/08/16–19

26. An Integrated Approach in Medical Data Mining, Kawasaki,S.,Ho, T.B., The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems KICSS'06, 24–31, Ayutthaya, 2006/08/01–04

27. An Integrated Approach in Medical Data Mining, Kawasaki,S.,Ho, T.B., The First International Conference on Knowledge, Information and Creativity Support Systems KICSS'06, 24–31, Ayutthaya, 2006/08/01–04

28. A Fuzzy Target Based Model for Decision Making Under Uncertainty, Huynh,V.N., Nakamori,Y.,Ryoike, M.,Ho,T.B., IEEE World Congress on Computational Intelligence WCCI'06, 1611–1618, Vancouver, 2006/07/16–21

29. Feature Extraction for Time Series Classification Using Discriminating

## Ho Bao Tu

知識科学研究科 教授(知識システム基礎学・知識創造論)

#### ◆著書

1. Knowledge Acquisition by Machine Learning and Data Mining, Ho,T.B., Kawasaki,S., Granat,J., Chapter4, Creative Environments, Springer-Verlag, 2007

2. Study of protein-protein interactions from multiple data sources, Ho,T.B., Nguyen,T.P.,Tran,T.N., David Taniar (Ed.), Advances in Data Warehousing and Mining., IGC Publishers (to appear), 2007

3. ITACS 2006, Theories and Applications of Computer Science Advances in Knowledge Discovery and Data Mining (Eds.), Ho,T.B., Dong,T.B.T., Duong,A.D., Nguyen,D.T., World Scientific, 2006

4. Fuzzy Sets and Their Extensions: Representation, Aggregation and Models. Intelligent Systems from Decision Making to Data Mining, Web Intelligence and Computer Vision, Chapter 25: An Overview on the Approximation Quality Based on Rough-Fuzzy Hybrids, Huynh,V.N., Ho,T.B., Nakamori,Y., Bustince,H., Herrera,F., Montero,J.(Eds.), Springer-Verlag, 23 pages, 2006

5. Advances in Knowledge Discovery and Data Mining, Ho, T.B., Cheung, D. Liu, H.(Eds.), Springer, Lecture Notes in Artificial Intelligence LNAI 3518, 2005

6. Intelligent Knowledge-Based Systems, Combining Temporal Abstraction and Data Mining Methods in Medical Data Mining, Ho,T.B., Nguyen,T.D., Kawasaki,S., Le, S.Q., T.Leondes (Ed.), Kluwer Academic Publishers, 3, Chapter 7, 198–222, 2004

7. Knowledge-Based Intelligent Systems for Health Care, Failures and Successes in Medical Data Mining, Ho,T.B.,Nguyen,T.D., Kawasaki,S.,Ichimura,T. and Yoshida,K.(Eds.), Advanced Knowledge International Publishers, Chapter 6, 167–212, 2004

#### ◆発表論文

1. An Agent-Based Approach to Solve Dynamic Meeting Scheduling Problems with Preference, Ben Hassine, A.,Ho,T.B., International Journal of Engineering Applications of Artificial Intelligence, Elsevier, 20, 6, 857–873, 2007

2. Integration of learning methods, medical literature and expert inspection in medical data mining, Ho,T.B.,Kawasaki,S.,Nguyen,C.H., Takabayashi,K., IEICE Trans. Information and Systems, E90-0(10), 1574–1581, 2007

3. Improving Discriminative Sequential Learning by Discovering Important Associations of Statistics, Phan,X.H., Nguyen,L.M., Ho,T.B., Horiguchi, S., ACM Transactions on Asian Language and Information Processing, 2007

4. A hyper-heuristic for descriptive rule induction, Pham,T.H.,Ho, T.B., International Journal of Data Warehousing and Mining, 3(3), 54–66, 2007

- Wavelet Coefficients, Zhang,H.,Ho,T.B.,Lin,M.S.,Liang,X., Third International Symposium on Neural Networks (ISNN 2006), Springer, Lecture Notes in Artificial Intelligence LNAI 3971, 1394–1399, Chengdu, 2006/05/28–31
30. Conditional Random Fields for Predicting and Analyzing Histone Occupancy, Acetylation and Methylation Areas in DNA Sequences, Tran,D.H., Pham,T.H., Satou,K., Ho,T.B., 4th European Workshop on Evolutionary Computation and Machine Learning in Bioinformatics, Budapest, Prague, 221–230, 2006/04/10–12
31. Association-Based Dissimilarity Measures for Categorical Data: Limitation and Improvement, Le,S.Q.,Ho,T.B.,Le,S.V., 10th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining PAKDD'06, Springer, Lecture Notes in Artificial Intelligence LNAI 3918, 493–498, Singapore, 2006/04/09–12
32. Detecting Citation Types Using Finite State Machines, Le,M.H., Ho, T.B., Nakamori,Y., 10th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining PAKDD'06, Springer, Lecture Notes in Artificial Intelligence LNAI 3918, 265–274, Singapore, 2006/04/09–12
33. High-Performance Training of Conditional Random Fields for Large-Scale Sequential Labeling Applications, Phan,X.H., Nguyen,L.M., Inoguchi,Y., Ho,T.B., Horiguchi,S., International Conference on High Performance Scientific Computing., Hanoi, 2006/03/06–10
34. Knowledge Visualization in Hepatitis Study, Nguyen,D.D.,Ho,T.B.,Kawasaki,S., Asia Pacific Symposium on Information Visualization APVIS 2006, Australian Computer Society, 59–62, Tokyo, 2006/02/01–03
35. Asynchronous Constraint-based Approach - New Solution for Any Constraint Problem, Ben Hassine,A.,Ho,T.B., Workshop Rational, Robust, and Secure Negotiations in Multi-Agent Systems, The Fourth International Joint Conference on Autonomous Agents and Multi Agent Systems AAMAS'06, Hakodate, 2006
36. Computational Discovery of Transcriptional Regulatory Rules, Pham,T.H., Clemente,J.,Satou,K.,Ho,T.B., 4th European Conference on Computational Biology, 101–107, Madrid, 2005/09/28–10/01
37. Passage Associations Extraction from Document Collections, Nagai,K., Ho,T.B., Conference of Pacific Association for Computational Linguistics PACLING'05, Tokyo, 2005/08/24–27
38. Improving Discriminative Sequential Learning with Rare-but-Important Associations, Phan,X.H., Nguyen,L.M., Ho,T.B., Horiguchi,S., ACM International Conference on Knowledge Discovery and Data Mining KDD-05, Chicago, 2005/08/21–24
39. An Efficient Method for Simplifying Support Vector Machines, Nguyen,D.D., Ho,T.B., The 22th International Conference on Machine Learning, ICML 2005, Bonn, 2005/08/07–11
40. Performing more than AC for Hard Distributed Constraint Satisfaction Problems, Ben Hassine,A.,Ho,T.B., Workshop Rational, Robust, and Secure Negotiations in Multi-Agent Systems, The Fourth International Joint Conference on Autonomous Agents and Multi Agent Systems AAMAS'06, IEEE Computer Society, 83–94, Utrecht, 2005/07/25–29
41. Blind Feature Extraction for Time-Series Classification Using Haar Wavelet Transform, Zhang,H.,Ho,T.B.,Huang,W., Lecture Notes in Computer Science LNCS 3497, Springer, 605–610, Chongqing., 2005/05/30–06/01
42. Finding The Clustering Consensus of Time Series with Multi-scale Transform, Zhang,H.,Ho,T.B., Fourth IEEE International Workshop on Soft Computing as Transdisciplinary Science and Technology (WSTST'05), Springer, LNAI, Muroran, 2005/05/25–27
43. Rule Evaluation Heuristics for Knowledge Discovery, Pham,T.H.,Ho,T.B., Clemente,J.,Satou, Workshop on Knowledge Discovery and Data Management in Biomedical Science (KDDMBMS), 9th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-05), Hanoi, 2005/05/18–20
44. Speeding-up Model Selection for Support Vector Machines, Nguyen,D.D., Ho,T.B., 18th International Conference of Florida Artificial Intelligence Research Society FLAIRS, Florida, 2005/05/16–18
45. A Scheduling Method for Divisible Workload Problem in Grid Environment, Nguyen,T.L.,Elnaffar,S.,Katayama,T.,Ho,T.B., 6th International Conference on Parallel and Distributed Computing, Applications and Technologies (PDCAT'05), IEEE Computer Society, 513–517, Dalian,China, 2005
46. Rule Evaluation Heuristics for Knowledge Discovery, Pham,T.H.,Ho,T.B., Clemente,J.,Satou,K., Workshop on Knowledge Discovery and Data Management in Biomedical Science (KDDMBMS), 9th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-05), 2005
47. Classification with Maximum Entropy Modeling of Predictive Association Rules, Phan,X.H.,Nguyen,L.M.,Horiguchi,S.,Ho,T.B., Inoguchi,Y., 16th European Conference on Machine Learning, Springer LNAI 3720, 682–689, 2005
48. Using Inductive Logic Programming for Predicting Protein-Protein Interactions from Multiple Genomic Data, Tran,T.N.,Satou,K.,Ho,T.B., 9th European Conference on Principles and Practice of Knowledge Discovery in Databases (PKDD), Springer LNAI 3721, 321–330, 2005
49. An Imbalanced Data Rule Learner, Nguyen,C.H.,Ho,T.B., 9th European Conference on Principles and Practice of Knowledge Discovery in Databases (PKDD), Springer LNAI 3721, 617–624, 2005
50. Sentence extraction with support vector machine ensemble, Nguyen,L.M., Shimazu,A.,Ho,T.B.,Phan,X.H.,Horiguchi,S., First World Congress of the International Federation for Systems Research (IFSR'05), Symposium on Data/Text Mining from Large Databases, 239–243, 2005
51. Co-Training of Conditional Random Fields for Segmenting Sequence Data, Phan,X.H.,Nguyen,L.M.,Ho,T.B.,Inoguchi,Y.,Horiguchi,S., First World Congress of the International Federation for Systems Research (IFSR'05), Symposium on Data/Text Mining from Large Databases, 218–224, 2005
52. Wrapper feature extraction for time series classification using singular value decomposition, Zhang,H.,Ho,T.B.,Kawasaki,S., First World Congress of the International Federation for Systems Research (IFSR'05), Symposium on Data/Text Mining from Large Databases, 288–295, 2005
53. Extracting background knowledge from medical literature, Kawasaki,S.,Ho,T.B., First World Congress of the International Federation for Systems Research (IFSR'05), Symposium on Data/Text Mining from Large Databases, 279–287, 2005
54. Qualitatively Predicting Acetylation and Methylation Areas in DNA Sequences, Pham,T.H.,Tran,D.H.,Ho,T.B.,Satou,K.,Valiente,G, Genome Informatics 2005, Universal Academic Press, 5(2), 3–11, Yokohama, 2005
55. Finding The Clustering Consensus of Time Series with Multi-scale Transform, Zhang,H.,Ho,T.B., Fourth IEEE International Workshop on Soft Computing as Transdisciplinary Science and Technology (WSTST'05), 2005
56. Speeding-up Model Selection for Support Vector Machines, Nguyen,D.D., Ho,T.B., 18th International Conference of Florida Artificial Intelligence Research Society FLAIRS, 2005
57. Blind Feature Extraction for Time-Series Classification Using Haar Wavelet Transform, Zhang,H.,Ho,T.B.,Huang,W., Second International Symposium on Neural Networks, Springer LNCS3497, 605–610, 2005
58. An Efficient Method for Simplifying Support Vector Machines, Nguyen,D.D., Ho,T.B., The 22th International Conference on Machine Learning, ICML 2005, 617–624, 2005
59. Improving Discriminative Sequential Learning with Rare-but-Important Associations, Phan,X.H., Nguyen,L.M., Ho,T.B., Horiguchi,S., ACM International Conference on Knowledge Discovery and Data Mining, ACM SIGKDD-05, 304–313, 2005
60. Passage Associations Extraction from Document Collections, Nagai,K., Ho,T.B., Conference of Pacific Association for Computational Linguistics PACLING'05, 258–263, 2005
61. Combining the Global and Partial Information for Distance-Based Time Series Classification and Clustering, Zhang,H., Ho,T.B., Lin,M.S., Huang,W., Journal of Advanced Computational Intelligence & Intelligent Informatics,Fuji Technology Press Ltd., 10(1), 69–76, 2005
62. Support vector machines for prediction and analysis of beta and gamma turns in proteins, Pham,T.H.,Satou,K.,Ho,T.B., Journal of Bioinformatics and Computational Biology, 3(2), 343–358, 2005
63. Active Mining for Structured Data, Motoda,H., Ho,T.B., Washio,T., Yada,K., Yoshida,T., Ohara,K., Journal of Japanese Society for Artificial Intelligence, 20(2), 172–179, 2005
64. Detecting Emerging Trends from Scientific Corpora, Le,M.H.,Ho,T.B., Nakamori,Y., International Journal of Knowledge and Systems Science, 2(2), 53–59, 2005
65. Conditional Models for Automatic Data Integration from the Web, Phan,X.H.,Horiguchi,S.,Ho,T.B., International Journal on Business Intelligence and Data Mining, 1(2), 194–209, 2005
66. An Association-based Dissimilarity Measure for Categorical Data, Le,S.Q., Ho,T.B., Pattern Recognition Letters, 26(16), 2549–2557, 2005
67. Meetings Scheduling Solver Enhancement with Local Consistency Reinforcement, Ahlem Ben Hassine, Ho,T.B., Ito, T., Applied Intelligence, Springer, 24(2), 143–154, 2005
68. Computational Discovery of Transcriptional Regulatory Rules, Pham,T.H., Clemente,J.,Satou,K.,Ho,T.B., Bioinformatics, Oxford University Press, 21, Supp.2, 101–107, 2005
69. Measuring the Similarity for Heterogenous Data: An ordered Probability-Based Approach, Le,S.Q.,Ho,T.B., Discovery Science DS'04, Springer LNAI 3245, 129–141, 2004/10/02–08
70. PEWeb: Product Extraction from Web Based on Entropy Estimation, Phan,X.H.,Horiguchi,S.,Ho,T.B., Web Intelligence (WI 2004), 590–593, 2004/09/20–24
71. An Evolutionary K-means Algorithms for Clustering Time Series Data, Zhang,H.,Ho,T.B.,Lin,M.S., International Conference on Machine Learning and Cybernetics ICMLC 2004, 1282–1287, 2004/08/26–29
72. Probabilistic Sentence Reduction Using Support Vector Machines, Nguyen,

- L.M., Shimazu,A.,Horiguchi,S.,Ho,T.B.,Fukushi,M., 20th International Conference on Computational Linguistics COLING 2004, 743-749, 2004/08/23-27
73. A Non-Parametric Wavelet Feature Extractor for Time-Series Classification, Zhang,H.,Ho,T.B.,Lin,M.S., 8th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining PAKDD'04, LNAI 3056, 595-603, 2004/05/17-20
74. New Distributed Filtering-Consistency Approach to General Networks, Ben Hassine,A.,Ghedira,K.,Ho,T.B., 16th International Conference on Industrial and Engineering Applications of Artificial Intelligence and Expert Systems (IEA/AIE-2004), Springer, LNAI 3029, 708-717, 2004/05/17-20
75. Scheduling Meetings with Distributed Local Consistency Reinforcement (Best Paper Nominated), Ben Hassine,A., Ito,T., Ho,T.B., 16th International Conference on Industrial and Engineering Applications of Artificial Intelligence and Expert Systems (IEA/AIE-2004), Springer, LNAI 3029, 679-688, 2004/05/17-20
76. A New Approach to Belief Modeling, Huynh,V.N.,Murai,T.,Nakamori,Y., Ho,T.B., Third International Symposium on Foundations of Information and Knowledge Systems (FolKS), Springer, LNCS 2942, 196-212, 2004/02/17-20
77. A Context Model for Constructing Membership Functions of Fuzzy Concepts Based on Modal Logic, Huynh,V.N., Nakamori,Y.,Ho, T.B., Resconi,G., Journal of Information Sciences, Elsevier, 160, 1-4, 111-129, 2004
78. Example-Based Reduction Using Hidden Markov Model, Nguyen,L.M., Shimazu,A.,Horiguchi,S.,Ho,T.B., ACM Transactions on Asian Language Information Processing, 3, Issue3, 146-158, 2004
79. Failures and Successes in Medical Data Mining, Chapter 6, Knowledge-Based Intelligent Systems for Health Care, Ho,T.B.,Nguyen,T.D.,Kawasaki,S., Ichimura,T. and Yoshida,K.(Eds.), Advanced Knowledge International Publishers, 167-212, 2004
80. Crystal Structure Determination using Data Mining Methods, Ho,T.B., Nguyen,C.H.,Dam,H.C., 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 81-86, 2004
81. Rule Mining in Textual Data Using Passages, Nagai,K.,Ho,T.B., 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 137-142, 2004
82. Assessment Aggregation in the Evidential Reasoning Approach to MADM under Uncertainty: Orthogonal vs. Weighted Sum, Huynh,V.N., Nakamori,Y., Ho,T.B., Asian Computing Science Conference ASIAN'04, Springer, LNCS 3321, 109-127, 2004
83. A novel graph-based similarity measure for 2D chemical structures, Le,S. Q., Ho,T.B., Phan,T.T.H., Genome Informatics, Yokohama, Universal Academic Press, 14(2), 82-91, 2004
84. Mining yeast transcriptional regulatory modules from factor DNA-binding sites and gene expression data, Pham,T.H.,Satou,K.,Ho,T.B., Genome Informatics, Universal Academic Press, 14(2)287-295, Yokohama, 2004
85. Conditional Probability Distribution-based Dissimilarity Measure for Categorical Data, Le, S.Q.,Ho,T.B., 8th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining PAKDD'04, Springer, LNAI 3056, 580-589, 2004
86. Agent-Based Approach to Dynamic Meeting Scheduling Problems, Ben Hassine,A.,Defago,X.,Ho,T.B., The Third International Joint Conference on Autonomous Agents and Multi Agent Systems AAMAS'04, 1132-1139, 2004
87. Extending the Measure of Rough Dependency for Fuzzy Classification, Huynh,V.N.,Murai,T.,Ho,T.B.,Nakamori,Y., Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS & ISIS 2004), THP-8-3, 2004
88. A Unsupervised Approach to Coreference Resolution, Phan,X.H., Horiguchi,S.,Ho,T.B.,Nguyen,L.M., 5th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences, 190-195, 2004
- ◆講演発表
1. Scientific data mining: Opportunities and challenges (invited talk), Ho,T.B., International Symposium on Towards Creating New Industries Based on Inter-Nanoscience, Awaji,Japan, 2006/12/08-09
  2. Knowledge Management and E-Learning, Ho,T.B., APEC Symposium on Open Source and Open Course for e-Learning (keynote talk), Hanoi, 2006/12/04-06
  3. Temporal Abstraction Methods in Mining Hepatitis Data (invited talk), Ho,T.B., Kansai Society of Chemistry, Osaka,Japan, 2006/06/24
  4. Privacy-Preserving Data Mining and E-Commerce & E-Government (invited talk), Ho,T.B., APEC symposium on Privacy Protection in E-Commerce & E-Government, Hanoi, 2006/02/20-22
  5. Some emerging trends in machine learning and data mining research (keynote talk), Ho,T.B., International Conference on Computer Science Research, Innovation and Vision for the Future RIVF'2006, Ho Chi Minh city, 2006/02
  6. Scientific Data Mining, Ho,T.B., Toyohashi University of Technology, 2004/10
  7. Some Issues in Data Mining Research, Ho,T.B., First National Conference

on Fundamental and Applied Research in Information Technology FAIR-03 (invited talk), Hanoi, 2003

## 本多 卓也

知識科学研究科 教授(知識システム基礎学・分子知識システム論)

### ◆著書

1. 暗黙知と創造性, 本多卓也, 研究の道の向こう—続研究哲学—, JAIST Press, 2-42, 2008
2. 新しい発見をするために知識の交換を繰り返す, 本多卓也, 大学ランキング 2008, 朝日新聞社, 246-249, 2007/4
3. 論文の多い上位大学の数で中国が日本を抜いた理由, 慶伊富長, 本多卓也, 大学ランキング 2007, 朝日新聞社, 234-238, 2006/4
4. 国の経済や政策が論文の数に反映する, 本多卓也, 慶伊富長, 大学ランキング 2006, 朝日新聞社, 2005, 212-216
5. なぜ、いま「研究哲学」が求められているのか, 本多卓也, 研究哲学, JAIST Press, 2005, 7-57
6. 自然科学系の研究評価, 本多卓也, 慶伊富長, 大学論集第35集, 高等教育研究開発センター, 広島大学, 2005, 403-418
7. 論文の生産性を調べると世界と時代の変化が見える, 慶伊富長, 本多卓也, 大学ランキング 2005, 朝日新聞社, 2004, 200-205
8. Molecular Simulation of Paper Tear Characteristics Using Finite Element Method with a "Fiber Block Model", Honda,Takuya.,Yachida,Kazunari., Chisa2004, 2004, J4.6
9. 実験ミスや失敗を生かせる研究者が新事実を発見する, 慶伊富長, 本多卓也, 大学ランキング2004年版, 朝日新聞社, 2003, 174-9

### ◆発表論文

1. 中国における自然科学系大学の研究活動のグローバル化, 本多卓也, 大学評価・学位研究, 5, 111-120, 2007
2. Research Assessment for Science, Takuya Honda, and Tominaga Keii, Chisa2006,1,105, 2006/08
3. 自然科学系の研究評価, 本多卓也, 慶伊富長, 大学論集, 高等教育研究開発センター, 広島大学, 第35集, 403-418, 2005
4. Molecular Simulation of Paper Tear Characteristics Using Finite Element Method with a "Fiber Block Model", Takuya Honda, and Kazunari Yachida, Chisa2004, J4, 6, 2004/08

## 吉田 武稔

知識科学研究科 教授(知識社会システム学・複合システム論)

### ◆著書

1. ホリスティック・クリエイティブ・マネジメント(7章分担), 木嶋, 中條, ジャクソン, 小林, 高橋, 根来, 吉田, 丸善, 95-123, 2007

### ◆発表論文

1. Text classification toward a scientific forum, W.Zhang, X.Tang, T.Yoshida, Journal of Systems Science and Systems Engineering, 16, 3, 356-369, 2007
2. Matchmaking of semantic web services with conceptual relatedness measure: model and matchmaker prototype. (in Chinese), H.Xia, Y.Wang, Z.Xuan, T.Yoshida, 情報学報 (Journal of the China Society for Scientific and Technical Information), to appear
3. Web text mining on a scientific forum, W.Zhang, X.Tang, T.Yoshida, International Journal of Knowledge and System Sciences, 3, 4, 51-59, 2007
4. メタデータ照合型ネットワーク解析システム'MANACO'を用いた医療情報通信観測に関する提案, 堀井, 林, 権, 吉田, 医療情報学, 27, 3, 321-328, 2007/09
5. Semantic Web技術を用いた質問票調査支援情報システムの構築, 林, 堀井, 権, 吉田, 医療情報学, 27, 1, 109-116, 2007/05
6. A modified ant-based text clustering algorithm with semantic similarity measure, H.Xia, S.Wang, T.Yoshida, Journal of systems science and systems engineering, 15, 4, 474-492, 2006

### ◆講演発表

1. Construction of Meta-data Oriented Medical Network Monitoring System, メタデータ照合型医療情報通信監視システムの構築, 堀井洋, 林正治, 権仁洙, 吉田武稔, 第7回日本医療情報学会学術大会, 札幌コンベンションセンター, 2006/11/01-03
2. Proposal of Visualization for Medical Network using RDF Meta-data, メタデータ照合型医療情報通信可視化技術に関する提案, 堀井洋, 林正治, DONG,JUNGE., 宮田論, 権仁洙, 吉田武稔, 日本バーチャリアリティ学会 第11回大会, 仙台市青年文化センター, 2006/09/07-09
3. 地域医療情報ネットワークを対象にしたメタデータ照合型医療情報通信監視システムの構築, 堀井洋, 林正治, 権仁洙, 吉田武稔, FIT2006(第5回情報科学技術フォーラム), 福岡大学, 2006/09/05-07

## 伊藤 泰信

知識科学研究科 准教授(知識社会システム学・社会システム構築論)

### ◆著書

1. 先住民の知識人類学: ニュージーランド=マオリの知と社会に関するエスノグラフィ, 伊藤泰信, 世界思想社(xiii+405頁)[科学研究費補助金:研究成果公開促進費助成による単著出版], 2007/02/28
2. 『マオリ個別の知』の発現と伝達: 知識社会学的視点から, 伊藤泰信(監修: 綾部恒雄), 前川啓治, 棚橋訓編, 講座 世界の先住民族—ファースト・ピープルズの現在(第9巻 オセアニア), 明石書店, 2005, 147-161
3. 二文化状況下の移民と先住民—ニュージーランドにおけるアイランダーの学とマオリの学—, 伊藤泰信, 清水昭俊編, 太平洋島嶼部住民の移民経験, 一橋大学大学院社会学研究科社会人類学研究室刊, 2004, 61-96

### ◆発表論文

1. 分業・工程・合議からみる製造現場のマイクロ=エスノグラフィ, 藤光勢, 伊藤泰信, 九州人類学会報, 34, 23-36, 2007
2. 実験系研究室の現場におけるデータの電子化をめぐる諸問題—デジタルペン導入の事例から—, 伊藤泰信, 水元明法, 塚本匡俊, 柳川章博, 知識創造場論集, 4(1), 29-32, 2007
3. ラボラトリー研究の課題—文化人類学的メモランダム—, 伊藤泰信, 塚本匡俊, 水元明法, 柳川章博, 研究・技術計画学会第21回年次学術大会講演要旨集II(研究・技術計画学会), 1132-1135, 2006
4. On Maori Studies as a discipline and its differentiation: from the viewpoint of social systems theory, Ito, Yasunobu., The Journal of New Zealand Studies (NZSSJ), 11, 2004
5. 二文化主義状況下の移民と先住民—ニュージーランドにおけるアイランダーの学とマオリの学—, 伊藤泰信, 『太平洋島嶼部住民の移民経験』文部科学省科学研究補助金報告書, 2004
6. Fabian, Johannes, Time and the Other: How Anthropology Makes its Object, New York: Columbia University Press, 1983, 伊藤泰信(項目執筆), 小松和彦, 田中雅一, 谷泰, 原毅彦, 渡辺公三編, 文化人類学文献事典, 弘文堂, 2004/11
7. システムのカップリングについて—宗教システムとその環境—, 伊藤泰信, 九州人類学会報, 九州人類学研究会, (30), 2003
8. ニュージーランド先住民における学と宗教—ゼマンティックとシステム分化形態との相関—, 伊藤泰信, 九州人類学会報, 九州人類学研究会, (30), 81-87, 2003

### ◆講演発表

1. 実験系ラボラトリーにおけるデータの電子化をめぐる—技術・組織・パフォーマンス—, 伊藤泰信, 研究・技術計画学会・第21回年次学術大会, 垂穂理工大学, 2007/10/27
2. ニュージーランド先住民マオリにおける知とマスメディア, 伊藤泰信, 北陸人類学研究会第108回例会, 金沢大学サテライトプラザ, 2007/09/30
3. 科学的知識生産の営みをいかに捉えるか—ラボラトリーマネジメント以前—, 伊藤泰信, COE学際セミナー, 北陸先端科学技術大学院大学, 2007/02
4. ラボラトリー研究の課題—文化人類学的メモランダム—, 伊藤泰信, 塚本匡俊, 水元明法, 柳川章博, 研究・技術計画学会・第21回年次学術大会, 東北大学, 2006/10
5. ニュージーランド先住民の知識のエスノグラフィ—マオリ個別の知と社会—, 伊藤泰信, 九州人類学研究会第4回オータム・セミナー, 福岡, 2005/10
6. マオリ個別の知と社会—ニュージーランド先住民のイメージ=プログラムをめぐる—, 伊藤泰信, JCAS連携研究「オセアニア諸社会におけるエスニシティ」共同研究会, 国立民族学博物館, 2004/02
7. ニュージーランド社会人類学とマオリ=ハンソン問題の受容をめぐる—, 伊藤泰信, 日本民族学会第37回研究大会, 京都文教大学, 2003/05

## 遠山 亮子

知識科学研究科 准教授(知識社会システム学・組織ダイナミクス論)

### ◆著書

1. MOT知識創造とイノベーション, 野中郁次郎, 遠山亮子編著, 丸善, 2006

### ◆発表論文

1. Strategic management as distributed practical wisdom (phronesis), Nonaka, Ikujiro., Toyama, Ryoko., Industrial and Corporate Change, 2007, 16(3), 2007, 371-394
2. Knowledge Reconstruction in Research and Development through Interactions among Six Lenses, Takashi Yoshinaga, Ryoko Toyama, ISKSS, 4(2), 27-34, 2007
3. Understanding the Organizational Concept Creation in R&D through the Six-Lenses Model, Takashi Yoshinaga, Ryoko Toyama, ISKSS, 3(2), 36-43, 2006
4. The theory of the knowledge-creating firm: subjectivity, objectivity and synthesis, Nonaka, Ikujiro., Toyama, Ryoko., Industrial and Corporate Change, 14, 2005, 419-436
5. フロネシスとしての戦略, 野中郁次郎, 遠山亮子, 一橋ビジネスレビュー, 53(3), 2005, 88-103

6. 知識ベース企業理論: 戦略経営のダイナミックな進化に向けて, 野中郁次郎, 遠山亮子, 紺野登, 一橋ビジネスレビュー, 52(2), 78-93, 2004

7. A Knowledge-Based Theory of the Firm: Toward a New Paradigm, Nonaka, Ikujiro., Toyama, Ryoko., Global Innovation and Local Knowledge Creation: The Management Challenges, Helsinki, 2004/08/11-13
8. Hitotsubashi on Knowledge Management, Nonaka, Ikujiro., Toyama, Ryoko., in Takeuchi, Hirota. and Nonaka, Ikujiro. (Eds), John Wiley & Sons, 2003
9. The Knowledge-creating theory revisited: knowledge creation as a synthesizing process, Nonaka, Ikujiro and Toyama, Ryoko, Knowledge Management Research & Practice, 1, 1, 2-10, 2003
10. Knowledge Creation as a Synthesizing Process, Nonaka, Ikujiro and Toyama, Ryoko, in Takeuchi, Hirota. and Nonaka, Ikujiro. (Eds), Hitotsubashi on Knowledge Management, John Wiley & Sons, 91-124, 2003

## 高木 昌宏

マテリアルサイエンス研究科 教授(機能科学・エネルギー機能材料)

### ◆著書

1. 細胞・個体レベルでストレスをサーベイする, 浦野泰照, 高木昌宏, シーエムシー出版, 2006, 94-111

### ◆発表論文

1. Chelation of cadmium ions by phytochelatin synthase: role of the cysteine-rich C-terminal, Vestergaard, M., Matsumoto, S., Nishikori, S., Shiraki, K., Hirata, K. and Takagi, M., Anal. Sci., 24, 277-281, 2008
2. Using model membranes for the study of amyloid beta: lipid interactions and neurotoxicity., Vestergaard, M., Hamada, T., Takagi, M., Biotechnology and Bioengineering, 99, 753-763, 2008
3. Real-time monitoring of dynamic intracellular Ca<sup>2+</sup> movement during early embryogenesis through expression of yellow cameleon, Tsuruwaka, Y., Konishi, T., Miyawaki, A. and Takagi, M., Zebrafish, 4, 253-260, 2007
4. Dynamic Processes in endocytic transformation of a raft-exhibiting giant liposome, Hamada, T., Miura, Y., Ishii, K., Araki, S., Yoshikawa, K., Vestergaard, M., Takagi, M., J. Phys. Chem. B, 111, 10853-10857, 2007
5. Systematic analysis of aggregates from 38 kinds of non disease-related proteins: identifying the intrinsic propensity of polypeptides to form amyloid fibrils, Aso, Y., Shiraki, K., Takagi, M., Biosci Biotechnol Biochem, 71, 1313-1321, 2007
6. 生体モデル膜ラフトドメインの動的構造., 濱田勉, 高木昌宏, 化学と生物, 45(6), 436-438, 2007
7. Crystal structure of intein homing endonuclease II encoded in DNA polymerase gene from hyperthermophilic archaeon Thermococcus kodakaraensis Strain KOD1., Matsumura, H., Takahashi, H., Inoue, T., Yamamoto, T., Hashimoto, H., Nishioka, M., Fujiwara, S., Takagi, M., Imanaka, T., Kai, Y., Proteins: Structure, Function, and Bioinformatics, 63, 711-715, 2006
8. Enhancing the tolerance of zebrafish (Danio rerio) to heavy metal toxicity by the expression of plant phytochelatin synthase, Konishi, T., Matsumoto, S., Tsuruwaka, Y., Shiraki, K., Hirata, K., Tamaru, Y., Takagi, M., J Biotechnol, 122, 316-325, 2006
9. 小分子添加によるタンパク質の凝集抑制, 工藤基徳, 白木賢太郎, 高木昌宏, バイオサイエンスとインダストリー 64, 323-327, 2006
10. The first thermodynamic characterization of b-1,3-xylanase from a marine bacterium, Okazaki, F., Shiraki, K., Tamaru, Y., Araki, T., Takagi, M., Protein J, 24, 413-421, 2005
11. Molecular cloning and characterization of alpha-class glutathione S-transferase genes from the hepatopancreas of red sea bream, Pagrus major., Konishi, T., Kato, K., Araki, T., Shiraki, K., Takagi, M., and Tamaru, Y., Comp Biochem Physiol. C Toxicol. Pharmacol., 140, 309-320, 2005
12. Stretched-exponential analysis of heat-induced aggregation of apocanavalin A, Kudo, M., Shiraki, K., Takagi, M., Protein J, 24, 193-199, 2005
13. Unfolding mechanism of a hyperthermophilic protein O6-methylguanine-DNA methyltransferase, Nishikori, S., Shiraki, K., Fujiwara, S., Imanaka, T., Takagi, M., Biophysical Chemistry, 116, 97-104, 2005
14. Combination of Dsb coexpression and an addition of sorbitol markedly enhanced soluble expression of single-chain Fv in Escherichia coli. D. Sandee, Tungpradabku, S., Kurokawa, Y., K. Fukui, Takagi, M., Biotechnology and Bioengineering, 91(4), 418-424, 2005
15. Comparative analysis of the two-step reaction catalyzed by prokaryotic and eukaryotic phytochelatin synthase by an ion-pair liquid chromatography assay., Tsuji, N., Nishikori, S., Matsumoto, S., Iwabe, O., Shiraki, K., Miyasaka, H., Takagi, M., Hirata, K., Miyamoto, K., Planta, 222, 181-191, 2005
16. Amino acid esters prevent thermal inactivation and aggregation of lysozyme, Shiraki, K., Kudou, M., Sakamoto, R., Yanagihara, I., Takagi, M., Biotechnology Progress, 21, 640-643, 2005
17. A new class of glutathione S-transferase from the hepatopancreas of the

red sea bream, *Pagrus major.*, Konishi,T., Kato,K., Araki,T., Shiraki,K., Takagi,M., Tamaru,Y., *Biochem.J.*, 388, 299-307, 2005

18. Investigation of active form of catalytic antibody light chain 41S-2-L., Mitsuda,Y., Tsuruhata,K., Hifumi,E., Takagi,M., Uda.T., *Immunology Letters*, 96, 63-71, 2005

19. Equilibrium and kinetic stability of a hyperthermophilic protein,O6-methylguanine-DNA methyltransferase in various extreme conditions, Nishikori,S., Shiraki,K., Fujiwara,S., Imanaka,T., Takagi,M., *J.Biochem.(Tokyo)*, 136, 503-508, 2004

20. Arginine ethylester prevents thermal inactivation and aggregation of lysozyme, Shiraki,K., Kudou,M., Nishikori,S., Kitagawa,H., Imanaka,T., Takagi,M., *Eur. J.Biochem*, 271, 3242-3247, 2004

21. Biophysical analysis of heat-induced structural maturation of glutamate dehydrogenase from a hyperthermophilic archaeon, Izumikawa,N.,Shiraki,K., Fujiwara,S., Imanaka,T., Takagi,M., *J.Biosci.Bioeng*, 97, 305-309, 2004

22. Mutational effects on O6-methylguanine-DNA methyltransferase from hyperthermophile:contribution of ion-pair network to protein Thermostability, Nishikori,S., Shiraki,K., Yokota,K., Izumikawa,N., Fujiwara,S., Hashimoto,H., Imanaka,T., Takagi,M., *J.Biochem.(Tokyo)*, 135, 525-532

23. Characterization of phytochelatin synthase-like protein encoded by alr0975 from a prokaryote, *Nostoc sp. PCC 7120.*, Tsuji,N., Nishikori,S., Iwabe,O., Shiraki,K., Miyasaka,H., Takagi,M., Hirata,K., Miyamoto,K., *Biochem. Biophys.Res.Com*, 315, 751-755, 2004

## 民谷 栄一

機能科学専攻 客員教授

(大阪大学大学院工学研究科精密科学応用物理学専攻)

### ◆著書

- Pico/Nanoliter Chamber Array Chips for Single-cell, DNA and Protein Analyses, Yamamura,Shohei,Sathuluri Ramachandra Rao, and Tamiya,Eiichi., *Nanomaterials for Biosensors Wiley-VCH Publishers*, 2007/03
- 細胞機能解析を目指したオンチップバイオデバイス(特集・細胞関連技術の動向), 山村昌平, 民谷栄一, *Electrochemistry, 電気化学会*, 74(11), 890-894, 2006
- 研究室から社会へ, 産学連携の理想を求めて, 民谷栄一, 牛島ひろみ, *BIO INDUSTRY*, 23(7), 72-77, 2006
- プラズモンバイオチップ、プラズモンナノ材料の設計と応用技術, 遠藤達郎, 民谷栄一, シーエムシー出版, 271-289, 2006
- 生物電気化学と酵素/遺伝子センサー, 民谷栄一, 第5版実験化学講座25 触媒化学、電気化学, 丸善, 377-397, 2006
- ナノテクノロジー: ナノバイオデバイスの応用展開, 民谷栄一, 分子呼吸器病, 10(5), 64-68, 先端医学社, 2006/09
- 食の安心・安全を支える最新バイオセンサ, 民谷栄一, *NATURE INTERFACE*, NPO法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構, (027), 32-33, 2005/09/01
- バイオ分子デバイス, 民谷栄一, *応用物理, 応用物理学会*, 74(7), 903-909, 2005/07/10
- 医療・診断用バイオセンサー, 民谷栄一, 永谷尚紀, 山村昌平, *医療用マテリアルと機能膜*, シーエムシー出版, 233-247, 2005/05/31
- メンブレンを活用したバイオ診断チップの開発, 永谷尚紀, 民谷栄一, *バイオテクノロジージャーナル*, 羊土社, 2005 5-6, 346-348, 2005/05/01
- Nanosystems for Biosensing(Multianalyte Immunoassay on a Protein Chip), Tamiya,Eiichi.,Zhi,Zheng-liang.,Morita,Yasutaka.,Hasan,Quamrul., *Protein Nanotechnology, HUMANA PRESS*, 369-381, 2005/02
- ナノテクノロジーとバイオデバイス, 民谷栄一, 次世代センサ 特集バイオナノセンシング, 次世代センサ協議会, 14(2), 2-4, 2005
- バイオとナノテクは車の両輪 異分野融合で画期的成果も!, 民谷栄一, *週刊ナノテク, 産業タイムズ社*, 2004, 2
- マイクロチップテクノロジーとハイスループットスクリーニング, 民谷栄一, *ゲノミクス・プロテオミクスの新展開, 生物情報の解析と応用, エヌ・ティ・エス*, 1118-1128, 2004
- ナノバイオ研究に注目, 中小企業と広範なコラボ, 民谷栄一, *週刊ナノテク, 産業タイムズ社*, 9-11, 2004
- 第3編 コンビナトリアル・バイオエンジニアリング研究の応用と展開, 第10章 細胞チップを用いた薬剤スクリーニング, 赤木良教, 森田資隆, 民谷栄一, *コンビナトリアル・バイオエンジニアリングの最前線*, シーエムシー出版, 2004, 281-287
- 第2編 コンビナトリアル・バイオエンジニアリング研究の成果, 第1章 フェージディスプレイ, 4フェージディスプレイ法による幹細胞認識, 森田資隆, 民谷栄一, *コンビナトリアル・バイオエンジニアリングの最前線*, シーエムシー出版, 2004, 46-56
- リンパ球チップ, 岸裕幸, 近藤佐千子, 時光善温, 本多立, 本木和美, 村口篤, 民谷栄一, 山村昌平, 鈴木正康, 藤城敏史, 小幡勤, 大永崇, *バイオチップの最新技術と応用*, シーエムシー出版, 2004, 225-235
- ナノ機能材料とバイオセンシング, 民谷栄一, *BIO INDUSTRY* 12, シーエムシー出版, 2004, 12-18
- 巻頭言: バイオ機能を利用した新たな環境計測への展開, 民谷栄一, *計測技術*431号, 32(13), 日本工業出版, 2004, 1-2
- 第5章 バイオ・医療機能材料 第7節 バイオセンサー, 民谷栄一, *高分子材料・技術総覧, 株式会社産業技術サービスセンター*, 2004, 622-629
- 第4章 応用分野の将来展望 1. ナノバイオ, 進化するマイクロマシン, 民谷栄一, *日刊工業新聞社*, 2004, 197-214
- 細胞チップの開発: 細胞表面工学の発展に向けて, 福田剛士, 白神清三郎, 末信一郎, 民谷栄一, 植田充美, *BIO INDUSTRY* 12, シーエムシー出版, 2004, 34-37

### ◆発表論文

- Rapid and onsite BOD sensing system using luminous bacterial cells-immobilized chip, Sakaguchi,T., Morioka,Y., Yamasaki,M., Iwanaga,J., Beppu,K., Maeda,H., Morita,Y., Tamiya,E., *Biosens Bioelectron*, 22(7), 1345-1350, 2007
- An electrochemical on-field sensor system for the detection of compost maturity, Chikae,Miyuki., Nagatani,Naoki., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Anal.Chim.Acta.*, 581(2), 364-369, 2007
- Quantumdot-based immunosensor for the detection of prostate-specific antigen using fluorescence microscopy, Kerman,Kagan., Endo,Tatsuro., Tsukamoto,Masatoshi., Chikae,Miyuki., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Talanta, 71(4), 1494-1499, 2007
- Excitation of localized surface plasmon resonance using core-shell structured nanoparticle layer substrate and its application for label-free detection of the biomolecular interactions, Endo,Tatsuro.,Kerman,Kagan., Nagatani,Naoki.,Tamiya,Eiichi., *The Journal of Physics Condensed Matter*, 19, 215201-, 2007
- Rapid and sensitive visual detection of residual pesticides in food using acetylcholinesterase-based disposable membrane chips, Nagatani,Naoki., Takeuchi,Akihiro., Anwar Hossain,M., Yuhi,Teruko., Endo,Tatsuro., Kerman, Kagan., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Food Control*, 18, 914-920, 2007
- Label-free electrochemical immunoassay for the detection of human chorionic gonadotropin hormone, Kerman,Kagan., Nagatani,Naoki., Chikae,Miyuki., Yuhi,Teruko., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Anal.Chem*, 78, 15, 5612-5616, 2006
- Electrochemical Genosensor Based on Peptide Nucleic Acid-Mediated PCR and Asymmetric PCR Techniques: Electrostatic Interactions with a Metal Cation, Kerman,Kagan., Vestergaard, Mun'delanji., Nagatani,Naoki., Takamura, Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Anal.Chem*, 78, 7, 2182-2189, 2006
- Multiple label-free detection of antigen-antibody reaction using localized surface plasmon resonance based core-shell structured nanoparticle layer nanochip, Endo,Tatsuro., Kerman,Kagan., Yonezawa,Yuji., Nakano,Koichi., Tamiya,Eiichi., *Anal.Chem*, 78, 6465-6475, 2006
- Constraining the connectivity of neuronal networks cultured on microelectrode arrays with microfluidic techniques: A step towards neuron-based functional chips, Morin,Fabrice., Nishimura,Naoki., Griscom,Laurent., Lepiofle,Bruno., Fujita,Hiroyuki., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Biosensors and Bioelectronics*, 21, 7, 1093-1100, 2006
- Resin-based micropipette tip for immunochromatographic assays in urine samples, Yuhi,Teruko., Nagatani,Naoki., Endo,Tatsuro., Kerman,Kagan., Takata,Masayuki., Konaka,Hiroyuki., Namiki,Mikio., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Journal of Immunological Methods*, 312, 54-60, 2006
- Direct fabrication of catalytic metal nanoparticles onto the surface of a screen-printed carbon electrode, Chikae,Miyuki., Idegami, Koutarou., Kerman,Kagan., Nagatani,Naoki., Ishikawa,Mitsuyoshi., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Electrochemistry Communications*, 8, 1375-1380, 2006
- Single-walled carbon nanotube-arrayed microelectrode chip for electrochemical analysis, Okuno,Jun., Maehashi,Kenzo., Matsumoto,Kazuhiko., Kerman,Kagan., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., *Electrochemistry Communications*, 2006
- Label-Free Bioelectronic Immunoassay For The Detection Of Human Telomerase Reverse Transcriptase In Urine, Takata,Masayuki., Kerman,Kagan., Nagatani,Naoki., Konaka,Hiroyuki., Namiki,Mikio.,Tamiya,Eiichi., *Journal of Electroanalytical Chemistry*, 586, 109-116, 2006
- Damage to and recovery of coastlines polluted with C-heavy oil spilled from the Nakhodka, Hayakawa,K., Nomura,M., Nakagawa,T., Oguri,S., Kawanishi,T., Toriba,A., Kizu,R., Sakaguchi,T., Tamiya,E., *Water Res*, 40, 5, 981-989, 2006
- Circumventing the air-bubbles for microfluidic systems and quantitative continuous-flow PCR applications, Nakayama,Tsuyoshi., Kurosawa,Yasunori., Furui,Satoshi., Kerman,Kagan., Kobayashi,Masaaki., Rao,S.Ramachandra., Yonezawa,Yuji., Nakano,Koichi., Hino,Akihiro., Yamamura,Shouhei., Takamura,Yuzuru., Tamiya, Eiichi., *Anal Bioanal.Chem*, 386(5), 1327-1333, 2006
- A novel enhancement assay for immunochromatographic test strips using gold nanoparticles, Tanaka,Ryo.,Yuhi,Teruko.,Nagatani,Naoki.,Endo,Tatsuro.,

- Kerman,Kagan.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Anal Bioanal Chem, 385, 8, 1414-1420, 2006
17. Development of a compact high-density microbial hydrogen reactor for portable bio-fuel cell system, Ishikawa,Mitsuyoshi., Yamamura,Shohei., Takamura,Yuzuru.,Sode,Koji.,Tamiya,Eiichi.,Tomiyama,Masamitsu., International Journal of Hydrogen Energy, 31, 1484-1489, 2006
18. Selection and properties for the recognition of P19 embryonic carcinoma stem cells, Morita,Yasutaka.,Mamiya,Kou.,Yamamura,Shohei.,Tamiya,Eiichi., Biotechnol Prog, 22, 4, 974-978, 2006
19. A new design of knife-edged AFM probe for chromosome precision manipulating, Saito,Masato.,Nakagawa,Kazuhisa.,Yamanaka,Keiichiro., Takamura,Yuzuru.,Hashiguchi,Gen.,Tamiya,Eiichi., Sensors and Actuators, A, 130-131, 606-624, 2006
20. Estimation of maturity of compost from food wastes and agro-residues by multiple regression analysis, Chikae,Miyuki., Ikeda,Ryuzoh., Kerman,Kagan., Morita,Yasutaka., Tamiya,Eiichi., Bioresource Technology, 97, 1979-1985, 2006
21. Development of a novel chromosome dissection chip for chromosomal analysis with nanometer size, Kim,Do-Kyun., Tamiya,Eiichi., Jung,Kyung-Han., Shin,Hoon-Kyu., Kwon,Young-Soo., Current Applied Physics, 6, 6, 663-668, 2006
22. Development of a novel DNA detection system for real-time detection of DNA hybridization, Kim,Do-Kyun., Tamiya,Eiichi., Kwon,Young-soo., Current Applied Physics, 6, 669-674, 2006
23. Evaluation of a sensitive immunochromatographic assay using gold nanoparticles for the semi-quantitative detection of prostate-specific antigen in serum, Nagatani,Naoki., Yuhi,Teruko., Chikae,Miyuki., Kerman,Kagan., Endo, Tatsuro., Kobori,Yoshitomo., Takata,Masayuki., Konaka,Hiroyuki., Namiki,Mikio., Ushijima,Hiromi., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Nanobiotechnology, 2(3-4), 79-86, 2006
24. Development of a novel hand-held toluene gas sensor: Possible use in the prevention and control of sick building syndrome, Kawamura,Koji.,Vestergaard, Mun'delanji.,Ishiyama,Miho.,Nagatani,Naoki.,Hashiba,Tomohiko.,Tamiya,Eiichi., Measurement, 39, 490-496, 2006
25. Gold nanoparticle-based novel enhancement method for the development of highly sensitive immunochromatographic test strips, Nagatani,Naoki., Tanaka,Ryou., Yuhi,Teruko., Endo,Tatsuro., Kerman,Kagan., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Science and Technology of Advanced Materials, 7, 270-275, 2006
26. Gold nanoparticle based immunochromatographic using a resin modified micropipette tip for rapid and simple detection of human chorionic gonadotropin hormone and prostate-specific antigen, Yuhi,Teruko., Nagatani,Naoki., Endo,Tatsuro., Kerman,Kagan., Takata,Masayuki., Konaka,Hiroyuki., Namiki,Mikio., Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Science and Technology of Advanced Materials, 7, 276-281, 2006
27. Novel electrochemical identification and semi quantification of bovine constituents in feedstuffs, Chaumpluk,Piyasak.,Chikae,Miyuki.,Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Science and Technology of Advanced Materials, 7, 263-269, 2006
28. A rapid label-free electrochemical detection kinetic study of Alzheimer's Amyloid-beta aggregation, Vestergaard,M., Kerman,K., Saito,M., Nagatani,M., Takamura,Y., Tamiya,E., J. Am. Chem. Soc, 127, 11892-11893
29. Label-free detection of peptide nucleic acid-DNA hybridization using localized surface plasmon resonance based optical biosensor, Endo,T., Kerman,K.,Nagatani,N., Takamura,Y., Tamiya,E., Analytical Chemistry 2005, 77, 6976-6984
30. Microfabrication of encoded microparticle array for multiplexed DNA hybridization detection, Zhi,Z., Yamamura,S., Tamiya,E., Chemical Communications, 2448-2450
31. Electrochemical Coding of Single-Nucleotide Polymorphisms By Monobase-Modified Gold Nanoparticles, Kerman,Kagan.,Saito,Masato., Morita, Yasutaka., Takamura,Yuzuru., Ozsoz,Mehmet., Tamiya,Eiichi., Anal.Chem, 76, 1877-1884, 2004
32. On-Chip Nanoliter-Volume Multiplex TaqMan Polymerase Chain Reaction from A Single Copy Based on Counting Fluorescence Released Microchambers, Matsubara,Yasutaka., Kerman,Kagan., Kobayashi,Masaaki., Yamamura,Shouhei., Morita,Yasutaka.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Anal.Chem, 76, 6434-6439, 2004
- ◆講演発表
1. Overview of a Bio-Hydrogen Project Funded by MAFF Microbial/Biochemical Energy Conversion, Tomiyama,Masamitsu., Asada,Yasuo., Mitani,Yutaka.,Nakashimada,Yutaka.,Nishio,Naomichi.,Tamiya,Eiichi.,Hiraga,Tetsuo., Sode,Koji., The 2006 Asian Biohydrogen Symposium, Taiwan, 2006/11/18-21
2. A single human chromosome manipulation and gene detection via trace volume PCR amplification using microtweezer probe and microchamber array, Saito, Masato., Nakagawa,Kazuhisa., Takekawa,Tetsuya., Yakanaka,Keiichiro., Takamura, Yuzuru., Hashiguchi,Gen., Tamiya,Eiichi., Microtas2006, Tokyo, 2006/11/05-09
3. Development of a gold-capped nanoparticle layer-based optical biosensor for label-free detection of biomolecular interaction studies, Kim,Do-Kyun., Ha,Mihn Heip.,Endo,Tatsuro.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Microtas2006, Tokyo, 2006/11/05-09
4. Novel picoliter compartmental microfluidic chip devices for high-throughput single-cell sorting and analysis, Rao,Sathuluri.Ramachandra.,Kitamura,Masahito., Yamamura,Shohei.,Tamiya,Eiichi., Microtas2006, Tokyo, 2006/11/05-09
5. Microfabrication of encoded microparticle arrays for miniaturized and multiplexed single nucleotide polymorphism detection, Zhi,Zheng-liang., Yamamura,Shouhei.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Microtas2006, Tokyo, 2006/11/05-09
6. 知財で勝ち抜く！/大学発ベンチャー企業について, 民谷栄一, 中部知財フォーラム2006, 名古屋, 2006/11/08
7. Development of a Label-Free Optical Biosensor Using Porous Anodic Alumina(PAA) Layer Chip, Kim,Do-Kyun.,Kwon,Young-Soo.,Tamiya,Eiichi., IEEE SENSORS 2006, Korea, 2006/10/22-25
8. Development of high-throughput compartmental microfluidic devices for multiplexed single-cell sorting, manipulation and analysis, Rao, Sathuluri.Ramachandra., Kitamura,Masahito., Yamamura,Shohei., Tamiya,Eiichi., IEEE SENSORS 2006, Korea, 2006/10/22-25
9. Nanomaterials based biosensors and biochips, Tamiya,E., NT2006, JAIST, 2006/09/14-16
10. Development of a Functional Chromosome Nano-Dissection System Using Porous Anodic Alumina Pattern Chip and AFM Cantilever, Kim,D.K.,Saito,M., Kwon,Y.S.,Tamiya,E., 2006 International Conference on Solid State Devices Materials(SSDM 2006), Pacifico Yokohama, 2006/09/12-15
11. シンポジウム挨拶, 民谷栄一, 第58回日本生物工学会大会/ライフサイエンス構築をめざしたナノバイオとコンビオバイオの融合の新しい展開, 日本化学会, 大阪, 2006/09/13
12. ナノリッターチャンバーアレイを用いた細胞PCRと遺伝子検出, 齊藤真人, 山村昌平, 高村禪, 橋口原, 高林晴夫, 民谷栄一, 第58回日本生物工学会, 大阪大学, 2006/09/11-13
13. Label-Free Electrochemical Biosensor Based on Carbon Nanotubes, Kagan,Kerman.,Maehashi,Kenzo.,Yamamura,Shohei.,Takamura,Yuzuru.,Matsumoto, Kazuhiko.,Tamiya,Eiichi., 第58回日本生物工学会, 大阪大学, 2006/09/11-13
14. ナノテクノロジーと電気化学を用いた先進バイオセンサーの開発, 民谷栄一, 2006分析展, 日本分析機器工業会(千葉), 2006/08/31
15. ナノバイオテクノロジーとバイオセンサー, 民谷栄一, 第67回応用物理学会学術講演会, 立命館大学, 2006/08/29-09/01
16. ナノバイオテクノロジーとバイオセンサー, 民谷栄一, 第67回応用物理学会学術講演会/37.1-ナノテクノロジーを活用した次世代生命工学, 応用物理学会, 滋賀, 2006/08/29
17. Application of Biosensor in Food Industry, Tamiya,Eiichi., DNA analysis for strengthening potential of food industries, Thailand, 2006/08/27
18. Biosensor Concept and Innovation, Tamiya,Eiichi., DNA analysis for strengthening potential of food industries, Thailand, 2006/08/27
19. マイクロ流体デバイスとそのバイオへの応用, 民谷栄一, 第25回混相流シンポジウム, 日本学術会議/日本混相流学会, 金沢, 2006/08/05
20. 地球温暖化問題等に関するテーマ/持続可能な社会とバイオテクノロジー, 民谷栄一, 地球温暖化対策地域協議会, 能美市役所環境生活課, 2006/07/26
21. 環境調和のための先端テクノロジー, 民谷栄一, 環境・エネルギー対策委員会, 小松商工会議所(小松), 2006/07/20
22. 研究紹介/先進バイオデバイスとその応用, 民谷栄一, プロジェクト形成研究会C「生体機能解析用DNAマイクロアレイの開発」第2回研究会, 中部科学技術センター(三重), 2006/07/14
23. Nano/micro biotechnology and Biosensors, Tamiya,Eiichi., The 3rd International Symposium and The 14th Workshop on Innovative Bio-Physio Sensor Technology, Korea, 2006/07/06-08
24. Development of highly sensitive immunochromatographic test strip, Nagatani,Naoki.,Tanaka,Ryou.,Yuhi,Teruko.,Endo,Tatsuro.,Kerman,Kagan.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., 20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress, Kyoto, 2006/06/18-23
25. 研究推進について, 民谷栄一, 第3回ライフサイエンスシンポジウム(第3回特定領域研究シンポジウム), 東京, 2006/06/05-06
26. 先進バイオデバイスとその応用, 民谷栄一, 第5回国際バイオフォーラム&バイオEXPO(大学・国公立研究所における研究成果発表フォーラム), 東京, 2006/05/17-19
27. 大学発先端バイオテクノロジーと産学連携への展開, 民谷栄一, 富山県商工労働部商工企画課, 2006/04/20
28. 細胞間ネットワークシグナルの解析, 民谷栄一, 日本化学会第86春季年会, 日本大学理工学部船橋キャンパス, 2006/03/27-30
29. Cell-based micro array chips for drug screening, Tamiya,E., PACIFICHEM 2005, Hawaii, 2005/12/15-20
30. Label-free protein sensors based on localized plasmon and electrochemical detection, Tamiya,E., PACIFICHEM 2005, Hawaii, 2005/12/15-20
31. Label free protein and DNA detection based on electrochemical and localized surface plasmon resonance chips, Tamiya,Eiichi., Kyoto Workshop "Frontiers in Environmental Science", Kyoto, 2005/10/07

32. A new design of knife-edged AFM probe for nanomanipulation of DNA and chromosome, Saito, M., Nakagawa, K., Yamanaka, K., Takamura, Y., Hashiguchi, G., Tamiya, E., Nano Technology 2005, JAIST, 2005/09/15-17
33. Gold nanoparticles based novel labeling method for enhancing the sensitivity of immunochromatographic test strips, Nagatani, N., Yuhi, T., Tanaka, R., Endo, T., Tamiya, E., Nano Technology 2005, JAIST, 2005/09/15-17
34. Novel electrochemical identification and quantification of bovine species in feedstuffs, P. Chaumpluk, Chikae, M., Takamura, Y., Tamiya, E., Nano Technology 2005, JAIST, 2005/09/15-17
35. Development of a rapid immunoanalysis using immunochromatographic micropipette Tip, Yuhi, T., Nagatani, N., Endo, T., Kagan, K., Takada, M., Konaka, H., Namiki, M., Takamura, Y., Tamiya, E., Nano Technology 2005, JAIST, 2005/09/15-17
36. Direct Ultrasensitive DNA Sensors Based on Carbon Nanotube Field-Effect Transistors, Maehashi, Kenzo., Matsumoto, Kazuhiko., Kagan, Kerman., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., SOLID STATE DEVICES AND MATERIALS (SSDM), KOBE, 2005/09/13-15
37. Development of DNA chip nanoarray by Fluidic Self-assembly method for Detection of DNA Hybridization, Kim, Do-Kyun., Kwon, Young-Soo., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., SOLID STATE DEVICES AND MATERIALS (SSDM), KOBE, 09/13-15
38. カーボンナノチューブ電極の作製と生体分子計測への応用, 奥野潤, 前橋兼三, 松本和彦, Kagan, Kerman., 高村禪, 民谷栄一, 第66回応用物理学学会学術講演会, 徳島大学, 2005/09/07-11
39. マルチカーボンナノチューブ電極を用いたバイオセンシング, Kagan, Kerman., 奥野潤, 前橋兼三, 松本和彦, 高村禪, 民谷栄一, 第66回応用物理学学会学術講演会, 徳島大学, 2005/09/07-11
40. 調査プローブ顕微鏡を用いるバイオナノ解析, 民谷栄一, 第66回応用物理学学会学術講演会, 徳島大学, 2005/09/07-11
41. AFMを用いたDNA-Bisbenzimidazole凝集プロセスの1分子スケール液中経時観察, 斎藤真人, 高村禪, 民谷栄一, 2005年電気化学秋季大会, 千葉大学工学部, 2005/09/08-09
42.  $\beta$ アミロイド凝集の非標識電気化学検出, Mun'delanji Vestergaard, Kagan, Kerman., 斎藤真人, 永谷尚紀, 高村禪, 民谷栄一, 2005年電気化学秋季大会, 千葉大学工学部, 2005/09/08-09
43. R&D for Microbial/Biochemical Energy Conversion and Hydrogen Fermentation Technologies, Tomiyama, Masamitsu., Nakashimada, Yutaka., Asada, Yasuo., Tamiya, Eiichi., Hiraga, Tetsuo., Nishio, Naomichi., Sode, Koji., IHEC2005, ISTANBUL-TURKEY, 2005/07/13-15
44. A NEW DESIGN OF KNIFE EDGED-AFM PROBE FOR CHROMOSOME PRECISION MANIPULATING, Saito, Masato., Nakagawa, Kazuhisa., Yamanaka, Kiichiro., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., The 13th international conference on solid-state sensors, actuators and Microsystems, KOREA, 2005/06/05-09
45. Single cell and DNA chips for drug screening based on post-genome technology, Tamiya, Eiichi., Yamamura, Shohei., The third International Forum on Post-Genome Technologies (3' IFPT), China, 2005/04/25-26
46. 定量的免疫検出のためのゲル電気泳動デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 第11回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 福岡国際会議場, 2005/04/23-24
47. 定量的免疫検出のためのゲル電気泳動分離デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 電気化学会第72回大会, 熊本大学工学部, 2005/04/01-03
48. DNA凝集過程の1分子スケール液中AFM観察, 斎藤真人, 森田資隆, 高村禪, 民谷栄一, 第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005/03/29-04/01
49. DNAチップマイクロアレイを用いた高集積DNA, 金道均, 高村禪, 民谷栄一, 第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005/03/29-04/01
50. ザイモグラフィ法を用いたナメコ(Pholiota nameko)由来laccase isoenzymeの分析, 池田隆造, 近江みゆき, 森田資隆, 民谷栄一, 日本農芸化学会2005年度大会, 札幌コンベンションセンター, 2005/03/28-30
51. W/Oエマルジョン内1分子固相PCR法の開発, 武井義明, 児島孝明, 民谷栄一, 山根恒夫, 中野秀雄, 日本農芸化学会2005年度大会, 札幌コンベンションセンター, 2005/03/28-30
52. マイクロアレイチップを用いたダイオキシン特異的単一Bリンパ球細胞の解析, 山村昌平, 大森正裕, Rao, S. RAMACHANDRA., 奥山亮, 森田資隆, 高村禪, 民谷栄一, 日本農芸化学会2005年度大会, 札幌コンベンションセンター, 2005/03/28-30
53. 二相液マイクロフロー型システムを用いた細胞の分離および解析, Rao, Sathuluri. Ramachandra., 山村昌平, 高村禪, 民谷栄一, 日本化学会第85春季年会, 神奈川大学横浜キャンパス, 2005/03/26-29
54. 細胞マイクロアレイチップを用いた抗原特異的Bリンパ球, 山村昌平, Rao, Sathuluri. Ramachandra., 大森正裕, 時光善温, 近藤佐子, 岸裕幸, 村口篤, 高村禪, 民谷栄一, 日本化学会第85春季年会, 神奈川大学横浜キャンパス, 2005/03/26-29
55. Advances Biosensors Based on Nanomaterials and Microchip Technology, Tamiya, Eiichi., Biosensors & Biomaterials Workshop 2005(Biosensors 2005), Tsukuba, 2005/03/07-09
56. DNA chip-Semiconductor Devices for Biosensing, Tamiya, Eiichi., Japan-US Workshop on the Future of Sensors and Sensor System, Tsukuba, 2005/03/03-04
57. Detection of DNA Hybridization Properties by Using Thermodynamic Method, Kim, Do-Kyun., Kwon, Young-Soo., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., Third International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics(M&BE3), Tokyo, 2005/03/03-04
58. 携帯型遺伝子センサーと食品検査, 民谷栄一, ISP人材確保・育成支援セミナー, 石川県産業創出支援機構(石川), 2005/03/03
59. ナノ材料およびナノ構造デバイスを利用した新しいバイオセンサーの新展開, 民谷栄一, ナノバイオExpo2005/ナノバイオ国際シンポジウム, 東京, 2005/02/25
60. 産学連携からバイオビジネス展開事例とその問題点, 民谷栄一, 第2回バイオメディカルクラスター/コーディネーター会議, 石川県商工労働部-知的クラスター創成事業本部(石川), 2005/02/18
61. ナノ・バイオとコンビナトリアル, 民谷栄一, バイオのジョイントシンポジウム(第5回コンビナトリアル・バイオエンジニアリングシンポジウム-新バイオ分子と機能の創出をめざして-), 大阪, 2005/01/12
62. 最先端技術論, 民谷栄一, いしかわ技術経営(MOT)スクール, 石川県IT総合人材育成センター(金沢), 2004/12/18
63. ナノ・マイクロテクノロジーを用いたバイオツールの生物医学研究への応用, 民谷栄一, 第27回日本分子生物学会年会, 神戸ポートアイランド, 2004/12/08-11
64. ナノテクノロジーとバイオセンサー, 民谷栄一, 第50回次世代センサセミナーシリーズ 次世代センサ協議会, 東京, 2004/12/01
65. 先端バイオデバイスの生物・医療テクノロジーへの展開, 民谷栄一, 第23回メディカルケミストリーシンポジウム, つくば, 2004/11/26
66. 免疫検出のためのゲル電気泳動を基とした免疫複合体と未反応物の分離デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 第10回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 高松シンボルタワー, 2004/11/24-26
67. 射出成形によるマイクロウエルプレートの開発, 黒川正也, 南徹, 老子雅人, 民谷栄一, 田畑修, 第10回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 高松シンボルタワー, 2004/11/24-26
68. 遺伝子組換え体検知技術国際ワークショップ, 民谷栄一, 食品総合研究所, 神奈川, 2004/11/25
69. 染色体の遺伝子地図に関するナノ解析, 民谷栄一, 平成16年度第2回研究課題会議 研究運営会議 染色体ナノデバイス総合研究, 大阪, 2004/11/22-24
70. 細胞膜モデルの構築と膜形成用微小孔形状の最適化, 富名腰敬, 米谷智, 高村禪, 民谷栄一, 平成16年度日本化学会近畿支部北陸地区講演会と研究発表会, 福井大学文京キャンパス, 2004/11/13
71. バイオテクノロジーと産業連携の現状, 民谷栄一, JAISTフォーラム2004, 北陸先端科学技術大学院大学COEセンター(金沢), 2004/11/12
72. マイクロ・ナノマシニングに革新をもたらすナノインプリント技術, 民谷栄一, 第10回マイクロマシン・ナノテクシンポジウム, マイクロマシンセンター(東京), 2004/11/11
73. 円形型マイクロ回転デバイスによる遺伝子検出, 小林正昭, 井手上公太郎, 市川央, 民谷栄一, 第8回バイオテクノロジー部会シンポジウム, 甲南大学平生記念セミナーハウス, 2004/11/06
74. DNA stickによるHBV遺伝子の検出, 梶佐規子, 近江みゆき, 高村禪, 民谷栄一, 第8回バイオテクノロジー部会シンポジウム, 甲南大学平生記念セミナーハウス, 2004/11/06
75. グアイアコール含有寒天平板上でのハロ形成およびザイモグラフィ法による糸状菌ラッカーゼの解析, 池田隆造, 近江みゆき, 村橋瑞穂, 森田資隆, 民谷栄一, 第8回バイオテクノロジー部会シンポジウム, 甲南大学平生記念セミナーハウス, 2004/11/06
76. Interfacing neural networks cultured on microelectrode arrays with simulated spiking networks through a continuous monitoring scheme: application within the Liquid State Machine framework, モーリンファブリス, 民谷栄一, 第19回生体・生理工学シンポジウム, 大阪電気通信大学, 2004/11/01-03
77. 微細加工チップの3バイオメディカルへの応用, 民谷栄一, 機能性材料の3次元微細加工技術講演会, 先端加工機能技術振興協会(東京), 2004/11/01
78. 科学研究費申請について, 民谷栄一, 高岡短期大学研究会, 富山, 2004/10/07
79. Development of Lipid Membrane Array Device Using Micro-flow Chip, Funakoshi, K., Murahashi, M., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., 206th Meeting of The Electrochemical Society (ECS), Hawaii, 2004/10/03-08
80. Screening of a novel neurotrophic factor using micro array cell-based chip and its response on PC12 cells, Akagi, Yoshinori., Rao, Sathuluri. Ramachandra., Morita, Yasutaka., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30
81. High-throughput screening and analysis for antigen specific single-cell using microarray, Yamamura, Shohei., Rao, Ramachandra., Omori, Masahiro., Tokimitsu, Yoshiharu., Kondo, Sachiko., Kishi, Hiroyuki., Muraguchi, Atsushi., Takamura, Yuzuru., Tamiya, Eiichi., Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30

82. Development of a novel immunosensor based on microchip zone Electrophoresis, Idegami,Koutarou.,Kobayashi,Masaaki.,Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30  
 83. Multiplexed microfluidic devices for single-cell manipulation and analysis, Rao,S.Ramachandra.,Yamamura,Shohei.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30  
 84. マイクロ流体チップを用いる高感度イムセンサー, 永谷尚紀, 由比光子, 遠藤達郎, 高村禪, 民谷栄一, 日本生物工学会大会, 名城大学天白キャンパス, 2004/09/21-23

## 寺野 稔

マテリアルサイエンス研究科 教授(機能科学・分離機能素材)

### ◆著書

1. 石油化学産業のイノベーション, 永田晃也, 篠崎香織, 寺野稔, JAIST Press, 2008/03  
 2. 高分子材料の劣化・変色メカニズムとその安定化技術 -ノウハウ集-, 寺野稔, 技術情報協会, 2006, 109-116  
 3. Current Achievements on Heterogeneous Olefin Polymerization Catalysts, Terano Minoru, Sankeisha.Co.,Ltd, 2004  
 4. 医療用高分子材料の展開・第2章 ディスポーザブル製品の開発と応用・3 ポリオレフィンの医療への展開, 川本尚史, 由井伸彦, 寺野稔, シーエムシー出版部, 2003, 83-88  
 5. 機能性超分子・第5章 特許から見た超分子のR&D-最近の特許動向-, 寺野稔, 森秀晴, シーエムシー出版, 2003, 254-262

### ◆発表論文

1. Coadsorption and Support-Mediated Interaction of Ti Species with Ethyl Benzoate in MgCl<sub>2</sub>-Supported Heterogeneous Ziegler-Natta Catalysts Studied by Density Functional Calculations, T. Taniike, M. Terano, Macromol. Rapid Commun, 28 (18-19), 1918-1922, 2007  
 2. Effects of Hydrogen for Different Stereospecific Active Sites on Ultra Low TiCl<sub>3</sub> loading Supported Catalyst, Kouzai,I., Liu,B., Wada,T. and Terano,M., Macromolecular Reaction Engineering, 1, 1, 160, 5, 2007/01/09  
 3. Photo-stability of surface chromate species on Phillips CrOx/SiO<sub>2</sub> catalysts isothermally calcined at various temperatures, probed by high resolution X-ray photoelectron spectroscopy, Yuwei Fang, Boping Liu, Terano Minoru, Applied Catalysis A:General, 279, 131-138, 2005/12/07  
 4. Effects of Various Preparation and Polymerization Procedures on the Isospecific Nature of TiCl<sub>3</sub>-Based Polypropylene Catalysts, ATM Kamrul Hasan, Boping Liu, Terano Minoru, Polymer Bulletin, 54, 225-236, 2005/05/25  
 5. Study of local oxidative degradation in polypropylene impact copolymer by energy dispersive X-ray system, Manabe Norio, Yokota Yoshimitu, Nakatani Hisayuki, Suzuki Shoutarou, Liu Boping, Terano Minoru, Polymer Bulletin, 54, 141-145, 2005/05  
 6. Influence of primary structure on thermal oxidative degradation of polypropylene impact copolymer, Suzuki,S., Liu,B., Terano,M., Manabe,N., Kawamura,K., Ishikawa,M., Nakatani,H., Polymer Bulletin, 55, 141-147, 2005  
 7. Transformation of Polymerization Sites into Hydrogen Dissociation Sites on Propylene Polymerization Catalyst Induced by the Reaction with Al-Alkyl Cocatalyst, Boping Liu, Murayama Namiko, Terano Minoru, Industrial & Engineering Chemistry Research, 44, 8, 2382-2388, 2005/04/13  
 8. Dependence of tacticity distribution in thermal oxidative degradation of polypropylene, Suzuki,S., Nakamura,Y., ATM Kamrul Hasan, Liu,B., Terano,M., Nakatani,H., Polymer Bulletin, 54, 311-319, 2005  
 9. Correlation of oxidation states of surface chromium species with ethylene polymerization activity for Phillips CrOx/SiO<sub>2</sub> catalysts modified by Al-alkyl cocatalyst, Boping Liu, Pavel Sindelar, Yuwei Fang, Hasebe Kouichi, Terano Minoru, Journal of Molecular Catalysis A:Chemical, 238, 142-150, 2005  
 10. Effects of Electron Donors on Active Sites Distribution of MgCl<sub>2</sub>-Supported Ziegler-Natta Catalysts Investigated by Multiple Active Sites Model, Qi Wang, Murayama Namiko, Boping Liu, Terano Minoru, Macromolecular Chemistry and Physics, 206, 961-966, 2005  
 11. Morphology and mechanical properties in the binary blends of isotactic polypropylene and novel propylene-co-olefin random copolymers with isotactic propylene sequence 1. Ethylene-propylene copolymers, Nitta Koh-hei, Yong-Woo Shin, Hashimoto Hideto, Tanimoto Satoshi, Terano Minoru, Polymer, 46, 965-975, 2004/12/08  
 12. New Approaches for the Development of Highly Stable Polypropylene, Terano Minoru, Boping Liu, Nakatani Hisayuki, Macromolecular Symposia 6th Annual UNESCO School & IUPAC Conference on Macromolecules & Materials Science, 214, 299-306, 2004/11  
 13. Investigation on the Active Sites Transformation in Heterogeneous Olefin Polymerization Catalysis, Liu,B., Murayama,N., Fang,Y., Nakatani,H., Terano,M., Sankeisha.Co., Ltd, 240-248, 2004/10

14. Theoretical Approach to the Activation Mechanism of Phillips CrOx/SiO<sub>2</sub> Catalyst by Ethylene Monomer Using Paired Interacting Orbitals (PIO) Method, Liu,B., Sankeisha.Co., Ltd, 77-84, 2004/10  
 15. Effect of Particle Size on Mechanical Properties of Polypropylene/SiO<sub>2</sub> Nanocomposites, Liu,B., Asuka,K., Terano,M., Nitta,K., Sankeisha.Co., Ltd, 119-126, 2004/10  
 16. Precise Arguments on the Distribution of Stereospecific Active Sites on MgCl<sub>2</sub>-Supported Ziegler-Natta Catalysts, Boping Liu, Nitta Takashi, Nakatani Hisayuki, Terano Minoru, Macromolecular Symposia, 213, 7-18, 2004  
 17. Synthesis and Characterization of Propylene- $\alpha$ -Olefin Random Copolymers with Isotactic Propylene Sequence. II. Propylene Hexene-1 Random Copolymer, Yong-Woo Shin, Hashiguchi Hideto, Terano Minoru, Nitta Koh-hei, J. Appl.Polym. Sci., 92, 2949-2954, 2004  
 18. Plausible guard effect on the active sites of heterogeneous Ziegler-Natta catalyst by coordinating monomers and growing polymer chains in the initial stage of propene polymerization, Murayama Namiko, Boping Liu, Nakatani Hisayuki, Terano Minoru, Polymer International, 53, 723-727, 2004  
 19. High resolution X-Ray photoelectron spectroscopic analysis of transformation of surface chromium species on Phillips CrOx/SiO<sub>2</sub> catalysts isothermally calcined at various temperatures, Boping Liu,Yuwei Fang,Terano Minoru, Journal of Molecular Catalysis A : Chemical, 219, 165-173, 2004  
 20. 27Al MAS solid state NMR study on coordinative nature of alkyl-Al cocatalysts on a novel SiO<sub>2</sub>-supported Ziegler-Natta catalyst for controlled multiplicity of molecular weight distribution, Boping Liu, Fukuda Keiji, Nakatani Hisayuki, Nishiyama Isa, Yamahiro Mikio, Terano Minoru, Journal of Molecular Catalysis A : Chemical, 219, 363-370, 2004  
 21. Surface Physico-Chemical State of CO-Prereduced Phillips CrOx/SiO<sub>2</sub> Catalyst and Unique Polymerization Behavior in the Presence of Al-Alkyl Cocatalyst, Boping Liu, Yuwei Fang, Nakatani Hisayuki, Terano Minoru, Macromolecular Symposia, 213, 37-46, 2004  
 22. Significant variation of molecular weight distribution(MWD) of polyethylene induced by different alkyl-Al co-catalysts using a novel surface functionalized SiO<sub>2</sub>-supported Ziegler-Natta catalyst, Fukuda,K., Liu,B., Nakatani,H., Nishiyama,I., Yamahiro,M., Terano,M., Catalysis Communications, 4, 657-662, 2003

### ◆講演発表

1. ポリプロピレンの熱酸化劣化における末端不飽和鎖存在の影響, 中谷久之, Dodik Kurniawan, 山口史雄, 田中貴雅, 寺野稔, 2006年度高分子の崩壊と安定化研究討論会, 東京, 2006/12/13  
 2. ポリプロピレン/シリカナノコンポジットの構造と安定性の検討, 飛鳥一雄, 住野健一, 谷池俊明, 河村幸伸, 寺野稔, 新田晃平, 2006年度高分子の崩壊と安定化研究討論会, 東京, 2006/12/13  
 3. Novel concept of self-organized bifunctional catalyst systems for traditional olefin polymerization catalysts, Terano Minoru, International Xiangshan Science Conferences on "Challenges in Polyolefin Technology Developments and Opportunities for China", Beijing, 2006/11/06-09  
 4. Application of Fractionation Technique to the Studies of Olefin Polymerization, Terano Minoru, 1st International Conference on Polyolefin Characterization (ICPC 2006), Houston,USA, 2006/10/15-18  
 5. Self-organized bifunctional catalytic species in traditional Ziegler-Natta and Phillips catalysts for olefin polymerization, Terano Minoru, International Workshop "Frontiers in Materials Research III", Vina Del Mar, Chile, 2006/10/11-14  
 6. オレフィン重合における自己組織的複合触媒作用, 寺野稔, 第98回触媒討論会, 富山, 2006/09/26-29  
 7. Ziegler触媒によるポリオレフィンの機能化とナノコンポジットへの応用, 飛鳥一雄, 城座慎一郎, 劉柏平, 河村幸伸, 寺野稔, 新田晃平, 第98回触媒討論会, 富山, 2006/09/26-29  
 8. 高安定性ポリプロピレン系ナノコンポジットの開発におけるSiO<sub>2</sub> 粒子径と表面状態の検討, 住野健一, 劉柏平, 山口政之, 寺野稔, 第55回高分子討論会, 富山, 2006/09/20-22  
 9. Olefin block copolymer development by stopped-flow method, Terano Minoru, Emerging Global Regions for Polyolefins (FlexPO) 2006, Houston,USA, 2006/09/20-22  
 10. 多成分系ポリプロピレンの熱酸化劣化挙動, 中谷久之, 真鍋礼男, 横田義光, 川村健一, 南博昭, 山口史雄, 寺野稔, 第55回高分子討論会, 富山, 2006/09/20-22  
 11. Self-organized bifunctional catalyst systems for olefin polymerization, Terano Minoru and Boping Liu, WORLD POLYMER CONGRESS "41th International Symposium on Macromolecules", Rio de Janeiro, Brazil, 2006/07/16-21  
 12. Ethylene and cycloolefin copolymerization using Phillips catalyst with Al-alkyl cocatalyst, Wei Xia,Boping Liu and Terano Minoru, 第55回高分子学会年次大会, 名古屋, 2006/03/24-26  
 13. Unique polymerization kinetics of ethylene polymerization with Phillips catalyst activated by various Al-alkyl cocatalysts, Wei Xia,Boping Liu and

- Terano Minoru, 4th International Symposium on High-Tech Polymer Materials, Synthesis, Characterization and Applications (HTPM-IV), Beijing, China, 2006/03/14-20
14. New concept of self-organized bifunctional polyolefin catalyst systems, Terano Minoru, 4th International Symposium on High-Tech Polymer Materials, Synthesis, Characterization and Applications (HTPM-IV), Beijing, China, 2006/03/14-20
15. ポリオレフィン製造用ノンペレタイジングプロセスの開発—NEDO SPMプロジェクトの概要—, 寺野稔, 第34回石油・石油化学討論会, 松山, 2004/11/19
16. Application of Stopped-flow technique for the study of propylene polymerization with Ziegler-Natta Catalysts, Terano Minoru, 1st Brazilian Workshop on Olefin Polymerization, Porto Alegre, RS, Brazil, 2004/11/08
17. Understanding of Various Active Sites Transformations on Heterogeneous Olefin Polymerization Catalysts, Terano Minoru, KICChE, 韓国, 2004/10/29
18. Mechanistic understanding of various active sites transformations in heterogeneous olefin polymerization catalysis, Terano Minoru, Asian Polymer Symposium APOSYM2004, 中国, 杭州, 2004/10/10-14

## 堀 秀信

マテリアルサイエンス研究科 教授(物性科学・磁性材料)

### ◆著書

1. 複雑系経済現象への物理的モデル, 堀秀信, 中森義輝, JAIST Press, 2008/03
2. 知識創造物語シリーズ1“熱科学を創った人々”, 佐々木祥介, 堀秀信, Jaist Press, 2007, 1-319
3. Electron Correlation in New Materials and Nanosystems: A POSSIBLE MODEL FOR HIGH  $T_c$  FERROMAGNETISM IN GALLIUM MANGANESE NITRIDES IN SENICONDUCATORS, Hori, Hidenobu, Yamamoto, Yoshiyuki, Sonoda, Saki., Springer ( NATO Science Series Edited by K. Schanberg and S. Kuruchinin), 2006, 401-416

### ◆発表論文

1. Direct observation of ferromagnetic spin polarization in gold nanoparticles : a review, Yamamoto, Y., Hori, H., Rev. Adv. Mater. Sci., 12, 23-32, 2006
2. Coexistence of  $Mn^{2+}$  and  $Mn^{3+}$  in ferromagnetic  $GaMnN$ , Sonoda, S., Tanaka, I., Ikeno, H., Yamamoto, T., Oba, F., Araki, T., Yamamoto, Y., Suga, K., Nanishi, Y., Akasaka, Y., Kindo, K., Hori, H., J. Phys. Cond. Mat., 18, 4615-4621, 2006
3. Electrical transport properties of  $Dy_{0.5}Gd_{4.5}Si_2Ge_2$ , Nirmala, R., Sankaranarayanan, V., Sethupathi, K., A. V. Morozkin, Yamamoto, Y. and Hori, H., Physica B 373 (2006) 120-123, 373, 120-123, 2006
4. Large magnetoresistance in intermetallic compounds  $R_2Mn_3Si_5$  ( $R = Tb, Dy, ane Ho$ ), Nirmala, R., S. K. Malik., A. V. Morozkin., Yamamoto, Y. and Hori, H., Europhys. Lett. 76 (2006) 471-476, 76, 471-476, 2006/06
5. Novel IV-group based diluted magnetic semiconductor:  $CrxGe_{1-x}$ , Itaya, S., Yamamoto, Y., Hori, H., J. Supercon., 18, 83-85, 2005
6. Non-equilibrium phenomenon between electron and lattice systems induced by the Peltier effect, Iwasaki, H., Hori, H. and Sasaki, S., Jpn. J. Appl. Phys. 44 (2005) L1141, 44, L1141, 2005
7. Novel IV-group based diluted magnetic semiconductor:  $CrxGe_{1-x}$ , Itaya, S., Yamamoto, Y. and Hori, H., J. Supercon. 18 (2005) 83-85, 18, 83-85, 2005
8. Local electronic structure around Mn and Ga in Mn-doped GaN films showing room temperature ferromagnetism, Sonoda, S., Yamamoto, Y., Sasaki, T., Suga, K., Kindo, K. and Hori, H., Solid Stat. Comm. 133 (2005) 177-182, 133, 177-182, 2005
9. Local electronic structure around Mn and Ga in Mn-doped GaN films showing room temperature ferromagnetism, Sonoda, S., Yamamoto, Y., Sasaki, T., Suga, K., Kindo, K. and Hori, H., Solid Stat. Comm., 133, 26, 177-182, 2004/10
10. Direct Observation of Ferromagnetic Spin Polarization in Gold Nanoparticles, Yamamoto, Y., Miura, T., Suzuki, M., Kawamura, N., Miyagawa, H., Nakamura, T., Kobayashi, K., Teranishi, T. and Hori, H., Phys. Rev. Lett., 93, 10, 116801-1-116801-4, 2004/09
11. Diameter dependence of ferromagnetic spin moment in Au nanocrystals, Hori, H., Yamamoto, Y., Iwamoto, T., Miura, T., Teranishi, T. and Miyake, M., Phys. Rev., B 69, 17, 174411-1-174415, 2004/05/17
12. Magnetization process of Ni/Si/Ni/GaAs multilayer and its magnetoresistance, S. A. Haque, Yamamoto, Y., Hori, H. and Yamamoto, M., J. Magn. Magn. Mater., 272-276, Suppl. 1, E917-E919, 2004/05
13. Linear and nonlinear conductivity and magnetization on metamagnetic transitions in TbNiSn, Hori, H., Taki, M. and Yamamoto, Y., J. Magn. Mater., 272-276, 611-613, 2004/05
14. Diameter dependence of ferromagnetic spin moment in Au nanocrystals., Hori, H., Yamamoto, Y., Iwamoto, T., Miura, T., Teranishi, T. and Miyake, M., Phys. Rev., B 69, 17, 174411-1-5, 17, 2004/05
15. Magnetism and transport characteristics of (Ga, Mn)N in steady high fields,

- Miura, T., Yamamoto, Y., Itaya, S., Suga, K., Kindo, K., Takenobu, T., Iwasa, Y., Hori, H., Physica B, 346-347, 10, 116801-1-116801-4, 2004/04
16. Magnetism and transport characteristics of (Ga, Mn)N in steady high fields, Miura, T., Yamamoto, Y., Itaya, S., Suga, K., Kindo, K., Takenobu, T., Iwasa, Y., Hori, H., Physica, B 346-347, 402-407, 2004/04
17. Non-equilibrium and non-linear stationary states in thermoelectric materials, Iwasaki, H., Koyano, M., Yamamura, Y. and Hori, H., Solid State Commun. 130 (2004) 507-510, 2004
18. The non-linear susceptibility at metamagnetic transition in TbNiSn, Taki, M., Yamamoto, Y., Ishikawa, Y. and Hori, H., Physica B, 329-333, 635-636., 2003/05
19. Magnetic properties of the noble metal nanoparticles protected by polymer, Yamamoto, Y., Miura, T., Nakae, Y., Teranishi, T. and Hori, H., Physica B, 329-333, 1183-1184, 2003/05
- ◆講演発表
1. A possible model to high  $T_c$  ferromagnetism in (Ga, Mn)N, Hori, H., Yamamoto, Y. and Sonoda, S., NATO ARW, International Conference on "ELECTRON CORRELATION IN NEW MATERIALS AND NANOSYSTEMS", YALTA, UKRAINE, 2005/09/19-23

## 水谷 五郎

マテリアルサイエンス研究科 教授(物性科学・界面物性)

### ◆著書

1. "Science, Technology and Education of Microscopy, an Overview" ed. A. Mendez-Vilas (Microscopy Series No.1 Vol.2)・Starch Image in Living Water Plants Observed by Optical Second Harmonic Microscopy, Mizutani, G. and Sano, H., FORMATEX, Badajoz, Spain, 2003, 499-504

### ◆発表論文

1. Shadow Deposition of Copper Nanowires on the Faceted NaCl(110) Template, Kitsakorn Locharoenrat, Akira Sugawara, Saho Takase, Haruyuki Sano, and Goro Mizutani, Surface Science 601, 4449, 2007
  2. Effect of polymer adsorption on the water structure at the quartz/water interface studied by optical sum frequency generation, H. Sano, H. Yoshida, T. Oosugi, T. Murakami, Y. Takagawa, G. Mizutani, T. Ooya, and N. Yui, Surface Science, 601, 5173, 2007
  3. Electronic resonant images of an ion implanted Si(111) substrate observed by wavelength tunable optical second harmonic microscopy, Sano Haruyuki, Saito Jun, Ikeda Junichi and Mizutani Goro, Journal of Applied Physics 100(4), 043710, 2006/08/23
  4. Selective observation of starch in a water plant by nonlinear optical microscopy, Miyauchi, Y., Sano, H. and Mizutani, G., Journal of the Optical Society of America A 23(7), 1687-90, 2006/07/01
  5. Optical second harmonic spectroscopy of reconstructed Au(100) and (111) surfaces, Iwai, T. and Mizutani, G., Physical Review B72(23), 233406, 2005/12/19
  6. Distinction between some saccharides in scattered optical sum frequency images, Mizutani, G., Koyama, T., Tomizawa, S. and Sano, H., Spectrochimica Acta Part A62(4-5), 845-849, 2005/12
  7. Spectral, tensor, and ab initio theoretical analysis of optical second harmonic generation from the rutile TiO<sub>2</sub>(110) and (001) faces, Omote, M., Kitaoka, H., Kobayashi, E., Suzuki, O., Aratake, K., Sano, H., Mizutani, G., Wolf, W. and Podlucky, R., Journal of Physics: Condensed Matter, 17, 8, S175-S200, 2005/02/11
  8. Ab initio calculation of optical second harmonic generation at the rutile TiO<sub>2</sub>(110) surface, Sano, H., Mizutani, G., Wolf, W. and Podlucky, R., Physical Review B, 70, 12, 124311, 2004/09/15
  9. Optical second harmonic spectroscopy of Au nanowires, Kitahara Takeshi, Sugawara Akira, Sano Haruyuki and Mizutani Goro, Journal of Applied Physics, 95, 9, 5002-5005, 2004/05/01
  10. The effect of the mobility of ligands in polyrotaxanes on order structure of water clusters, Hirose, H., Sano, H., Mizutani, G., Eguchi, M., Ooya, T. and Yui, N., Langmuir, 20, 7, 2852-2854, 2004/03/30
- ◆講演発表
1. 再構成したAu(100)およびAu(111)面からの光第二高調波発生, 水谷五郎, 岩井哲也, 第24回吸着分子の分光学的研究セミナー, 片山津温泉, 2005/12/09
  2. Ab initio study of optical second harmonic response of the rutile TiO<sub>2</sub>(110) surface, Sano Haruyuki, Mizutani Goro, Wolf Walter and Podlucky Raimund, 23rd European Conference on Surface Science, Berlin, Germany, 2005/09/07
  3. Depolarization field in Aunanowires investigated by optical second harmonic spectroscopy, Mizutani Goro, Kitahara Takeshi, Sugawara Akira and Sano Haruyuki, Nonlinear Optics: Materials, Fundamentals and Applications 2004, Waikoloa, Hawaii, 2004/08/05
  4. Thermodynamic Advantage of Ligand-Polyrotaxane Conjugates on Multivalent Interaction, Ooya, T., Utsunomiya, H., Eguchi, M., Hirose, H., Sano, H., Mizutani, G. and

Yui,N., Controlled Release Society 2004 Annual Meeting, Honolulu, Hawaii, 2004/06/12  
 5. 二次非線形光学効果による 固体表面界面構造の観察(招待講演), 水谷五郎, ナノスピントロニクス の デザイン と 創製 に 関 す る 講 演 会, 阪 大 工, 2004/02/27

## 三宅 幹夫

マテリアルサイエンス研究科 教授(物性科学・極限素材)

### ◆著書

1. 有機機能性材料化学 —基本原理から応用原理まで—(原田明, 樋口弘行編), 第9章有機複合ナノ粒子の調製と特性, 三宅幹夫, 宮林恵子, 三共出版, 226-247, 2008
2. 炭素素材材料科学と材料設計VIII “金属ナノ粒子触媒を用いるカーボンナノチューブの調製”, 三宅幹夫, CPC研究会, 7-13, 2006
3. “Characterization of Constituents of Arabian Vacuum Residues by FT-ICR MS Coupled with Various Ionization Techniques” in ACS Symposium Series 895, Miyabayashi,K.,Naito,Y.,Tsujimoto,K.,Miyake,M., Amer.Chem.Soc., 19-37, 2005
4. 最新工業化学 第4章石炭化学, 炭素材料, 三宅幹夫, 講談社サイエンティフィック, 70-97, 2004
5. Metal Nanoparticle Superlattices, in Encyclopedia of Nanoscience and Nanotechnology, Teranishi,T., Miyake,M., American Scientific Publishers, 421-448, 2004
6. Electrochemical Functions (Chap.26), in Carbon Alloys, Miyake,M., Elsevier, 435-445, 2003

### ◆発表論文

1. Metal(II) Hexacyanochromate(III) MCr (M=Co, Cu, Fe) Coordination Nanoparticles Stabilized by Alkyl Surface Coordination Ligand: Downsizing Effect on Their Crystal Structure and Magnetic Properties, M. Arai, M. Yamada, and M. Miyake, J. Phys. Chem. C, 112(6), 1953-1962, 2008
2. Compositional Analysis of Deasphalted Oil before and After Hydrocracking over Zeolite Catalyst by Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance Mass Spectrometry, K. Miyabayashi, Y. Naitoh, M. Yamada, M. Miyake, M. Ushio, J. Fuchigami, R. Kuroda, T. Ida, K. Hayashida, H. Ishihara, Fuel Process. Technol., Vol. 89, 397-405, 2008
3. Control of Stripe and Hexagonal Self-assembly of Gold Nanoparticles by the Tuning of Interaction between Triphenylene Ligands, Z. Shen, M. Yamada, and M. Miyake, J. Amer. Chem. Soc., 129(46), 14271-14280, 2007
4. Simple Synthesis of Three Primary Color Nanoparticle Inks of Prussian Blue and Its Analogues, A. Gotoh, H. Uchida, M. Ishizaki, T. Satoh, T. Kaga, S. Okamoto, S. Ohta, M. Sakamoto, T. Kawamoto, T. Tanaka, H. Tokumoto, M. Hara, S. Shiozaki, M. Yamada, M. Miyake, and M. Kurihara, Nanotechnol., 8(34), 345609/1-6, 2007
5. Preparation of Single-crystalline Platinum Nanowires with Small Diameters under Mild Conditions, Shen,Z.,Yamada,M. and Miyake,M., Chem.Commun.(hot paper), 245-247, 2007
6. 北陸先端大 活性高い立方体Ptナノ微粒子作成・固体高分子型燃料電池用触媒に有望, 三宅幹夫, 日経ナノビジネス, 44, 27, 2006/08/28
7. 高性能燃料電池触媒を目指した立方体型Ptナノ微粒子の合成と粒子径制御, 山田真実, 三宅幹夫, 燃料電池, 5(3), 69-72, 2006
8. Synthesis and Electronic Properties of Trimeric Octaethylporphyrin (OEP) Derivative Connected with Diacetylene Linkage. A Comparative Study with Vynylene-group Connected OEP Trimer, Hayashi,N., Sato,M., Miyabayashi,K., Miyake,M. and Higuchi,H., Sci.Technol.Adv.Mater., 7, 237-242, 2006
9. Submicro- and Nanocrystals of Cyano-bridged FeLa Coordination Polymer in Reversed Micelle, Kondo,N., Nakajima,A., Kurihara,M., Yamada,M., Miyake,M., Mizukami,F. and Sakamoto,M., Chem.Lett., 35(11), 1302-1303, 2006
10. 金属ナノ粒子の構造・配列制御と触媒への展開(解説), 三宅幹夫, 触媒, 48(8), 604-609, 2006
11. 金ナノ粒子を使用した陶磁器用透明赤絵具の開発, 木村裕之, 中道俊久, 山田真実, 三宅幹夫, Electrochemistry, 74(4), 337-341, 2006
12. Self-assembly of Discotic Liquid Crystalline Molecule-modified Gold Nanoparticles: Control of 1D and Hexagonal Ordering Induced by Solvent Polarity, Yamada,M.,Shen,Z. and Miyake,M., Chem.Commun.(hot paper), 2569-2571, 2006
13. Synthesis and Diameter Control of Multi-walled Carbon Nanotubes over Gold Nanoparticle Catalysts, Yamada,M., Kawana,M. and Miyake,M., Appl.Catal.A General, 302, 201-207, 2006
14. 世界最小プラチナ立方体 1億分の1メートル合成に成功燃料電池低廉化に貢献, 三宅幹夫, 山田真実, 北國新聞, 1面トップ記事, 2005/08/24
15. Novel Synthetic Approach to Creating PtCo Alloy Nanoparticles by Reduction of Metal Coordination Nano-polymers, Yamada,M.,Maesaka,M., Kurihara,M.,Sakamoto,M. and Miyake,M., Chem.Commun., 4851-4853, 2005
16. Synthesis and Size Control of Pt Nanocubes with High Selectivity Using the Additive Effect of NaI, Yamada,M., Kon,S. and Miyake,M., Chem.Lett., 34(7),

- 1050-1051, 2005
17. Synthesis of Carbon Nanotubes over Gold Nanoparticles Supported Catalysts, S-Y.Lee,Yamada,M. and Miyake,M., Carbon, 43, 2654-2663, 2005
18. 貴金属ナノ粒子の化学と特異な物性, 堀秀信, 山本良之, 三宅幹夫, 化学と工業, 58(9), 1075-1077, 2005
19. Synthesis and Structural and Electronic Properties of the Octaethylporphyrin-dihexylbithiophene-fullerene Derivatives Connected with Diacetylene Linkage, Hayashi,N.,Naoo,A.,Miyabayashi,K.,Miyake,M.,Higuchi,H., Tetrahed.Lett., 46, 6961-6965, 2005
20. Synthesis of Carbon Nanotubes and Carbon Nanofilaments over Palladium Supported Catalysts, Lee,S-Y., Yamada,M., Miyake,M., Sci.Tchnol.Advan.Mater., 6, 420-426, 2005
21. Hexagonal Ring submicro- and Nanocrystals of a La-Hexacyanoferrate Coordination Polymer, Kondo,N., Kurihara,M., Yamada,M., Miyake,M., Nishijima,M., Ohsumi,T., Mizukami,F., Sakamoto,M., Chem.Lett., 34(4), 590-591, 2005
22. 異種金属イオンを架橋したナノ結晶を単離, 三宅幹夫, 山田真実, 荒井誠也, 日経ナノビジネス, 246, 8-9, 2004/12
23. ナノテクノロジーと伝統工芸～金ナノ粒子を用いた九谷焼赤絵具の開発, 三宅幹夫他, NHK「ニュース10」、NHK「お元気ですか日本列島」、NHK「ニュース石川610」にて放送, 2004/08
24. Structural Characterization of Polyaromatic Hydrocarbons in Arabian Mix Vacuum Residue by Electrospray Ionization Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance Mass Spectrometry, Miyabayashi,K., Naito,Y., Tsujimoto,K., Miyake,M., Int. J. Mass Spectrom., 235, 49-57, 2004
25. Synthesis and Isolation of Cobalt Hexacyanoferrate/Chromate Metal Coordination Nanopolymers Stabilized by Alkylamino Ligand with Metal Elemental Control, Yamada,M., Arai,M., Kurihara,M., Sakamoto,M., Miyake,M., J.Amer.Chem.Soc., 126(31), 9482-9483, 2004
26. Particle Size Control of 11-Mercaptoundecanoic Acid-Protected Au Nanoparticles by Using Heat-Treatment Method, Kim,K-H., Yamada,M., Park,D-W., Miyake,M., Chem. Lett., 33(3), 344-345, 2004
27. Size Evolution of Alkanethiol-protected Gold Nanoparticles by Heat-treatment in the Solid State, Shimizu,T., Teranishi,T., Hasegawa,S., Miyake,M., J.Phys.Chem.B., 107(12), 2719-2724, 2003

### ◆講演発表

1. Control of Shape and Self-assembly of Metal Nanoparticles (Invited), M. Miyake, The 14th Int. Display Work Shop, Sapporo, 2007/12
2. 構造制御した金属ナノ粒子の調製と触媒機能(招待講演), 三宅幹夫, 石油学会鹿児島大会, 鹿児島, 2006/11/30
3. Constituent Analysis of DAO Before and After Hydrocracking over Zeolite Catalyst by Ultra-high Resolution Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance Mass Spectrometry, Miyake,M., Miyabayashi,K., 15th Annual Saudi-Japan Symposium: Catalysis in Petroleum Refining & Petrochemicals (Invited Lecture), Saudi Arabia, 2005/11
4. Preopration and Catalytic Application of Structure-controlled Metal Nanoparticles, Miyake,M., 1st Asia-Oceania Ceramic Conference (Invited Lecture), Osaka, 2005/09
5. 構造制御した金属ナノ粒子の調製と触媒への展開, 三宅幹夫, 大阪大学基礎工学部特別講演会(特別講演), 大阪, 2005/07
6. 金属ナノ粒子を触媒として用いるカーボンナノチューブの合成, 三宅幹夫, 2005年度第3回CPC研究会(招待講演), 東京, 2005/07
7. 金属ナノ粒子を触媒として用いるカーボンナノチューブの合成, 三宅幹夫, 第85回黒鉛化合物研究会(特別講演), 福井, 2005/05
8. 分野横断型プロジェクトにおける研究と教育の実践, 三宅幹夫, JAIST-金沢大学研究交流会「21世紀COEプログラム知識科学に基づく科学技術の創造と実践」(依頼講演), 石川, 2005/03
9. 金属ナノ粒子の技術動向, 三宅幹夫, 関西TLO技術情報クラブ(招待講演), 京都, 2004/12
10. JAISTの科学技術開発と人材育成, 三宅幹夫, JAISTフォーラム2004「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」(招待講演), 金沢, 2004/11
11. Characterization of Arabian Vacuum Residue by Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance Mass Spectroscopy Equipped with Liquid Secondary Ionization, Miyake,M.,Miyabayashi,K., Naito,Y.,Tsujimoto,K., 54th Canadian Chemical Engineering Conf., Calgary, 2004/10
12. ナノテクノロジーによる金属制御技術に基づいた高活性触媒の開発, 三宅幹夫, 日本セラミックス協会第17回秋季シンポジウム(招待講演), JAIST, 2004/09
13. 金属ナノ粒子の色の不思議: 九谷焼?新しい色への挑戦, 三宅幹夫, ナノテクノロジー情報交換セミナー(主催:石川県 招待講演), 金沢, 2004/03
14. 金属ナノ粒子の粒径制御, 組織化, および, 機能開発, 三宅幹夫, 触媒学会第92回触媒討論会(招待講演), 徳島, 2003/09
15. Selective Detection of Aromatic Hydrocarbon Constituents with and without Nitrogen in Arabian Mix Vacuum Residue by FT-ICR Mass Spectroscopy Equipped with ESI, Miyake,M., Miyabayashi,K., Naito,Y., Tsujimoto,K., Int. Symp. Better Understanding and Utilization of Heavy Oil, Beijing, China, 2003/09

## 由井 伸彦

マテリアルサイエンス研究科 教授(機能科学・光機能材料)

### ◆著書

1. 絵で見てわかるナノDDS・細胞内分解性ポリロタキサン, 由井伸彦, メディカルドゥ, 99-105, 2007
2. Smart Nanoparticles in Nanomedicine, Chapter 7 Biofunctional Polyrotaxanes for Supramolecular Enhanced Biorecognition, Ooya Tooru, Yui Nobuhiko, Kentus Books, UK, 2006, 231-248
3. 環状・筒状超分子新素材の応用技術、ポリロタキサンドラッグデリバリー, 由井伸彦, シーエムシー出版, 2006, 99-109
4. 医療用マテリアルと機能膜、超分子バイオマテリアルによる新しい治療, 由井伸彦, シーエムシー出版, 2005, 307-315
5. 研究哲学, 由井伸彦, JAIST PRESS, 2005
6. バイオエンジニアリングマテリアル、超分子バイオコンジュゲーション, 由井伸彦, シーエムシー出版, 2005, 236-244
7. 機能性ロタキサン・カテナン, 村上裕人, 中嶋直敏, 由井伸彦, 超分子科学・ナノ材料創製に向けて, 中嶋直敏編, 化学同人, 2004, 223-232
8. Reflexive polymers and hydrogels, Yui,N., Nrsny,R. and Park,K.(eds), CRC, Boca Raton
9. 超分子バイオコンジュゲーション, 由井伸彦, バイオエンジニアリングマテリアル, 石原一彦編, フロンティア出版, 2004, 236-244
10. 智能型高分子材料, 由井伸彦, 池田太一, 新型高分子材料, 馬光輝編, 化学工业出版社, 2003, 1-33
11. インテリジェント材料、インテリジェント材料・技術の最新開発動向, 由井伸彦, 池田太一, インテリジェント材料・システムフォーラム編, シーエムシー, 2003, 15-23
12. 先端化学シリーズIII・バイオマテリアル設計における超分子のアプローチ, 由井伸彦, 丸善, 2003, 180-185

### ◆発表論文

1. Preparation of polypseudorotaxane consisting of fluorescent molecule-modified beta-cyclodextrins and biotin-terminated poly(propylene glycol) with high yield, Ito,A., Ooya,T., Yui,N., Journal of Inclusion Phenomena and Macrocyclic Chemistry, 57, 233-236, 2007
2. <sup>1</sup>H NMR titration study of stimuli-responsive supramolecular assemblies: inclusion complexes between PEG-b-PEI copolymer-grafted dextran and naphthalene-appended gamma-cyclodextrins via double-strand inclusion, Joung,Y.K., Choi,H.S., Ooya,T., Yui,N., Journal of Inclusion Phenomena and Macrocyclic Chemistry, 57, 323-328, 2007
3. Modulating Rheological Properties of Supramolecular Networks by Double-Axle Intrusion into gamma-Cyclodextrins, Joung,Y.K., Ooya,T., Yamaguchi,M., Yui,N., Advanced Materials, 19, 396-400, 2007
4. Bundling polymer chains into gamma-cyclodextrins for network formation, Kawabata,R., Katoono,R., Yamaguchi,M., Yui,N., Macromolecules, 40, 1011-1017, 2007
5. Polyrotaxane plasmid DNA Polyplex for Enhanced Gene Delivery, Ooya,T., Choi,H.S., Yamashita,A., Yui,N., Sugaya,Y., Kano,A., Maruyama,A., Akita,H., Kogure,K., Harashima,H., Journal of American Chemical Society, 128, 3852-3853, 2006
6. Molecular Recognition and Binding Property of Cyclodextrin-Conjugated Polyrotaxane, Choi,H.S., Takahashi,A., Ooya,T., Yui,N., ChemPhysChem, 7, 1668-1670, 2006
7. One-Pot Synthesis of a Polyrotaxane via Selective Threading of a PEI-b-PEG-b-PEI Copolymer, Choi,H.S., Ooya,T., Yui,N., Macromolecular Bioscience, 6, 420-424, 2006
8. Local application of danazol-loaded hyaluronic acid hydrogel to endometriosis in a rat model, Nomura,K., Murakami,K., Shozu,M., Nakama,T., Yui,N., Inoue,M., Fertil. Steril., 85, 1157-1167, 2006
9. Providing Natural Water Structure Surrounding Highly Mobile Maltose Groups Conjugated with Polyrotaxanes, Hirose,H., Sano,H., Mizutani,G., Eguchi,M., Ooya,T., Yui,N., Polymer Journal, 38, 10, 1093-1097, 2006
10. Synthesis of a bio-cleavable polyrotaxane-plasmid DNA (pDNA) polyplex and its use for the rapid non-viral pDNA to cell nuclei, Yamashita,A., Yui,N., Ooya,T., Kano,A., Maruyama,A., Akita,H., Kogure,K., Harashima,H., Nature Protocols, 1, 2861-2869, 2006
11. Molecular Mobility of Interlocked Structures Exploiting New Functions of Advanced Biomaterials, Yui,N., Ooya,T., Chemistry European Journal, 12, 6730-6737, 2006
12. Synthesis, Characterization and pH-Triggered Dethreading of alpha-Cyclodextrin Polyethylene Glycol Polyrotaxanes Bearing Cleavable 'Crick' Endcaps, S.Loethen, Ooya,T., Choi,H.S., Yui,N., Thompson,D.H., Biomacromolecules, 7, 2501-2506, 2006
13. pH-Sensitive Locomotion of Cyclodextrins in a Block-Selective Mobile Polyrotaxane, Choi,H.S., Hirasawa,A., Ooya,T., Kajihara,D., Hohsaka,T., Yui,N., ChemPhysChem, 7, 1671-1673, 2006
14. pH-Responsive Movement of Cucurbit[7]uril in a Dual Polypseudorotaxane, Ooya,T., Inoue,D., Choi,H.S., Kobayashi,Y., Loethen,S., Thompson,D.H., Kim,K., Yui,N., Organic Letters, 8, 3159-3162, 2006
15. Improved Cell Viability of Linear Polyethylenimine through gamma-Cyclodextrin Inclusion for Effective Gene Delivery, Yamashita,A., Choi,H.S., Ooya,T., Yui,N., Akita,H., Kogure,K., Chaki,S., Ito,R., Harashima,H., Chem Bio Chem, 7, 297-302, 2006
16. pH-Triggered Changes in Assembling Properties of beta-Cyclodextrin-Conjugated Poly(epsilon-lysine) Complexes, Choi,H.S., Ooya,T., K.M.Huh, Yui,N., Biomacromolecules, 6, 1200-1204, 2005
17. Temperature-controlled erosion of poly(N-isopropylacrylamide)-based hydrogels crosslinked by methacrylate-introduced hydrolyzable polyrotaxane, Ooya,T., Akutsu,M., Kumashiro,Y., Yui,N., Science and Technology of Advanced Materials, 6, 447-451, 2005
18. Preparation of alpha-Cyclodextrin-terminated Polyrotaxane Consisting of beta-Cyclodextrins and Pluronic as a Building Block of Biodegradable Network, Ooya,T.,Ito,A.,Yui,N., Macromolecular Bioscience, 5, 379-383, 2005
19. Synthesis of Poly(epsilon-lysine)-Grafted Dextrans and Their pH- and Thermosensitive Hydrogelation with Cyclodextrins, H.S.Choi, Yamamoto,K., Ooya,T., Yui,N., ChemPhysChem, 6, 2005
20. Block-Selective Movement of beta-Cyclodextrins in Polyrotaxanes of PEI-b-PEG-b-PEI Copolymer, H.S.Choi, S.C.Lee, Yamamoto,K., Yui,N., Macromolecules, 38, 9878-9881, 2005
21. Anticoagulant Supramolecular-Structured Polymers: Synthesis and Anticoagulant Activity of Taurin-Conjugated Carboxyethylster-Polyrotaxanes, Y.K.Joung, Sengoku,Y., Ooya,T., K.D.Park, Yui,N., Science and Technology of Advanced Materials, 6, 484-490, 2005
22. Rapid Binding of Concanavalin A and Maltose-Polyrotaxane Conjugates Due to Mobile Motion of alpha-Cyclodextrins Threaded onto a Poly(ethylene glycol), Ooya,T., Utsunomiya,H., Eguchi,M., Yui,N., Bioconjugate Chemistry, 16, 62-69, 2005
23. pH-Dependence of Polypseudorotaxane Formation between Cationic Linear Polyethylenimine and Cyclodextrins, H.S.Choi, Ooya,T., Kurisawa,M., Uyama,H., Yui,N., Macromolecules, 37, 6705-6710, 2004
24. 生体との多価相互作用を飛躍的に充進する超分子バイオマテリアルの設計, 由井伸彦, 表面科学, 25, 6-9, 2004
25. 超分子科学からのバイオマテリアル設計への挑戦, 由井伸彦, 化学工業, 55, 547-551, 2004
26. Design of Polyrotaxanes as Supramolecular Conjugates for Cells and Tissues, Yui,N.,Ooya,T., J.Artif.Organs, 7, 62-68, 2004
27. Spontaneous change of physical state from hydrogels to crystalline precipitates during polypseudorotaxane formation between polyethylenimine and  $\tau$ -cyclodextrins, H.S.Choi,Ooya,T.,Sasaki,S.,Yui,N.,Kurisawa,M.,Uyama,H., Kobayashi,S., ChemPhysChem, 5, 1431-1434, 2004
28. Poly(ethylene glycol) hydrogels cross-linked by hydrolyzable polyrotaxane containing hydroxyapatite particles as scaffolds for bone regeneration, Fujimoto,M.,I sobe,M., Yamaguchi,S., Amagasa,T., Watanabe,A., Ooya,T., Yui,N., J.Biomater.Sci.Polym.Edn., 15, 2004
29. Novel biodegradable cholesterol-introduced polyrotaxane hydrogels for cartilage regeneration, Tachaboonyakiat,W., Furubayashi,T., Kato,M., Ooya,T., Yui,N., J.Biomater.Sci.Polym.Edn., 15, 1389-1404, 2004
30. Sulfonated poly(ethylene glycol) containing methacrylate copolymer surfaces:preparation, characterization and in vitro biocompatibility, K.D.Park, H.D.Park, H.J.Lee, Y.H.Kim, Ooya,T., Yui,N., Macromol.Res., 12, 342-351, 2004
31. Controlling the mechanism of trypsin inhibition by the number of  $\tau$ -cyclodextrins in carboxyethylster-polyrotaxanes, Eguchi,M., Ooya,T., Yui,N., J.Controlled Release, 96, 301-307, 2004
32. Physicochemical Analysis of Cooperative Binding Between Cyclodextrin-Conjugated Poly( $\psi$ -lysine)s and Anionic Guest in Aqueous Media, H.S.Choi, K.M.Huh, Ooya,T., Yui,N., J.Phys.Chem.B, 108, 23, 7646-7650, 2004
33. The Effect of the Mobility of Ligands in Polyrotaxanes on Ordered Structure of Water Clusters, Hirose,H., Sano,H., Mizutani,G., Ooya,T., Yui,N., Langmuir, 20, 2852-2854, 2004
34. Dextran Hydrogels Containing Poly(N-Isopropylacrylamide) as Grafts and Cross-linkers Exhibiting Enzymatic Regulation at Specific Temperature Range, Kumashiro,Y., Ooya,T., Yui,N., Macromol.Rapid Commun., 25, 867-872, 2004
35. Temperature- and pH-Controlled Hydrogelation of Poly(Ethylene Glycol)-Grafted Hyaluronic Acid by Inclusion Complexation with  $\tau$ -Cyclodextrin, Nakama,T.,Ooya,T.,Yui,N., Polym.J., 36, 338-344, 2004
36. Effects of polyrotaxane structure on polyon complexation with DNA, Ooya,T.,Yamashita,A., Sugaya, Maruyama,A., Yui,N., Sci.Technol.Adv.Mater., 5, 363-369, 2004
37. Modulating Gelation Rate in  $\tau$ -Cyclodextrin and Poly(ethylene glycol)-grafted Hyaluronic Acid Solution System by Inclusion Complexation in Microphase-Separated Structure, Nakama,T., Ooya,T., Yui,N., Macromol. Rapid

- Commun, 25, 739-742, 2004
- 38 Structural Role of Guest Molecules in Rapid and Sensitive Supramolecular Assembling Systems based on  $\alpha$ -Cyclodextrin-Conjugated Poly( $\psi$ -lysine), H.S.Choi,Takahashi,A.,Ooya,T.,Yui,N., Macromolecules, 37, 10036-10041, 2004
39. Block-Selective Polypseudorotaxane Formation in PEI-b-PEG-b-PEI Copolymers via pH Variation, S.C.Lee,H.S.Choi,Ooya,T.,Yui,N., Macromolecules, 37, 7464-7468, 2004
40. Supramolecular control of hydrolytic erosion in poly(ethylene glycol) hydrogels by interlocked structure of polyrotaxanes, Ichi,T.,Ooya,T.,Yui,N., J.Biomater.Sci.Polym.Edn., 14,6, 567-580, 2003/06
41. 超分子バイオマテリアルによる生体との多価相互作用へのアプローチ, 由井伸彦, 月刊薬事, 45,7, 1269-1272, 2003
42. Preparation and Characterization of Polypseudorotaxanes Based on Biodegradable Poly(L-lactide)/Poly(ethylene glycol) Triblock Copolymers, H.S. Choi, Ooya,T., Sasaki,S, Yui,N., Ohya,Y., Nakai,T., Ouchi,T., Macromolecules, 36, 9313-9318, 2003
43. A study of compatibility between cells and biopolymeric surfaces through quantitative measurements of adhesive forces, Y.J.Kim, J.-W.Shin, K.D.Park, J.W.Lee, Yui,N., K.D.Park, K.S.Jee, J.K.Kim, J.Biomater.Sci.Polym.Edn., 14, 1311-1321, 2003
44. Control of rapid phase transition induced by supramolecular complexation of  $\alpha$ -cyclodextrin-conjugated poly( $\psi$ -lysine) with specific guest, H.S.Choi, Ooya,T., Yui,N., Macromolecules, 36, 5342-5347, 2003
45. Supramolecular design for multivalent interaction: high mobility of maltose groups in polyrotaxanes enhanced binding with Concanavalin A, Ooya,T., Eguchi,M., Yui,N., J.Am.Chem.Soc, 125, 13016-13017, 2003
46. pH- and thermo-sensitive supramolecular assembling system: rapidly responsive properties of  $\alpha$ -cyclodextrin-conjugated poly(epsilon-lysine), H.S.Choi, Ooya,T., Yui,N., J.Am.Chem.Soc., 125, 6350-6351, 2003
47. 超分子スキヤフォールド, 由井伸彦, 生体材料, 21, 3, 212-213, 2003
48. シクロデキストリンからなる分子チューブによる高分子包接錯体形成反応の熱力学的解説, 由井伸彦, 池田太一, 高分子加工, 52, 5, 215-220, 2003
- ◆講演発表
1. Supramolecular Approach using Polyrotaxanes Exploits Novel Functions as Biomaterials, YUI Nobuhiko, The First Symposium of Asia 3 Foresight Program on Gene Delivery, Xiamen,China, 2006/11/16
2. Supramolecular Polyrotaxanes Exploit New Design Concept for Non-Viral Gene Vectors, YUI Nobuhiko, The First FIP-APSTJ Joint Workshop on Gene Delivery, Sapporo,Japan, 2006/07/11
3. Supramolecular Challenges Exploiting New Functions of Biomaterials Regarding Cyclodextrins, YUI Nobuhiko, The Thirteenth International Cyclodextrin Symposium, Trino,Italy, 2006/05/16
4. Molecular Mobility of Interlocked Structures Exploiting New Functions of Advanced Biomaterials, YUI Nobuhiko, Gordon Resarch Conference on Organic Structures & Properties, Santa Barbara LA,USA, 2006/01/13
5. Supramolecular Biomaterials Exploiting New Strategy for DDS, YUI Nobuhiko, International Symposium on Soft-Nanotechnology 2005, Hokkaido University, 2005/06/21
6. Supramolecular Biomaterials Exploiting New Strategy for DDS, YUI Nobuhiko, International Symposium on Soft-Nanotechnology 2005, Sapporo,Japan, 2005/06/21
7. Polyrotaxanes Exploiting New Biomaterials Function: Supramolecular Mobility of Ligands Enhances Multivalent Binding With Biomolecules, YUI Nobuhiko, Gordon Research Conference on Supramolecules and Assemblies, Colby College, MA, USA, 2005/06/16
8. Supramolecular Challenge to Biomaterials Design, Yui,N., The 4th Asian International Symposium on Biomaterials, Tsukuba,Japan, 2004/11/18
9. Hydrophobically modified hyaluronic acid hydrogels for long term and local release of hormonal drugs, Kawabata,R., Ooya,T., Yui,N., Sato,I., Nakama,T., Nomura,K., Murakami,K., Inoue,M., 4th Asian International Symposium on Biomaterials, Tsukuba International Congress Center, Japan, 2004/11/16-18
10. Design of polyrotaxane-type gene carrier forming and dissociating polyplex in synchronization with supramolecular formation and dissociation, Ooya,T., Yoshihiro,A., Yamashita,A., Yui,N., Sugaya,Y., Maruyama,A., 4th Asian International Symposium on Biomaterials, Tsukuba International Congress Center, Japan, 2004/11/16-18
11. ホルモン剤の長期的な局所徐放を目指した疎水性ヒアルロン酸ゲルの特性評価, 河端良二, 大谷亨, 由井伸彦, 名嘉真剛, 佐藤郁夫, 野村一人, 村上弘一, 井上正樹, 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2004 第11回つくばバイオマテリアル研究会, つくば国際会議場エポカール, 2004/11/15-16
12. 超分子形成と解離に同調して複合体形成・解離するポリロタキサン型遺伝子キャリアーの設計, 大谷亨, 吉廣淳人, 山下敦, 由井伸彦, 菅谷祐子, 丸山厚, 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2004 第11回つくばバイオマテリアル研究会, つくば国際会議場エポカール, 2004/11/15-16
13. ポリロタキサン構造に着目した生体分子間相互作用, 大谷亨, 由井伸彦, 第6回リング・超分子シンポジウム, 産業技術総合研究所, 2004/10/21
14. Supramolecular Mobility Exploiting New Functions of Biomaterials, Yui,N., 2004 Taiwan-Japan Advanced Biomaterials Symposium, Taipei,Taiwan, 2004/10/04
15. Supramolecular Design for Enhancing Biological Interaction, Yui,N., The 1st International SBE Conference on Bioengineering and Nanotechnology, Singapore, 2004/09/28
16. Design of supramolecular guest molecules for stimuli-responsive hydrogels, H.S.Choi,Ooya,T.,S.C.Lee,Kurisawa,M.,Yui,N., The First international SBE Conference on Bioengineering and Nanotechnology (ICBN2004), Biopolis, Singapore, 2004/09/26-29
17. 超分子ホストを用いたペプチド鎖の選択的認識システム, 高橋明裕, Hako Soo Choi, 大谷亨, 由井伸彦, 第53回高分子討論会, 北海道大学高等教育機能開発総合センター, 2004/09/16-17
18. Stimuli-responsive supramolecular hydrogel systems via cooperative intermolecular interactions, Hak Soo Choi, Takahashi,Akihiro, Yamamoto,Kaori., Ooya,Tooru., Sasaki,Shintaro., Yui,Nobuhiko., 第53回高分子討論会, 北海道大学高等教育機能開発総合センター, 2004/09/16-17
19. Controlled erosion time of hydrogels by temperature-modulated inclusion complexation between cyclodextrin and ester linkage in polyrotaxane crosslinks, Ooya,T., Akutsu,M., Kumashiro,Y., Yui,N., JAIST International Symposium: Nanotechnology 2004, Ishikawa,Japan, 2004/09/09-10
20. Supramolecular-Structured Molecular Assemblies as Reflexive Polymers, Yui,N., JAIST International Symposium on Nano Technology 2004, Tatsunokuchi,Japan, 2004/09/09
21. Hydrolyzable polyrotaxanes consisting of  $\beta$ -cyclodextrins and Pluronic for drug delivery, Ito,A.,Ooya,T.,Yui,N., The 2004 International Conference on MEMS, NANO, and Smart Systems, Banff, Alberta,Canada, 2004/08/25-24
22. Supramolecular Design of Polyrotaxanes as Advanced Nano-Biomaterials, Yui,N., The 2004 International Conference on MEMS, NANO, and Smart Systems, Banff,Canada, 2004/08/25
23. Antithrombogenic Properties of Both Sulfonyl and Carboxyl Groups-Introduced Polyrotaxanes, Yoon Ki Joung, 千石洋一, 大谷亨, 由井伸彦, Ki Dong Park, 第33回医用高分子シンポジウム, 上智大学, 2004/07/26-27
24. マルトース-ポリロタキサン結合体とCon Aとの多価相互作用における水のクラスター構造との関連, 宇都宮英人, 江口優, 広瀬博幸, 佐野陽之, 水谷五郎, 大谷亨, 由井伸彦, 第33回医用高分子シンポジウム, 上智大学, 2004/07/26-27
25. ジスルフィド結合を有するカチオン性ポリロタキサンによるDNAの放出制御と遺伝子キャリアーとしての評価, 大谷亨, 吉廣淳人, 山下敦, 由井伸彦, 菅谷祐子, 丸山厚, 第33回医用高分子シンポジウム, 上智大学, 2004/07/26-27
26. 生分解性ポリロタキサンの遺伝子導入活性, 狩野有宏, 菅谷祐子, 大谷亨, 吉廣淳人, 山下敦, 赤池敏宏, 丸山厚, 由井伸彦, 第20回日本DDS学会, 京王プラザホテル, 2004/07/15-16
27. Design of Erosion Time-controllable Hydrogels using Polyrotaxanes for cartilage tissue engineering, Ooya,T.,Tachaboonyakiat,W.,Kato,M,h,Kurushima, T.,Yui,N., 43rd Microsymposium Polymer Biomaterials: Biomimetic and Bioanalogous System, Inst.Macromol.Chem., Academy of Sciences of The Czech Republic, Prague, Czech Republic, 2004/07/11-15
28. Multivalent molecular recognition based on fast sliding motion of saccharide-polyrotaxane conjugates, Ooya,T.,Utsunomiya,H.,Eguchi,M.,Yui,N., 43rd Microsymposium Polymer Biomaterials: Biomimetic and Bioanalogous System, Inst.Macromol.Chem., Academy of Sciences of The Czech Republic, Prague, Czech Republic, 2004/07/11-15
29. Long-term erosion of swollen hydrogels crosslinked by hydrolyzable polyrotaxanes, Muramatsu,H., Miyamoto,S., Ichi,T., Ooya,T., Yui,N., 31th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society, Honolulu,Hawaii, 2004/06/12-16
30. Thermodynamic advantage of ligand-polyrotaxane conjugates on multivalent interaction, Ooya,T., Utsunomiya,H., Eguchi,M., Hirose,H., Sano,H., Mizutani,G., Yui,N., 31th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society, Honolulu,Hawaii, 2004/06/12-16
31. DNA release triggered by supramolecular dissociation of cationic and reducible polyrotaxanes, Ooya,T., Yoshihiro,A., Yamashita,A., Yui,N., Maruyama,A., 31th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society, Honolulu,Hawaii, 2004/06/12-16
32. Solubility enhancement of paclitaxel by PEGylated polyglycerol dendrimers, Ooya,T., J.Lee, Park,K., 31th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society, Honolulu,Hawaii, 2004/06/12-16
33. 高分子量加水分解性ポリロタキサンからなるヒドロゲルの分解挙動の解析, 村松英信, 宮本慎平, 大谷亨, 由井伸彦, 第53回高分子年次大会, 神戸国際会議場, 2004/05/25-27
34. ジスルフィド結合を有するアミノ化ポリロタキサンの合成とDNA複合化機能の解析, 大谷亨, 山下敦, 吉廣淳人, 菅谷祐子, 丸山厚, 由井伸彦, 第53回高分子年次大会, 神戸国際会議場, 2004/05/25-27
35. Synthesis and anticoagulant activity of anionic polyrotaxanes with heparin-

- like activity, Joung Yoonki, 千石洋一、大谷亨、Park Ki Dong、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
36. PEGグラフト化多糖のマイクロ相分離を利用した迅速なシクロデキストリン包接特性、名嘉真剛、大谷亨、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
37. シクロデキストリン-ポリ(e-リジン)結合体による各種アミノ酸誘導体認識の解析、高橋明裕、崔学秀、大谷亨、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
38. ポリ(e-リジン)をグラフトしたデキストランの合成とシクロデキストリンの包接特性の解析、山本かおり、崔学秀、大谷亨、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
39. b-シクロデキストリンとブルロニックとからなる加水分解性ポリロタキサンとの合成とその分解特性の解析、伊藤彰浩、大谷亨、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
40. シクロデキストリンがチューブ状に配向したゲルによる長鎖アルキル基認識、大谷亨、小林紀智、一貴浩、佐々木伸太郎、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
41. マルトース-ポリロタキサン結合体とCon Aとの多価相互作用増強機構、大谷亨、宇都宮英人、江口優、広瀬博章、佐野陽之、水谷 五郎、由井伸彦、第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
42. pH-dependent polypseudorotaxane formation based on cationic linear polyethylenimine with alpha- or gamma-cyclodextrins, Hak Soo Choi, OUYA Tooru, Sasaki Shintaro, Kurisawa Motoichi, Uyama Hiroshi, Kobayashi Shiro, YUI Nobuhiko, 第53回高分子年次大会、神戸国際会議場、2004/05/25-27
43. Interlocked structure of ligand-polyrotaxane conjugates for enhancing multivalent interaction, Utsunomiya, H., Ooya, T., Eguchi, M., Yui, N., 7th World Biomaterials Congress, Sydney Convention & Exhibition Centre, Sydney, Australia, 2004/05/17-21
44. Supramolecular approach to controlled degradation of biodegradable scaffolds, Ooya, T., Frubayashi, T., Tachaboonyakiat, W., Kato, M., Kurushima, T., Yui, N., 7th World Biomaterials Congress, Sydney Convention & Exhibition Centre, Sydney, Australia, 2004/05/17-21
45. Supramolecular Design for Multivalent Biding with Biological Systems, Yui, N., The 3rd International Symposium on NT-IT-BT and Polymers, Gwangju, Korea, 2004/03/04
46. シクロデキストリンとエステル結合の包接に基づいた加水分解性ポリロタキサンヒドロゲルの分解制御機構、大谷亨、一貴浩、由井伸彦、高分子学会九州支部フォーラム リング・チューブ超分子シンポジウム、長崎大学総合教育研究棟多目的ホール、2004/01/23
47. Polyion complexes induced by dual cooperative interactions between cyclodextrin-conjugated poly(epsilon-lysine) and a specific guest, Hak Soo Choi, OUYA Tooru, Maekawa Masashige, Sasaki Shintaro, YUI Nobuhiko, 高分子学会九州支部フォーラム リング・チューブ超分子シンポジウム、長崎大学総合教育研究棟多目的ホール、2004/01/23

## 岩崎 秀夫

マテリアルサイエンス研究科 准教授(物性科学・伝導性材料)

### ◆発表論文

- Weak Magnetic Order in the Normal State of the High-Tc Superconductor La<sub>2-x</sub>Sr<sub>x</sub>CuO<sub>4</sub>, Majoros, M., Panagopoulos, C., Nishizaki, T. and Iwasaki, H., Phys. Rev. Lett., 96, 047002-1, 2006/02/03
- Non-equilibrium Phenomenon between Electron and Lattice Systems Induced by the Peltier Effect, Iwasaki, H., Hori, H. and Sasaki, S., Jap. J. Appl. Phys. 44 (2005) L1141
- Thermoelectric Property Measurements by the Improved Harman Method, Iwasaki, H. and Hori, H., Proc. 24th Int. Conf. on Thermoelectrics (2005) 498-502
- Important Role of Josephson-Vortex Pinning in the Mixed State Properties in Oxygen-Controlled YBCO Single Crystals, Haragichi, S., Niito, A. T. and Iwasaki, H., J. Phys. Soc. Jpn. 74 (2005) 3365-3369
- Non-equilibrium phenomenon between electron and lattice systems induced by the Peltier effect, Iwasaki, H., Hori, H. and Sasaki, S., Jpn. J. Appl. Phys. 44 (2005) L1141, 44, L1141, 2005
- Thermomagnetic Hysteretic Properties resembling Superconductivity in the Normal State of La<sub>1.85</sub>Sr<sub>0.15</sub>CuO<sub>4</sub>, Majoros, M., Panagopoulos, C., Nishizaki, T. and Iwasaki, H., Phys. Rev. B 72 (2005) 024528
- Control of Carrier Concentration in n-type Hot-pressed Bi<sub>1.8</sub>Sb<sub>0.2</sub>Te<sub>3</sub> Alloys, H. J. Im, D. H. Kim, J. S. Ahn, Iwasaki, Sano, H. S., K. C. Je and Mitani, T., Jpn. J. Appl. Phys. 43 (2004) 3548-3551
- Anomalous Vortex Liquid-to-glass Transition in Twinned YBa<sub>2</sub>Cu<sub>3</sub>O<sub>7-δ</sub>, Niito, A. T., Iwasaki, H., Nishizaki, T. and Kobayashi, N., Phys. Rev. B 70 (2004) 014515
- Non-equilibrium and Non-linear Stationary State in Thermoelectric Materials, Iwasaki, H., Koyano, M., Yamamura, Y. and Hori, H., Solid State Communications, 130, 507-510, 2004
- Vortex Slush Regime in the Josephson Vortex Phase Diagram of 60-K Single Crystals, Niito, A. T., Iwasaki, H., Nishizaki, T. and Kobayashi, N., Phys. Rev. B 68 (2003) 224516-1-6
- ハーマン法による熱電材料の物性測定、岩崎秀夫、小矢野幹夫、堀秀信、固体物理, 38, 2003, 871-879
- Control of the Figure of Merit by the Anti-site Defect in Thermoelectric Materials (Bi, Sb)<sub>2</sub>Te<sub>3</sub>, Iwasaki, H., A. Ohishi, Kajihara, T. and Sano, S., Jpn. J. Appl. Phys. 42 (2003) 5477-5479
- Evaluation of the Figure of Merit of Thermoelectric Modules by Harman Method, Iwasaki, H., Yokoyama, S., Tsukui, T., Koyano, M. and Hori, H., Jpn. J. Appl. Phys. 42 (2003) 3707-3708

## 高村 禪

マテリアルサイエンス研究科 准教授(機能科学・生体機能材料)

### ◆著書

- 高機能・高集積化を目指したバイオチップ技術、高村禪、生物工学会誌, 8(8), 日本生物工学会, 2005, 384-387

- マイクロ化学チップの技術と応用、高村禪、丸善株式会社, 2004, 185-192

### ◆発表論文

- Label-free protein biosensor based on aptamer-modified carbon nanotube field-effect transistors, Kenzo Maehashi, Taiji Katsura, Kazuhiko Matsumoto, Kagan Kerman, Yuzuru Takamura, and Eiichi Tamiya, Analytical Chemistry, 79, 782-787, 2007
- Single-walled carbon nanotube-arrayed microelectrode chip for electrochemical analysis, Jun Okuno, Kenzo Maehashi, Kazuhiko Matsumoto, Kagan Kerman, Yuzuru Takamura, and Eiichi Tamiya, Electrochemistry Communications, 9, 13-18, 2007
- An electrochemical on-field sensor system for the detection of compost maturity, Miyuki Chikae, Kagan Kerman, Naoki Nagatani, Yuzuru Takamura, and Eiichi Tamiya, Anal. Chim. Acta, 581, 364-369, 2007
- Novel electrochemical identification and semi quantification of bovine constituents in feedstuffs, Piyasak Chaumpluk, Chikae Miyuki, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Science and Technology of Advanced Materials, 7, 3, 263-269, 2006
- A new design of knife-edged AFM probe for chromosome precision manipulating, Saito Masato, Nakagawa Kazuhisa, Yamanaka Kiichiro, Takamura Yuzuru, Hashiguchi Gen, Tamiya Eiichi, Sensors and Actuators A, 130-131, 606-624, 2006
- A novel enhancement assay for immunochromatographic test strips using gold nanoparticles, Tanaka Ryo, Yuhi Teruko, Nagatani Naoki, Endo Tatsuro, Kagan Kerman, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Anal. Bioanal. Chem, 385, 8, 1414-1420, 2006
- Label-free electrochemical immunoassay for the detection of human chorionic gonadotropin hormone, Kagan Kerman, Nagatani Naoki, Chikae Miyuki, Yuhi Teruko, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Anal. Chem, 78, 15, 5612-5616, 2006
- Electrochemical Genosensor Based on Peptide Nucleic Acid-Mediated PCR and Asymmetric PCR Techniques: Electrostatic Interactions with a Metal Cation, Kagan Kerman, Mun'delanji Vestergaard, Nagatani Naoki, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Anal. Chem., 78, 7, 2182-2189, 2006
- Constraining the connectivity of neuronal networks cultured on microelectrode arrays with microfluidic techniques: A step towards neuron-based functional chips, Fabrice Morin, Naoki Nishimura, Laurent Griscom, Bruno Lepoufle, Fujita Hiroyuki, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Biosensors and Bioelectronics, 21, 7, 1093-1100, 2006
- Resin-based micropipette tip for immunochromatographic assays in urine samples, Yuhi Teruko, Nagatani Naoki, Endo Tatsuro, Kagan Kerman, Takata Masayuki, Konaka Hiroyuki, Namiki Mikio, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Journal of Immunological Methods, 312, 1-2, 54-60, 2006
- Direct fabrication of catalytic metal nanoparticles onto the surface of a screen-printed carbon electrode, Chikae Miyuki, Idegami Koutarou, Kagan Kerman, Nagatani Naoki, Ishikawa Mitsuyoshi, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Electrochemistry Communications, 8, 1375-1380, 2006
- Development of a compact high-density microbial hydrogen reactor for portable bio-cell system, Ishikawa Mitsuyoshi, Yamamura Shouhei, Takamura Yuzuru, Sode Koji, Tamiya Eiichi, Tomiyama Masamitsu, International Journal of Hydrogen Energy, 31, 1484-1489, 2006
- Gold nanoparticle based immunochromatography using a resin modified micropipette tip for rapid and simple detection of human chorionic gonadotropin hormone and prostate-specific antigen, Yuhi Teruko, Nagatani Naoki, Tatsuro Endo, Kagan Kerman, Takata Masayuki, Konaka Hiroyuki, Namiki Mikio, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, Science and Technology of Advanced Materials, 7, 276-281, 2006

14. Gold nanoparticle-based novel enhancement method for the development of highly sensitive immunochromatographic test strips, Nagatani Naoki, Tanaka Ryou, Yuhi Teruko, Tatsuro Endo, Kagan Kerman, Takamura Yuzuru and Tamiya Eiichi, *Science and Technology of Advanced Materials*, 7,3, 270-275, 2006
  15. Detection of DNA Hybridization Properties Using Thermodynamic Method, Do-Kyun KIM, Young-Soo Kwon, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Japanese Journal of Applied Physics*, 45,1B, 509-512, 2006
  16. A rapid label-free electrochemical detection kinetic study of Alzheimer's Amyloid-beta aggregation, Vestergaard, M., Kerman, K., Saito, M., Nagatani, M., Takamura, Y., Tamiya, E., *J. Am. Chem. Soc.*, 127, 11892-11893, 2005
  17. Investigating Neuronal Activity with Planar Microelectrode Arrays : Achievements and New Perspectives, Fabrice O. Morin, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Journal of Bioscience and Bioengineering*, 100,2, 131-143, 2005
  18. Localized surface plasmon resonance based optical biosensor using surface modified nanoparticle layer for label-free monitoring of antigen-antibody reaction, Tatsuro Endo, Shohei Yamamura, Nagatani Naoki, Yasutaka Morita, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Science and Technology of Advanced Materials*, 6, 491-500, 2005
  19. Label-free detection of peptide nucleic acid-DNA hybridization using localized surface plasmon resonance based optical biosensor, Endo, T., Yamamura, S., Nagatani, N., Takamura, Y., Tamiya, E., *Analytical Chemistry* 2005, 77, 6976-6984, 2005
  20. Peptide Nucleic Acid Modified Carbon Nanotube Field-Effect Transistor for Ultra Sensitive Real-Time Detection of DNA Hybridization, Kerman, K., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., Maehashi, K., Matsumoto, K., *Nano Biotechnology*, 1,1, 65-70, 2005
  21. Fluorescence-based assay with enzyme amplification on a micro-flow immunosensor chip for monitoring coplanar polychlorinated biphenyls, Tatsuro Endo, Akira Okuyama, Yasutaka Matsubara, Kazuo Nishi, Masaaki Kobayashi, Yamamura Shouhei, Yasutaka Morita, Takamura Yuzuru, Haruki Mizukami, Tamiya Eiichi, *Analytica Chimica Acta*, 531, 7-13, 2005
  22. Escherichia coli Single-strand binding protein-DNA interactions on carbon nanotube-modified electrodes from a label-free electrochemical hybridization sensor, Kerman Kagan, Morita Yasutaka, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Anal Bioanal Chem*, 381, 1114-1121, 2005
  23. Separation of Long DNA Molecules by Quartz Nanopillar Chips under a Direct Current Electric Field, Kaji, N., Tezuka, Y., Takamura, Y., Ueda, M., Nishimoto, T., Nakanishi, H., Horiike, Y., Baba, Y., *Anal. Chem.*, 76, 15-22, 2004
  24. Modification of Escherichia coli single-stranded DNA binding protein with gold nanoparticles for electrochemical detection of DNA hybridization, Kerman, K., Morita, Y., Takamura, Y., Ozsoz, M., Tamiya, E., *Anal. Chim. Acta*, 510, 169-174, 2004
  25. On-Chip Nanoliter-Volume Multiplex TaqMan Polymerase Chain Reaction from A Single Copy Based on Counting Fluorescence Released Microchambers, Matsubara, Y., Kerman, K., Kobayashi, M., Yamamura, S., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., *Anal. Chem.*, 76, 6434-6439, 2004
  26. Curvature entropy trapping of long DNA under hydrodynamic flows in microfluidic devices, Ueda, M., Hayama, T., Takamura, Y., Horiike, Y., Dotera, T., Baba, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.*, 43, 1649-1650, 2004
  27. Concentration and injection of long deoxyribonucleic acid molecules at the interface of micro- and nano-channels, Ueda, M., Takamura, Y., Horiike, Y., Baba, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.*, 43, 4417-4418, 2004
  28. DNA-directed attachment of carbon nanotubes for enhanced label-free electrochemical detection of DNA hybridization, Kagan Kerman, Yasutaka Morita, Takamura Yuzuru, Mehmet Ozsoz, Tamiya Eiichi., *Electroanalysis*, 16,20, 1667-1672, 2004
  29. DNA Condensation Monitoring after Interaction with Hoechst 33258 by Atomic Force Microscopy and Fluorescence Spectroscopy, Saito Masato, Kobayashi Masaaki, Iwabuchi Shin-ichiro, Morita Yasutaka, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *The Japanese Biochemical Society*, 136, 813-823, 2004
  30. Ultrasensitive detection of DNA hybridization using carbon nanotube field-effect transistors, Maehashi, K., Matsumoto, K., Kerman, K., Takamura, Y., Tamiya, E., *Jpn. J. Appl. Phys.* [2] Lett., 43, L1558-L1560, 2004
  31. Electrophoresis of long deoxyribonucleic acid in curved channels: The effect of channel width on migration dynamics, Ueda, M., Hayama, T., Takamura, Y., Horiike, Y., Dotera, T., Baba, Y., *J. Appl. Phys.*, 96, 2937-2944, 2004
  32. On-chip micro-flow polystyrene bead-based immunoassay for quantitative detection of tacrolimus (FK506), Murakami, Y., Endo, T., Yamamura, S., Nagatani, N., Takamura, Y., Tamiya, E., *Anal. Biochem.*, 334, 111-116, 2004
  33. Electrochemical Coding of Single-Nucleotide Polymorphisms By Monobase-Modified Gold Nanoparticles, Kerman, K., Saito, M., Morita, Y., Takamura, Y., Ozsoz, M., Tamiya, E., *Anal. Chem.*, 76, 1877-1884, 2004
  34. Peptide nucleic acid modified magnetic beads for intercalator based electrochemical detection of DNA hybridization, Kerman, K., Matsubara, Y., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., *Sci. Technol. Adv. Mater.*, 5, 351-357, 2004
  35. Label-free electrochemical detection of DNA hybridization on gold electrode, Kerman, K., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., *Electrochem. Comm.*, 5, 887-891, 2003
  36. Development of silicon microchamber array for multiple DNA amplification and detection, Matsubara, Y., Kobayashi, M., Morita, Y., Takamura, Y., Tamiya, E., *Chem. Sensors*, 19, 2003
  37. Biocompatibility in microfluidic devices, Takamura, Y., *Baio Indasutori*, 20, 52-58, 2003
  38. Fluorescence modulation of long DNA molecules adsorbed onto a microelectrode surface, Ueda, M., Takai, M., Taniguchi, K., Takamura, Y., Horiike, Y., Baba, Y., *Appl. Phys. Lett.*, 83, 5086-5088, 2003
  39. Fluorescence emission control of long DNA molecules adsorbed on microelectrode surfaces by external voltage, Ueda, M., Taniguchi, K., Takamura, Y., Horiike, Y., Baba, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.* [2] Lett., 42, L788-L790, 2003
  40. Low-voltage electroosmosis pump for stand-alone microfluidics devices, Takamura, Y., Onoda, H., Inokuchi, H., Adachi, S., Oki, A., Horiike, Y., *Electrophoresis*, 24, 185-192, 2003
  41. Healthcare chip for checking health condition from analysis of trace blood collected by painless needle, Oki, A., Takai, M., Ogawa, H., Takamura, Y., Fukasawa, T., Kikuchi, J., Ito, Y., Ichiki, T., Horiike, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.*, 42, 3722-3727, 2003
  42. Biochip which examines hepatic function by employing colorimetric method, Oki, A., Ogawa, H., Takamura, Y., Horiike, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.* [2] Lett., 42, L342-L345, 2003
  43. Low-voltage electroosmosis pump for stand-alone microfluidics devices, Takamura, Y., Onoda, H., Inokuchi, H., Adachi, S., Oki, A., Horiike, Y., *Electrophoresis*, 24, 185-192, 2003
  44. Fluorescence Emission Control of Long DNA Molecules Adsorbed on Micro electrode Surfaces by External Voltage, Ueda, M., Taniguchi, K., Takamura, Y., Horiike, Y., Baba, Y., *Jpn. J. Appl. Phys.* [2] Lett., 42, L788-L790, 2003
- ◆講演発表
1. A single human chromosome manipulation and gene detection via trace volume PCR amplification using microtweezer probe and microchamber array, Saito Masato, Nakagawa Kazuhisa, Takekawa Tetsuya, Yamanaka Keiichiro, Takamura Yuzuru, Hashiguchi Gen, Tamiya Eiichi, *Microtas2006*, Tokyo, 2006/11/05-09
  2. Microfabrication of encoded microparticle arrays for miniaturized and multiplexed single nucleotide polymorphism detection, Zheng-liang Zhi, Yamamura Shouhei, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Microtas2006*, Tokyo, 2006/11/05-09
  3. Development of a gold-capped nanoparticle layer-based optical biosensor for label-free detection of biomolecular interaction studies, Do-Kyun Kim, Mihn Heip Ha, Endo Tatsuro, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, *Microtas2006*, Tokyo, 2006/11/05-09
  4. Label-Free Electrochemical Biosensor Based on Carbon Nanotubes, Kerman Kagan, Maehashi Kenzo, Yamamura Shohei, Takamura Yuzuru, Matsumoto Kazuhiko, Tamiya Eiichi, 第58回日本生物工学会, 大阪大学, 2006/09/11-13
  5. ナノリッターチャンバーアレイを用いた一細胞PCRと遺伝子検出, 齊藤真人, 山村昌平, 高村禪, 橋口原, 高林晴夫, 民谷栄一, 第58回日本生物工学会, 大阪大学, 2006/09/11-13
  6. Development of highly sensitive immunochromatographic test strip, Nagatani Naoki, Tanaka Ryou, Yuhi Teruko, Endo Tatsuro, Kerman Kagan, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, 20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress, Kyoto, 2006/06/18-23
  7. Label-free protein biosensor based on aptamer-modified carbon nanotube field-effect transistors, Maehashi, K., Katsura, T., Matsumoto, K., Kerman, K., Takamura, Y., Tamiya, E., *BIOSENSORS 2006*, Canada, 2006/05/10-12
  8. Immunomagnetic assay based on the intrinsic electro-activity of proteins, Kerman, K., Nagatani, N., Chikae, M., Yuhi, T., Takamura, Y., Tamiya, E., *BIOSENSORS 2006*, Canada, 2006/05/10-12
  9. Label-free cell assay chip based on localized surface plasmon for analyzing cellular signals, Endo, T., Yamamura, S., Takamura, Y., Tamiya, E., *BIOSENSORS 2006*, Canada, 2006/05/10-12
  10. 14超高感度タンパク検出用非標識電気化学イムノアッセイ, ケルマンカーン, 高村禪, 民谷栄一, 奥野潤, 前橋兼三, 松本和彦, 第53回応用物理学関係連合講演会, 武蔵工業大学, 2006/03/22-26
  11. Micro-capillary based immunosensor, Nagatani, N., Yuhi, T., Endo, T., Takamura, Y., Tamiya, E., *PACIFICHEM 2005*, Hawaii, 2005/12/15-20
  12. Novel high-throughput screening and analysis for dioxin-specific single B-cell using microarray, Yamamura, S., Sathuluri, R., Omori, M., Takamura, Y., Tamiya, E., *PACIFICHEM 2005*, Hawaii, 2005/12/15-20
  13. Microfluidic devices for selective single B-cell sorting, screening and analysis in the nano and picoliter volume compartments, Sathuluri, R., Yamamura, S., Takamura, Y., Tamiya, E., *PACIFICHEM 2005*, Hawaii, 2005/12/15-20
  14. Novel electrochemical identification and quantification of bovine species in

- feedstuffs, Chaumpluk,P., Chikae,M., Takamura,Y., Tamiya,E., Nano Technology 2005, JAPAN (JAIST), 2005/09/15-17
15. A new design of knife-edged AFM probe for nanomanipulation of DNA and chromosome, Saito,M.,Nakagawa,K.,Yamanaka,K.,Takamura,Y.,Hashiguchi,G., Tamiya,E., Nano Technology 2005, JAPAN (JAIST), 2005/09/15-17
16. Development of a rapid immunoanalysis using immunochromatographic micropipette Tip, Yuhi,T., Nagatani,N., Endo,T., Kagan,K., Takada,M., Konaka, Namiki,M., Takamura,Y., Tamiya,E., Nano Technology 2005, JAPAN (JAIST), 2005/09/15-17
17. Direct Ultrasensitive DNA Sensors Based on Carbon Nanotube Field-Effect Transistors, Maehashi Kenzo, Matsumoto Kazuhiko, Kerman Kagan, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, STATE DEVICES AND MATERIALS (SSDM), KOBE, 2005/09/13-15
18. Development of DNA chip nanoarray by Fluidic Self-assembly method for Detection of DNA Hybridization, Do-Kyun Kim, Young-Soo Kwon, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, SOLID STATE DEVICES AND MATERIALS (SSDM), KOBE, 2005/09/13-15
19. マルチカーボンナチューブ電極を用いたバイオセンシング, Kagan Kerman, 奥野潤, 前橋兼三, 松本和彦, 高村禪, 民谷栄一, 第66回応用物理学学会学術講演会, 徳島大学, 2005/09/07-11
20. カーボンナチューブ電極の作製と生体分子計測への応用, 奥野潤, 前橋兼三, 松本和彦, Kagan Kerman, 高村禪, 民谷栄一, 第66回応用物理学学会学術講演会, 徳島大学, 2005/09/07-11
21.  $\beta$  アミロイド凝集の非標識電気化学検出, Mun'delanji Vestergaard, Kagan Kerman, 斉藤真人, 永谷尚紀, 高村禪, 民谷栄一, 2005年電気化学秋季大会, 千葉大学工学部, 2005/09/08-09
22. AFMを用いたDNA-Bisbenzimidazole凝集プロセスの1分子スケール液中経時観察, 斉藤真人, 高村禪, 民谷栄一, 2005年電気化学秋季大会, 千葉大学工学部, 2005/09/08-09
23. A NEW DESIGN OF KNIFE EDGED-AFM PROBE FOR CHROMOSOME PRECISION MANIPULATING, Saito Masato, Nakagawa Kazuhisa, Yamanaka Kiichiro, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, The 13th international conference on solid-state sensors, actuators and Microsystems, KOREA, 2005/06/05-09
24. 定量的免疫検出のためのゲル電気泳動デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 第11回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 福岡国際会議場, 2005/04/23-24
25. 定量的免疫検出のためのゲル電気泳動分離デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 電気化学会第72回大会, 熊本大学工学部, 2005/04/01-03
26. DNAチップマイクロアレイを用いた高集積DNA, 金道均, 高村禪, 民谷栄一, 第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005/03/29-04/01
27. DNA凝集過程の1分子スケール液中AFM観察, 斎藤真人, 森田資隆, 高村禪, 民谷栄一, 第52回応用物理学関係連合講演会, 埼玉大学, 2005/03/29-04/01
28. マイクロアレイチップを用いたダイオキシン特異的単一Bリン球細胞の解析, 山村昌平, 大森正裕, Rao,S.RAMACHANDRA., 奥山亮, 森田資隆, 高村禪, 民谷栄一, 日本農芸化学会2005年度大会, 札幌コンベンションセンター, 2005/03/28-30
29. 細胞マイクロアレイチップを用いた抗原特異的Bリン球, 山村昌平, Rao,Sathuluri,Ramachandra., 大森正裕, 時光善温, 近藤佐子, 岸裕幸, 村口篤, 高村禪, 民谷栄一, 日本化学会第85春季年会, 神奈川大学横浜キャンパス, 2005/03/26-29
30. 二相液マイクロフロー型システムを用いた一細胞の分離および解析, Rao,Sathuluri,Ramachandra., 山村昌平, 高村禪, 民谷栄一, 日本化学会第85春季年会, 神奈川大学横浜キャンパス, 2005/03/26-29
31. Detection of DNA Hybridization Properties by Using Thermodynamic Method, Do-Kyun Kim, Young-Soo Kwon, Takamura,Yuzuru., Tamiya,Eiichi., Third International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE3), Tokyo, 2005/03/03-04
32. 免疫検出のためのゲル電気泳動を基とした免疫複合体と未反応物の分離デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 第10回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 高松シンポジウム, 2004/11/24-26
33. 細胞膜モデルの構築と膜形成用微小孔形状の最適化, 富名腰敬, 米谷智, 高村禪, 民谷栄一, 平成16年度日本化学会近畿支部北陸地区講演会と研究発表会, 福井大学文京キャンパス, 2004/11/13
34. DNA stickによるHBV遺伝子の検出, 梶佐規子, 近江みゆき, 高村禪, 民谷栄一, 第8回バイオテクノロジー部会シンポジウム, 甲南大学平生記念セミナーハウス, 2004/11/06
35. Development of Lipid Membrane Array Device Using Micro-flow Chip, Funakoshi,K.,Murahashi,M.,Y.Morita,Y.,Takamura,Y.,Tamiya,E., 206th Meeting of The Electrochemical Society (ECS), Hawaii, 2004/10/03-08
36. Screening of a novel neurotrophic factor using micro array cell-based chip and its response on PC12 cells neurosignaling pathway, Akagi Yoshinori, Sathuluri Ramachandra Rao, Morita Yasutaka, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30
37. High-throughput screening and analysis for antigen specific single-cell using microarray, Yamamura Shohei, Sathuluri Ramachandra Rao, Omori Masahiro, Tokimitsu Yoshiharu, Kondo Sachiko, Kishi Hiroyuki, Muraguchi Atsushi, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30
38. Development of a novel immunosensor based on microchip zone electrophoresis, Idegami Koutarou,Kobayashi Masaaki, Takamura Yuzuru, Tamiya Eiichi, Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30
39. Multiplexed microfluidic devices for single-cell manipulation and analysis, Rao,S.Ramachandra.,Yamamura,Shohei.,Takamura,Yuzuru.,Tamiya,Eiichi., Micro Total Analysis Systems 2004, Sweden, 2004/09/26-30
40. マイクロ流体チップを用いる高感度イムノセンサー, 永谷尚紀, 由比光子, 遠藤達郎, 高村禪, 民谷栄一, 日本生物工学会大会, 名城大学天白キャンパス, 2004/09/21-23
41. フロー型マイクロ脱気デバイスの開発, 井手上公太郎, 小林正昭, 高村禪, 民谷栄一, 第9回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 京都大学桂キャンパス, 2004/05/21-23
42. Integrated Micro Systems for DNA/Protein and Cell Analysis, Takamura,Y., Morita,Y.,Tamiya,E., 2003 International Microprocesses and Nanotechnology Conference, Tokyo, Japan, 2003/10/29-31

## 小林 俊哉

科学技術開発戦略センター 准教授

### ◆著書

1. Creative Environment—Issues of Creativity Support for the Knowledge Civilization Age 14 Management of Technology in Academic Research, Toshiya Kobayashi,Yoshiteru Nakamori,Andrzej P.Wierzbicki, Springer, 2007, 353-368
2. 地球環境読本Ⅱ, 第三部, 加藤武編, 丸善株式会社, 2004, 76-83
3. ロシアの科学者, 小林俊哉, 東洋書店, 2005, 全63
4. 研究哲学, 第2章 我が国における高等教育・研究環境に生じた変化, 由井コキウム編, 小林俊哉, JAIST Press, 2005, 59-79

### ◆発表論文

1. 大学と社会イノベーション, 緒方三郎, 小林俊哉, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター, 4(5), 1-8, 2008/03
2. 「電子知識科学図書館」と社会人教育支援, 小林俊哉, 緒方三郎, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター, 4(5), 20-27, 2008
3. 生涯学習の場としてのサイエンスカフェ, 小林俊哉, 浅野浩史, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター, 4(5), 9-19, 2008/03
4. 学際連携を支援するための学際コミュニケーション論, 小林俊哉, 緒方三郎, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター, 4(5), 28-37, 2008/03
5. 社会イノベーションへの大学組織研究連携戦略, 立瀬剛志, 小林俊哉, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター, 4(5), 38-44, 2008/03
6. Possibility for the application of publications analysis to evaluation of research institutes, Toshiya Kobayashi Saburo Ogata, JOURNAL OF TELECOMMUNICATIONS AND INFORMATION TECHNOLOGY/National Institute of Telecommunications Warsaw, Poland, 4, 59-62, 2007
7. 21世紀の産業競争力を担う研究開発人材確保の課題, 小林俊哉, 日本経済新聞, 日本経済新聞社, 2006/01/01
8. 技術ブランディングに基づく自社独自技術の情報発信の重要性, 小林俊哉, 日本経済新聞, 日本経済新聞社, 2005/08/11
9. 研究者集積度による21世紀COE研究拠点の定量的評価の試み, 緒方三郎, 小林俊哉, 知識創造場論集, 北陸先端科学技術大学院大学・科学技術開発戦略センター, 1, 2, 15-21, 2005/03
10. 企業間提携において重要な技術ブランドの確立, 小林俊哉, 日本経済新聞, 日本経済新聞社, 2005/01/29
11. 技術予測調査結果を用いた科学技術基本計画政策評価の試み, 小林俊哉, 長谷川文生, 研究 技術 計画, 研究・技術計画学会, 19, 1/2, 94-97, 2004/09
12. 大学並びに公的研究機関における高度専門型研究支援を担う専門職人材, 小林俊哉, 馬場敏幸, AcTeB Review, 東京大学RCAST先端テクノロジービジネスセンター, 4, 44-47, 2003/04

### ◆講演発表

1. Possibility for the Application of Publications Analysis to the Evaluation of Research Institutes, Toshiya Kobayashi,Saburo Ogata, VI International Conference on Decision Support for Telecommunications and Information Society, Warsaw, Poland, 2007/07/18-20
2. 広報分析を応用した定量的研究評価の試み, 有村啓司, 小林俊哉, 緒方三郎, 情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究会, 早稲田大学, 2006/11/30
3. 技術予測調査結果を用いた科学技術基本計画政策評価, 小林俊哉, 長谷川

文夫, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(仙台市), 2006/10/22

4. イノベーションを担うコーディネーター人材育成のための分野横断研究推進—北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例, 小林俊哉, 中森義輝, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(仙台市), 2006/10/22
5. 学際・文理融合教育としての「統合科学技術コース」における「学際コミュニケーション論」開発の現状と展望—北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例, 小林俊哉, 中森義輝, 緒方三郎, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(仙台市), 2006/10/21
6. 知識集積促進のための「電子知識科学図書館」構築の課題と展望, 小林俊哉, 緒方三郎, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(仙台市), 2006/10/21
7. 広報分析を応用した定量的国立大学研究評価の試み, 小林俊哉, 緒方三郎, 研究・技術計画学会 第21回年次学術大会, 東北大学(仙台市), 2006/10/21
8. The Trend of the Academic Scientists after soviet collapse and Conversion of the Japanese Sciences and Technology Policy in the 1990s, Toshiya Kobayashi, IFSR2005 The First World Congress of the International Federation for systems Research, Kobe-City Hyougo-Pref, JAPAN, 2005/11/16
9. A Research into the ratio and the intended role of M.A. and PhD holders in Japanese manufacturing sites, Hidetomo Oyaizu, Toshiya Kobayashi, IFSR2005 The First World Congress of the International Federation for systems Research, Kobe-City Hyougo-Pref, JAPAN, 2005/11/16
10. 学術研究としての文理融合, 立瀬剛志, 小林俊哉, 科学技術社会論学会 第4回年次研究大会, 名古屋大学, 2005/11/13
11. 学術研究を支援する方法論としてのMOSTの試み—北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例, 小林俊哉, 中森義輝, 立瀬剛志, 研究・技術計画学会 第20回年次学術大会, 政策研究大学院大学(東京都港区), 2005/10/23
12. 学際・文理融合教育としての「統合科学技術コース」開発の試み—北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例, 小林俊哉, 中森義輝, 緒方三郎, 立瀬剛志, 研究・技術計画学会 第20回年次学術大会, 政策, 2005/10/23
13. 研究者集積度による21世紀COE研究拠点の定量的評価の試み, 緒方三郎, 小林俊哉, 研究・技術計画学会 第20回年次学術大会, 政策研究大学院大学(東京都港区), 2005/10/22
14. 高齢化・人口減少社会におけるシニア研究者・開発技術者に望まれる役割, 高柳誠一, 小林俊哉, 研究・技術計画学会 第19回年次学術大会一般講演, 東京工業大学, 2004/10/16
15. 知識科学に基づく科学技術の創造と実践の試み—北陸先端科学技術大学院大学における事例, 小林俊哉, 中森義輝, 研究・技術計画学会 第19回年次学術大会一般講演, 東京工業大学, 2004/10/16
16. ソ連邦崩壊後のロシアの科学—科学技術研究人材の動向を中心に—, 小林俊哉, ユーラシア研究所2004年度総合シンポジウム, 明治大学, 2004/04/10
17. 東大先端科学技術研究センターにおける特任教員制度の現状と展望—国内大学における教員任期制の一事例として, 小林俊哉, 馬場敏幸, 研究・技術計画学会 第18回年次学術大会一般講演, 東京大学駒場リサーチキャンパス, 2003/11/07
18. I-O分析の枠組みを応用した基礎研究評価の可能性, 小林俊哉, 菊池純一, 馬場敏幸, 環太平洋産業連関分析学会 第14回大会, 熱海市起雲閣(静岡県熱海市昭和町4-2), 2003/11/01
19. 国内製造現場における研究開発型人材の賦存状況と機能に関する分析, 小林俊哉, 小柳津英知, 日本経済政策学会第61回大会報告, 関西学院大学, 2003/05/30

## 松澤 照男

情報科学センター 教授

### ◆著書

1. Proceedings of the 5th IEEE International Symposium on Cluster Computing and Grid 2005, Okuda, Motoi., Watanabe, Masahiro., Matsuzawa, Teruo., IEEE Catalogue 05EX1055C ISBN 0-7803-9075-X, 2005

### ◆発表論文

1. Blood Flow Analysis in the Aorta with a Stent Reconstructed Using Medical Images, Futoshi Mori, Teruo Matsuzawa, APCOM'07 in conjunction with EPMEESC XI, 243, 2007
2. Fluid-Structure Interaction of Blood Vessel using Cartesian Grid from Medical Images, Kiyoshi Kumahata, Kazuhiro Noguchi, Masahiro Watanabe, Teruo Matsuzawa, the 3rd B-J-K Symposium on Biomechanics, 47-52, 2007
3. Collaborative Environment with Visualizing Medical Volume Data by Virtual Reality, Masahiro Watanabe, Motoi Okuda, Yukihiro Karube, Ryuichi Matsukura, Teruo Matsuzawa, The 8th International Conference on Parallel and Distributed Computing, Applications and Technologies, 347-352, 2007

4. 信頼性を考慮したグリッド向け自律分散ストレージシステム, 井口寧, 渡辺浩二, 松澤照男, ipsjacs, 47, SIG 7 (ACS 14), 219-230, 2006/05

5. MPI-OpenMP Hybrid Parallel Computation in Continuous-velocity Lattice-gas model, Masaaki Terai, Matsuzawa Teruo, International Conference on Parallel Computational Fluid Dynamics 2005, 2005/05/24

6. 格子ボルツマン法の混合多成分拡張, 廣川雄一, 松澤照男, 日本計算工学会論文集, 20050011, 2005

7. A Parallel Method for Adaptive Refinement of A Cartesian Mesh Solver, Furuyama Shoichi, Matsuzawa Teruo, Parallel Computational Fluid Dynamics - New Frontiers and Multi-Disciplinary Applications, Elsevier Science, 395-402, 2003, ISBN:0-444-50680-2

### ◆講演発表

1. 仮想サーバシステムのための環境管理支援ツールの構築, 佐藤幸紀, 上埜元嗣, 宇多仁, 井口寧, 敷田幹文, 松澤照男, 情報処理学会 分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2007論文集, 学習院大学, 2007/11/26-27
2. オープンメインフレームを用いた仮想化システム, 上埜元嗣, 佐藤幸紀, 宇多仁, 井口寧, 敷田幹文, 松澤照男, 第11回学術情報処理研究集会, 島根大学, 2007/9/14

## 宮田 一乗

知識科学教育研究センター 教授

### ◆著書

1. コンピュータグラフィックス, アニメーション, 藤代一成編, CG-ARTS協会, 2004/09/17, 161-192
2. ビジュアル情報処理, アニメーションの章, ビジュアル情報処理編集委員会監修, CG-ARTS協会, 2004, 123-146

### ◆発表論文

1. A Framework for Real-time Rendering of Cloth Objects Using Programmable Shaders, R. P. C. Janaka Rajapakse and Kazunori Miyata, The Journal of Three Dimensional Images, 21(1), 33-40, 2007
2. 3D Texture Node for Generating Camouflage Textures in Maya, R. P. C. Janaka Rajapakse, Kazunori Miyata and Chandrajith A. Marasinghe, The Journal of Three Dimensional Images, 21(2), 130-135, 2007
3. パーティクルとメタボールを用いた皮革テクスチャの生成法, 宮田一乗, 坂口嘉之, 今尾公二, 須崎亮太郎, グラフィクスとCAD研究報告, 情報処理学会, 2006, 119, 13-18, 2006/11/16
4. 弾性体メッシュを応用した皮革テクスチャの生成手法, 櫻井快勢, 宮田一乗, 坂口嘉之, グラフィクスとCAD研究報告, 情報処理学会, 2006, 119, 19-24, 2006/11/16
5. 引っ張り力を力覚で提示するVR アプリケーション, 木村秀敏, 伊豫田旭彦, 垣内祥史, 武井悟, 杜曉冬, 藤井宗太郎, 益田義浩, 柊野大輔, 宮田一乗, NICOGRAPH2005秋季大会, 37-42, 2006/11
6. 加速度センサとのれん状スクリーンを用いたVR アプリケーション, 伊豫田旭彦, 垣内祥史, 木村秀敏, 武井悟, 杜曉冬, 藤井宗太郎, 益田義浩, 柊野大輔, 宮田一乗, NICOGRAPH2005秋季大会, 43-48, 2006/11
7. Camouflage-Shader: A Shading Node for Generating Camouflage Materials in Maya, R.P.C.Janaka Rajapakse, Kazunori Miyata and Chandrajith.A.Marasinghe, Proc. of the 9th International Conference on Human and Computers, 31-35, 2006/09/07
8. How Creative Design Space in Digital Painting, R.P.C.Janaka Rajapakse, Kazunori Miyata, Yukari Nagai, Chandrajith A.Marasinghe and Ajith. P. Madurapperuma, The First International Conference on Kansei Engineering & Intelligent Systems, 182-187, 2006/09/06
9. Leather Texture Generation, Miyata,K., Sakaguchi,Y., Imao,K., Hatada,Y, Fujita,A., Suzaki,R., Posters, ACM SIGGRAPH, Modeling : Geometry and Surfaces, #93, 2006/08
10. システムを応用した加賀友禪模様のデザイン支援システムの提案, 鎌田洋輔, 宮田一乗, 永井由佳里, Designシンポジウム2006講演論文集, 137-140, 2006/07
11. 着物模様のためのデザイン支援ツールの提案, 鎌田洋輔, 宮田一乗, 人工知能学会全国大会, ID2-2, 2006/06/07
12. 先駆的知識メディアに関して, 宮田一乗, 人工知能学会全国大会, 1C3, 2006/06
13. 手指認識によるキャラクタアニメーション—バーチャル手使い人形“トムデー”, 数博史, 宮田一乗, 映像情報メディア学会映像表現&コンピュータグラフィックス, 30, 24, 17-20, 2006/03
14. 加速度センサを用いたピッチングVR アプリケーション, 伊豫田旭彦, 垣内祥史, 木村秀敏, 武井悟, 杜曉冬, 藤井宗太郎, 益田義浩, 柊野大輔, 宮田一乗, インタラクション2006論文集, 237-238, 2006/03
15. 画像構成要素の輝度-サイズ分散を用いた視覚デザイン支援手段の検討, 宮下芳明, 西本一志, 宮田一乗, インタラクション2006論文集, 117-124, 2006/03
16. 加速度センサとのれん状スクリーンを用いたピッチングVR アプリケーション,

伊豫田旭彦、垣内祥史、木村秀敬、武井悟、杜曉冬、藤井宗太郎、益田義浩、枡野大輔、宮田一乗、第3回知識創造支援システムシンポジウム予稿集、37-44、2006/02

17. 映像を用いた回想法の利用、武井悟、宮田一乗、第3回知識創造支援システムシンポジウム予稿集、22-28、2006/02

18. アウェアホームのためのウェア技術の開発研究、國藤進、金井秀明、山下邦弘、宮田一乗、西本一志、藤波努、杉山公造、三浦元喜ほか、第3回知識創造支援システムシンポジウム予稿集、2006/02

19. コンテンツのデザイン支援技術による社会貢献を目指して～近未来チャレンジセッションでの議論より、平田圭二、片寄晴弘、笠尾敦司、宮田一乗、原田利宣、人工知能学会、21、2、215-128、2006/01

20. Algorithmic Painter: a NPR method to generate various styles of painting, Atsushi Kasao, Kazunori Miyata, The Visual Computer, 22,1, 14-27, 2006/01/06

21. Hardware Accelerated Rendering of BRDF Materials with Zernike Polynomials, Rajapakse,J.,Miyata,K., IWAIT2006, 250-255, 2006/01/06

22. 視覚デザインにおける支援手段の研究 ～画像構成要素における輝度・サイズ分散の観点から～、宮下芳明、西本一志、宮田一乗、日本インテリア学会論文報告集、16、9-15、2006

23. Enhanced SIC (Synergistic Image Creator) for Artistic Use, Kasao,A., Miyata,K., IV05, 903-911, 2005/07/05

24. A survey of real-time reflectance models for cloth objects, Rajapakse,J., Miyata,K., Proc. of the 8th International Conference on Human and Computers, 46-52, 2005/10/05

25. EasyGPU:GPUを用いたコンピュータビジョン実験環境の開発、高橋誠史、宮田一乗、白井暁彦、情報処理学会グラフィクスとCAD研究発表会、120、19-24、2005/09

26. Ton2: A VR Application With Novel Interaction Method Using Displacement Data, Yabu,H., Kamada,Y., Takahashi,M., Kawarazuka,Y., Miyata,K., Emerging Technology, SIGGRAPH, #16, 2005/07/05

27. 変位情報を用いたVRアプリケーションの美装 -バーチャル紙相撲"トントン"、数博史、鎌田洋輔、高橋誠史、河原塚有希彦、宮田一乗、芸術科学会論文誌、4、2、36-46、2005/06

28. RoboGamer: Development of Robotic TV Game Player using Haptic Interface and GPU Image Recognition, Shirai,A., Takahashi,M.,Miyata,K.,Sato,M., Richir,S., Proceedings of SIGCHI International Conference on Advances in Computer Entertainment Technology, 471-472, 2005/05/05

29. GPUコンピューティングの動向と将来像、宮田一乗、高橋誠史、黒田篤、芸術科学会論文誌、4、1、13-19、2005/03/20

30. 非言語メディアのデザイン支援に向けて、片寄晴弘、平田圭二、野池賢二、原田利宣、笠尾敦司、宮田一乗、平賀瑠美、人工知能学会、20、2、129-138、2005/02/04

31. GPU based interactive displacement mapping, Takahashi,M., Miyata,K., IWAIT 2005, 477-480, 2005/01/05

32. ViewFrame2 -マーカレス顔部検出手法を利用した"ViewFrame"-、河原塚有希彦、高橋誠史、宮田一乗、芸術科学会論文誌、3、3、189-192、2004/09/20

33. Enhanced Synergistic Image Creator: a NPR method with natural curly brushstrokes, Atsushi Kasao, Kazunori Miyata, Advances in Multimedia Information Processing - PCM2004, LNCS 3331, 444-452, 2004/11/30

34. UoQA -ジェスチャ認識と簡易なモーションベースを用いたVRアプリケーション、河原塚有希彦、高橋誠史、桑村宏幸、宮田一乗、芸術科学会論文誌、3、3、200-204、2004/09/20

35. Algorithmic Painter: A NPR Method to Generate Various Styles of Painting, Atsushi Kasao,Kazunori Miyata, ACM SIGGRAPH, Poster, "Nonphotorealistic Animation and Rendering", #23, 2004/08/01

36. UoQ -ジェスチャ認識を用いた映像体験環境-、高橋誠史、河原塚有希彦、桑村宏幸、宮田一乗、芸術科学会論文誌、2、4、123-127、2003/12

37. Generation of Organic Textures with Controlled Anisotropy and Directionality via Packing Rectangular and Elliptical Cells, Takayuki Itoh,Kazunori Miyata,Kenji Shimada, IEEE CG & A, 23,3, 38-46, 2003/05

#### ◆講演発表

1. Lシステムを応用した加賀友禅模様のデザイン支援システムの提案、鎌田洋輔、宮田一乗、永井由佳里、Designシンポジウム2006講演論文集、早稲田大学、07

2. パーティクルとメタボールを用いた皮革テクスチャの生成法、宮田一乗、坂口嘉之、今尾公二、須崎亮太郎、グラフィクスとCAD研究会、京都大学、2006/11/16

3. 伝統素材と感性デザイン、宮田一乗、日本デザイン学会第53回研究発表会、石川県ハイテク交流センター、2006/07

4. 着物模様のためのデザイン支援ツールの提案、鎌田洋輔、宮田一乗、人工知能学会全国大会、船堀、2006/06/07

5. 先駆的知識メディアに関して、宮田一乗、第20回人工知能学会全国大会、タワーホール船堀、2006/01

6. 先駆的メディア表現の創出を目指して、宮田一乗、関西学院大学・理工学部・情報科学特論、関西学院大学・三田キャンパス、2004/05/21

7. 階層的筆触データを用いた絵画表現の一手法、宮田一乗、笠尾敦司、蓼沼真、人工知能学会全国大会、朱鷺メッセ(新潟市)、2003/06/25

## ZHU, Zhichang

科学技術開発戦略センター 客員教授

#### ◆著書

1. Pragmatism and knowledge management, Zhu,Z.C., Y Shi,DL Olson and A Stam (eds.), In Advances in multiple criteria decision making and human systems management, IOS Press, 2007, 269-271, ISBN: 978-1-58603-748-2

2. Reform without a theory: why does it work in China, Zhu,Z.C., Organisation Studies, 28,10, 2007, 1503-1522

3. Complexity science, systems thinking and pragmatic sensibility, Zhu,Z.C., Systems research and Behavioural Science, 24,4, 2007, 445-464

4. Nonaka meets Giddens: a critique, Zhu,Z.C., Knowledge Management Research and Practice 4, 2006, 106-115

5. Editorial: complexity and systems studies: voices from China, Zhu,Z.C., Systems research and Behavioural Science, 24,4, 2006, 403-404

6. Constructing healthcare knowledge, Zhu,Z.C., RK Bali and A Swivedi (eds.), In Healthcare knowledge management: issues, advances and successes, Springer, 2006, 112-129, ISBN: 0-387-33540-4

7. New role of systems science: informed systems approach, Zhu,Z.C., Wierzbicki,A.P. and Nakamori,Y.(eds.), In Creative space: models of creative processes for the knowledge civilisation age, Springer, 2006, 161-215, ISBN:3-540-28458-38.

8. Complementarism vs. pluralism: are they different and does it matter, Zhu,Z.C., Systems Research and Behavioural Science 51, 6, 2006, 757-770

9. Needed:pragmatism in KM, Zhu,Z.C., International Journal of Knowledge and Systems Science 3, 2, 2005, 20-21

10. Knowledge construction as evolutionary gaming, Zhu,Z.C., International Journal of Knowledge and Systems Science 2, 4, 2005, 9-19

11. Exploring a sociological underpinning for the i system, Zhu,Z.C., International Journal of Knowledge and Systems Science, 1,1, 2004, 1-8

12. Knowledge management: towards a universal concept or cross-cultural contexts, Zhu,Z.C., Knowledge Management Research and Practice, 2,2, 2004, 67-79

13. WSR decisions for a sustainable future. In the United Nations Educational, Scientific and Cultural Organisation (UNESCO) Encyclopaedia of Life Support Systems, EOLSS Co.Ltd., Paris, 2003

14. Towards synergy in multi-perspective management: An American-Chinese Case, Zhu,Z.C.,Linstone,H. G., Midgley(ed.), In Systems Thinking, Sage, Volume 4, 209-226, London, 2003, ISBN: 0761949593

## WIERZBICKI, Andrzej Piotr

科学技術開発戦略センター 特任教授

#### ◆著書

1. Creative Environments: Supporting Creativity for the Knowledge Civilization Age, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., Springer Verlag, Berlin-Heidelberg, 2007

2. Rationality of Choice versus Rationality of Knowledge, Wierzbicki,A.P., In.R. Avenhaus, I.W.Zartman(eds), Diplomacy Games, Springer, Berlin-Heidelberg, 2007

3. Informed Systems Approach, Wierzbicki,A.P., in Tsubaki T., Nishina K., Yamada S.(eds), The Grammar of Technology Development, 2007

4. Modelling as a way of organizing knowledge, Wierzbicki, A.P., European Journal of Operational Research, 176:1, 610-635, 2007

5. Knowledge sciences-some new developments, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., Zeitschrift für Betriebswirtschaft, 2007

6. Knowledge sciences and Nanatsudaki: A new model of knowledge creation processes, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., Journal of Systems Science and Systems Engineering, <http://dx.doi.org/10.1007/s11518-007-5036-8>, 2007

7. Electronic Support for Knowledge Creation in a Research Institute, Ren,H., Tian,J., Nakamori,Y., and Wierzbicki,A.P., Journal of Systems Science and System Engineering, 16(2), 235-253, 2007

8. Implementing Creative Environments for Scientific Research, Wierzbicki,A.P. and Ren H.T., Journal of Information and Decision Science.(Accepted), 2007

9. Creative Space: a Method of Integration of Knowledge Creation Theories, Wierzbicki,A.P.,Nakamori,Y., In A. Kukliński, B. Skuza (eds.), Turning Points in the Transformation of Global Scene. Polish Association for the Club of Rome, Warsaw 2006, 127-148, 2006

10. A Study of Knowledge Creation Support in a Japanese Research Institute, Tian,J., Wierzbicki,A.P., Ren,H. and Nakamori,Y., International Journal of Knowledge and System Science, 3(1), 7-17, 2006/03

11. Creative Space: Models of Creative Processes for the Knowledge Civilization Age, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., Springer Verlag, Berlin-Heidelberg, 2006

12. Technika i zmiana: rola technik informacyjnych w cywilizacji wiedzy (in Polish: Technology and change: the role of informational technology in knowledge civilization), Wierzbicki,A.P., Zagadnienia Naukoznawstwa 2(168):205-228, 2006

13. A reference point approach to coalition games, Wierzbicki,A.P., Journal of

Multi-Criteria Decision Analysis, 13:2-3, 81-89, 2006

14. Przestrzeń twórcza: próba syntezy teorii tworzenia wiedzy. (in Polish: Creative Space: an Approach to the Synthesis of Knowledge Creation Theories), Wierzbicki,A.P., Zagadnienia Naukoznawstwa (in Polish: Problems of Knowledge Science), 4(162):621-645, 2004/12

15. Knowledge Creation Theories and Rational Theory of Intuition, Wierzbicki, A. P., International Journal for Knowledge and Systems Science, 1(1):17-25, 2004/11

16. Creative Space: a Tool for Knowledge Integration, Wierzbicki,A.P., Nakamori, Y., International Journal for Knowledge and Systems Science, 1(1):26-32, 2004/11

17. The Development of Systems Science: Concepts of Knowledge as Seen from the Western and Eastern Perspective, Wierzbicki,A.P., In M.Lucertini, A. Milan Gasca, F.Nicolo(eds), Technological Concepts and Mathematical Models in the Evolution of Modern Engineering Systems, Birkhäuser, Basel, 2004

## ◆発表論文

1. Constructing an Ontology for a Research Program, Tian,J.,Wierzbicki,A.P., Ren,H. and Nakamori,Y, Proceeding of the 8th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences (KSS2007), Ishikawa,Japan, 2007/11/05-07

2. Models of Knowledge Creation Processes and Ontological Engineering, Wierzbicki,A.P., CSM'07: 21st Workshop on Methodologies and Tools for Complex Systems Modeling and Integrated Policy Assessment, IIASA, Laxenburg, Austria, 2007/08

3. The Problem of Objective Ranking: Foundations, Approaches and Applications, Wierzbicki,A.P., 6-th International Conference on Decision Support for Telecommunications and Information Society, Warsaw, 2007/07

4. Testing Knowledge Creation Theories, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., 23rd IFIP TC 7 Conference on System Modelling and Optimization, Cracow, Poland, 2007/07

5. Constructing an Ontology for a Research Program from a Knowledge Science Perspective, Tian,J.,Wierzbicki,A.P.,Ren,H. and Nakamori,Y., In:Zhang,Z. and Siekmann,J.(eds), Knowledge Science, Engineering and Management, KSEM2007, Springer,LNAI, 4798, 372-383, heidelberg, 2007

6. Knowledge management and knowledge creation in academia:A study based on surveys in a Japanese research university, Tian,J.,Nakamori,Y. and Wierzbicki,A.P., Proceeding of the 3rd Asia-Pacific International Conference on Knowledge Management (KMAP2006), Hong Kong, 2006/12/11-13

7. Knowledge Management and Knowledge Creation in Academia:A Study Based on Surveys in a Japanese Research University, Tian,J.,Nakamori,Y. and Wierzbicki,A.P., the 3rd Asia-Pacific International Conference on Knowledge Management (KMAP2006), in CD-Row, Hongkong, 2006/12/11-13

8. Electronic Support for Knowledge Creation in a Research Institute, Ren,H., Tian,J., Nakamori,Y. and Wierzbicki,A.P., Proceeding of 7th International Symposium on Knowledge and System Science, 55-62, Beijing,China, 2006/09/23-25

9. The emergence of knowledge sciences and a new episteme, Wierzbicki,A.P., KSS'2006: The 7th International Symposium on Knowledge and Systems Science, Beijing,China, 2006/09/22-25

10. Electronic Support for Knowledge Creation in a Research Institute, Ren,H.T., Tian,J., Nakamori,Y. and Wierzbicki,A.P., KSS'2006, Beijing,China, 2006/09/22-25

11. Nanatsudaki: a new model of knowledge creation processes, Wierzbicki,A. P., Nakamori,Y., The 7th International Symposium on Knowledge and Systems Science, Beijing,China, 2006/09/22-25

12. Electronic support for knowledge creation in a research institute, Ren,H.,Tian,J.,Wierzbicki,A.P., The 7th International Symposium on Knowledge and Systems Science, Beijing,China, 2006/09/22-25

13. A study on knowledge creation support in a Japanese research institute, Tian,J., Wierzbicki,A.P., Ren,H. and Nakamori,Y., Proceeding of First International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management (KSEM06), Springer Verlag,Berlin Heidelberg,LNAI 4092, 405-417, Guilin,China, 2006/08/05-08

14. Study on Knowledge Creation Support in a Japanese Research Institute, Tian,J., Wierzbicki,A.P., Ren,H. and Nakamori,Y., A Proceeding of First International Conference on Knowledge Science, Engineering and Management (KSEM06), Springer, Verlag, Berlin Heidelberg,LNAI 4092, 405-417, Guilin, China, 2006/08/05-08

15. Nanatsudaki Model of Knowledge Creation Processes, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y, VEAM-IFIP Working Group 7.6 Workshop on Virtual Environments for Advanced Modelling, University of Hamburg,Germany, 2006/06/06-07

16. The Use of Reference Profiles and Multiple Criteria Evaluation in Knowledge Acquisition from Large Databases, Wierzbicki,A.P.,Tian,J.,Ren,H.T., VEAM-IFIP Working Group 7.6 Workshop on Virtual Environments for Advanced Modelling, University of Hamburg, Germany, 2006/06/06-07

17. Towards Creative Environments: Conclusions from Creative Space,

Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y, 39th Hawaii International Conference of Systems Science, 2006

18. Reference point approaches and objective ranking, Wierzbicki,A.P., Schloss Dagstuhl Seminar 06501: Practical Approaches to Multi-Objective Optimization, 2006

19. Technology and Change: The Role of Technology in Knowledge Civilization, Wierzbicki,A.P., Ith World Congress of IFSR, Kobe, 2005/11

20. A Vision of New Era of Knowledge Civilization, Kameoka A.,Wierzbicki,A.P., Ith World Congress of IFSR, Kobe, 2005/11

21. Informed Systems Approach, Wierzbicki,A.P., Decision and Creativity Support. Paper presented at International Workshop: The Grammar of Technology Development, University of Tsukuba,Tokyo Campus, Tokyo, 2005/01/17

22. Knowledge Creation and Integration: Creative Space and Creative Environments, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., 38th Hawaii International Conference on System Science, 2005/01 (Best Paper Award)

23. Creative Space and Creative Environments, Wierzbicki,A.P., Nakamori,Y., plenary paper, JAIST Forum 2004: Technology Creation Based on Knowledge Science: Theory and Practice, Ishikawa High-Tech Exchange Center, 2004/11/10

24. Telecommunications, Multiple Criteria Analysis and Knowledge Theory, Wierzbicki,A.P., plenary paper at IVth International Conference on Decision Support for Telecommunications and Information Society, National Institute of Telecommunications, Warsaw, 2004/09/02(repeated by invitation of organizers as a plenary paper at MMTN'04, First Workshop on Multicriteria Modelling in Telecommunication Network Planning and Design, INESC-Coimbra and University of Coimbra, Portugal, 2004/09/13)

25. Systems Approach to Knowledge Theory: Creative Space and Creative Environments, Wierzbicki,A.P.,Nakamori,Y., Plenary paper at CSM'04 (18th Workshop on Methodologies and Tools for Complex Systems Modeling and Integrated Policy Assessment), International Institute for Applied Systems Analysis, Laxenburg, Austria, 2004/09/06

26. Multiple Criteria Decision Support versus Knowledge Theory, Wierzbicki,A.P.,Nakamori,Y., Paper at International Conference on MCDM 2004 (Multiple Criteria Decision Making), Whistler, Kanada, 2004/08/10

27. A Reference Point Approach to Coalition Games, Wierzbicki,A.P., Paper at International Conference on MCDM 2004 (Multiple Criteria Decision Making), Whistler,Kanada, 2004/08/09

28. Knowledge Theory at the beginning of the Civilization Era of Informational and Knowledge Economy, Wierzbicki,A.P., Plenary paper at ISKSS (International Society for Knowledge and Systems Sciences) The First International Symposium on Knowledge Management for Strategic Creation of Technology, Japan Advanced Institute of Science and Technology, Tatsunokuchi, Ishikawa,Japan, 2004/03

29. Multiple objective optimization procedures with progressive elicitation of preferences: Reference point approaches, Wierzbicki,A.P., Schloss Dagstuhl Seminar 06501: Practical Approaches to Multi-Objective Optimization.